

平成 27 年度公民館等実態調査

報 告 書

平成 28 年 3 月

島根県立東部社会教育研修センター
島根県立西部社会教育研修センター

目次

I	調査の概要	4
II	調査の集計結果	5
	公民館等について	
1	市町村別公民館等施設数	5
2	施設の名称	5
3	対象地区の人口・世帯数	6
4	職員数	7
5	業務について	
	(1) 行政支所業務の行政サービス	7
	(2) 行政各部局の各種住民サービスの協力依頼や委託業務	7
	(3) 地域の各種機関・団体等の事務・会計等	8
6	年間運営費について	
	(1) 市町村費または委託費等	9
	(2) 地元負担金	9
	(3) 事業費	10
7	公民館運営審議会（運営委員会）等の設置状況について	
	(1) 公民館運営審議会（運営委員会）等の設置	10
	(2) 公民館運営審議会(運営委員会)の構成人数と年間会議回数	11
	職員について	
問1	職員の勤務体制について	
	(1) 公民館長等	12
	(2) 公民館主事等	13
	(3) その他の職員	14
	利用状況について	
問2	施設を利用した団体数と利用者ののべ人数について	
	(1) 利用団体数	16
	(2) 利用者のべ人数	16
	職員の研修状況について	
問3	職員研修の実施	17
問4	実施した研修について	
	(1) 職員研修の実施回数	17
	(2) 職員研修の研修内容	18
問5	職員の施設外での研修参加	18
問6	施設外の研修主催	19
問7	施設外の研修に参加しなかった理由	19

全体計画・事業計画について

- 問 8 施設の方針などを定めた全体計画 2 0
- 問 9 全体計画を説明する機会 2 0

地域課題について

- 問 10 地域課題の把握 2 0
- 問 11 地域課題の把握方法 2 1
- 問 12 地域課題をテーマにとりいれた事業 2 1

主催事業等の実施状況について

- 問 13 主催する教室・講座や事業の実施 2 1
- 問 14 実施した主催事業について
- (1) 主催事業の事業計画や企画書の作成 2 2
 - (2) 主催事業の広報活動 2 2
 - (3) 広報活動の方法 2 2
- 問 15 主催する教室・講座や事業の内容等について
- (1) 主催する教室・講座や事業の内容等 2 3
 - ① 「家庭教育・家庭生活」分野 2 3
 - ② 「現代的課題」分野 2 4
 - ③ 「市民意識」分野 2 4
 - ④ 「体育・スポーツ」分野 2 4
 - ⑤ 「指導者」分野 2 5
 - ⑥ 「趣味・けいこごと」分野 2 5
 - ⑦ 「一般教養」分野 2 5
 - ⑧ 「職業知識・技術」分野 2 6
 - ⑨ 「その他」分野 2 6
 - (2) 主催事業のうち、地域課題の解決をテーマにしている事業 2 6
 - (3) 主催事業のうち、団体等と協力して実施している事業 2 7

ふるさとに関して学ぶ事業について

- 問 16 ふるさとに関して学んだり体験したりする事業の実施 2 8
- 問 17 ふるさとについて学んだり体験したりする事業について
- (1) ふるさとに関して学ぶ事業数 2 9
 - (2) ふるさとに関して学ぶ事業の名称・内容等 2 9

事業評価について

- 問 18 主催事業に対する事業評価 2 9
- 問 19 事業評価の評価について
- (1) 事業評価の評価方法 3 0
 - (2) 事業評価の活用 3 0

地域人材の育成について

- | | | |
|------|--------------------------------|-----|
| 問 20 | 地域課題の解決のために取り組むようになった住民組織等の有無 | 3 1 |
| 問 21 | 地域課題の解決のために取り組むようになった住民組織等について | |
| | (1) 住民組織の数 | 3 1 |
| | (2) 住民組織等の名称・活動内容等 | 3 1 |

別表

- | | | |
|------|-----------------------------|-----|
| 問 17 | 「ふるさとに関して学ぶ事業」の事業名と事業内容 | 3 2 |
| 問 21 | 地域課題を解決するために活動する団体等の名称と活動内容 | 5 2 |

参考資料

- | | |
|-----|-----|
| 調査票 | 6 4 |
|-----|-----|

調査の概要

1 名称

平成 27 年度 島根県公民館等実態調査

2 調査の趣旨

県内の公民館等の研修や実施事業等を調査・把握し、県・市町村における社会教育に関する施策や事業立案のための基礎データとする。

3 調査対象

県内公民館等 291 館

※「公民館等」とは、社会教育法上の公民館だけでなく、市町村条例によって設置された実態として公民館の機能を担うコミュニティセンター、交流センター、まちづくりセンター等を含みます。

※県内公民館等のうち、職員が配置されていない無人館は除いています。

4 調査方法

「しまね電子申請サービス」での回答 及び電子メール等での返信による回収

平成 28 年 1 月 7 日（木）調査依頼送付

平成 28 年 1 月 29 日（金）回答締切

5 調査項目

- (1) 公民館等について
- (2) 職員について
- (3) 利用状況について
- (4) 職員の研修状況について
- (5) 全体計画・事業計画について
- (6) 地域課題について
- (7) 主催事業等の実施状況について
- (8) ふるさとに関して学ぶ事業について
- (9) 事業評価について
- (10) 地域人材の育成について

6 回収結果

(1) 対象施設数 291 館

(2) 回収調査数 260 館 回収率 89.3%

7 調査主体者

島根県立東部社会教育研修センター

島根県立西部社会教育研修センター

8 集計結果について

- (1) 集計結果が百分率（%）の場合、四捨五入して表示しています。そのため、合計が 100% にならないものがあります。
- (2) 表・図中の項目の表題・文章等は、省略している場合があるので、必要に応じて参考資料の調査票を確認してください。
- (3) 調査結果は島根県立東部・西部社会教育研修センターのホームページにも掲載しています。

調査の集計結果

公民館等について

1 市町村別公民館等施設数について

表 1 - 1 市町村別公民館等施設数

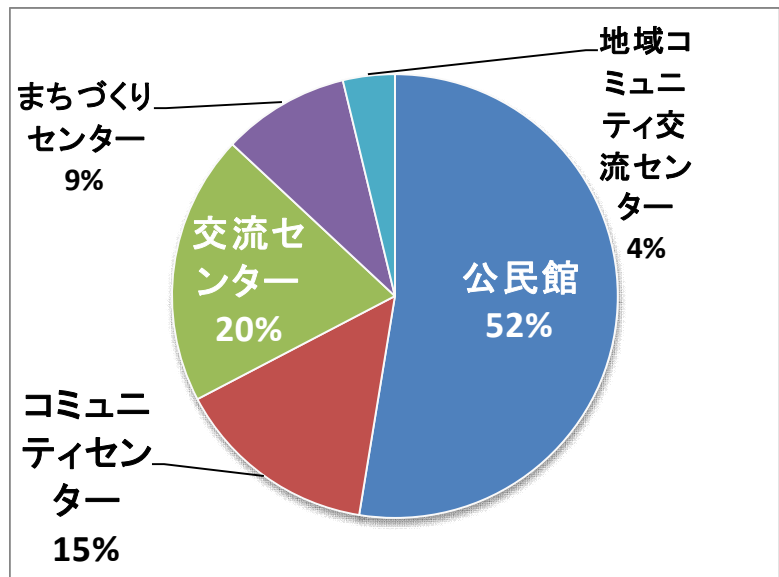
No.	市町村名	度数	%	No.	市町村名	度数	%
1	松江市	36	12%	11	美郷町	5	2%
2	安来市	27	9%	12	邑南町	12	4%
3	出雲市	43	15%	13	益田市	20	7%
4	雲南市	30	10%	14	津和野町	7	2%
5	奥出雲町	9	3%	15	吉賀町	5	2%
6	飯南町	5	2%	16	海士町	1	0%
7	浜田市	26	9%	17	西ノ島町	2	1%
8	大田市	34	12%	18	知夫村	1	0%
9	江津市	21	7%	19	隠岐の島町	4	1%
10	川本町	3	1%		合計	291	100%

2 施設の名称について

表 1 - 2 施設の名称

No.	施設名称	度数	%
1	公民館	153	52%
2	コミュニティセンター	43	15%
3	交流センター	57	20%
4	まちづくりセンター	27	9%
5	地域コミュニティ交流センター	11	4%
	合計	291	100%

図 施設の名称



3 対象地区の人口・世帯数について

表 1－3 対象人口

No.	対象人口	度数	%
1	0～1999人	163	63%
2	2000～3999人	44	17%
3	4000～5999人	16	6%
4	6000～7999人	16	6%
5	8000～9999人	8	3%
6	10000～11999人	3	1%
7	12000～13999人	4	2%
8	14000人以上	6	2%
	合計	260	100%

図 対象人口

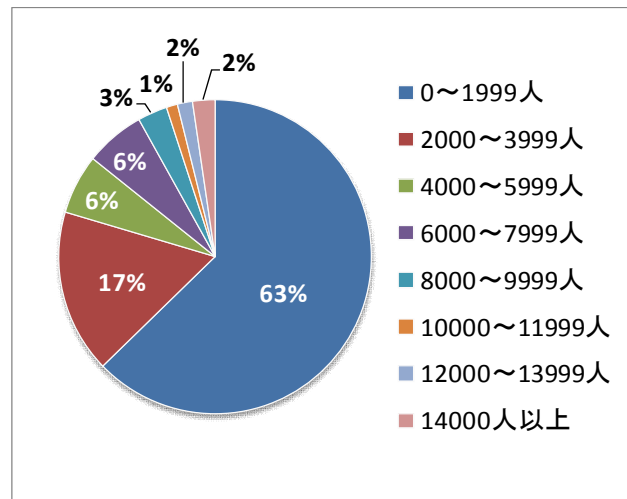
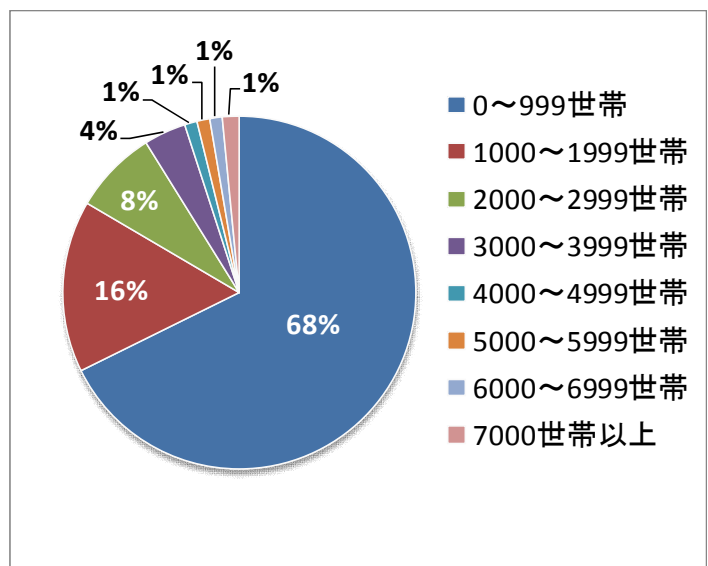


表 1－4 対象世帯

No.	対象世帯	度数	%
1	0～999世帯	176	68%
2	1000～1999世帯	41	16%
3	2000～2999世帯	20	8%
4	3000～3999世帯	10	4%
5	4000～4999世帯	3	1%
6	5000～5999世帯	3	1%
7	6000～6999世帯	3	1%
8	7000世帯以上	4	2%
	合計	260	100%

図 対象世帯

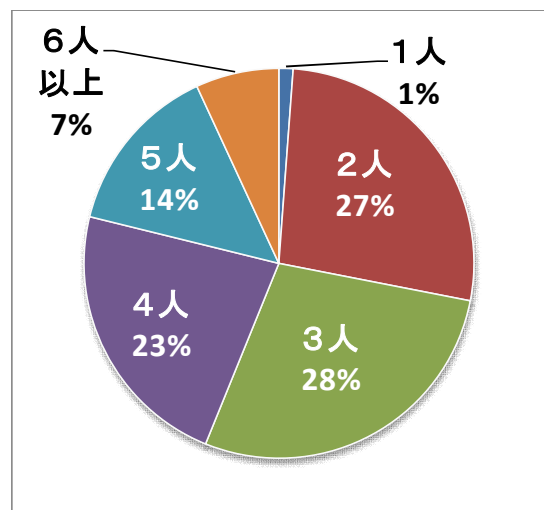


4 職員数について

表 1－5 職員数

No.	職員数	度数	%
1	1人	3	1%
2	2人	70	27%
3	3人	73	28%
4	4人	59	23%
5	5人	37	14%
6	6人以上	18	7%
	合計	260	100%

図 職員数



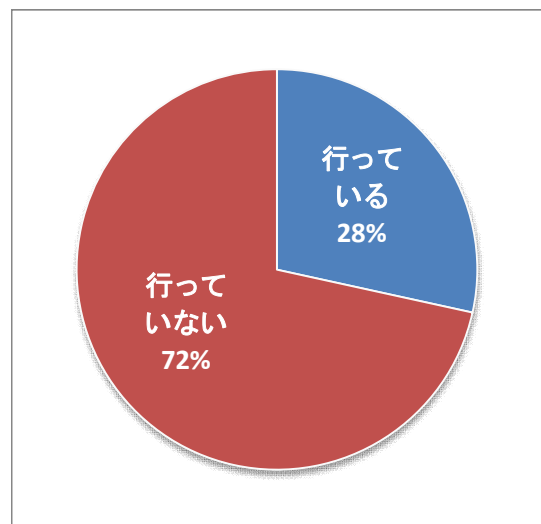
5 業務について

(1) 行政支所業務の行政サービスを行っていますか。

表 1－6 行政支所業務

No.	行政支所業務	度数	%
1	行っている	74	28%
2	行っていない	186	72%
	合計	260	100%

図 行政支所業務

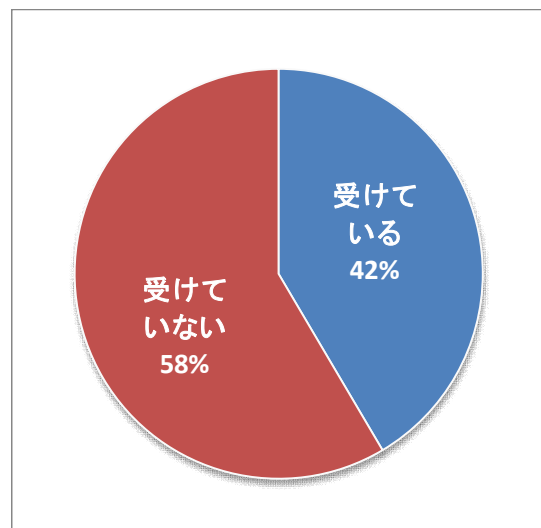


(2) 行政各部局の各種住民サービスの協力依頼や委託業務を受けていますか。

表 1－7 各種行政サービス

No.	各種行政サービス	度数	%
1	受けている	108	42%
2	受けていない	152	58%
	合計	260	100%

図 各種行政サービス



(3) 地域の各種機関・団体等の事務・会計等を行っていますか。

表 1－8 団体業務

No.	団体業務	度数	%
1	行っている	209	80%
2	行っていない	51	20%
	合計	260	100%

図 団体業務

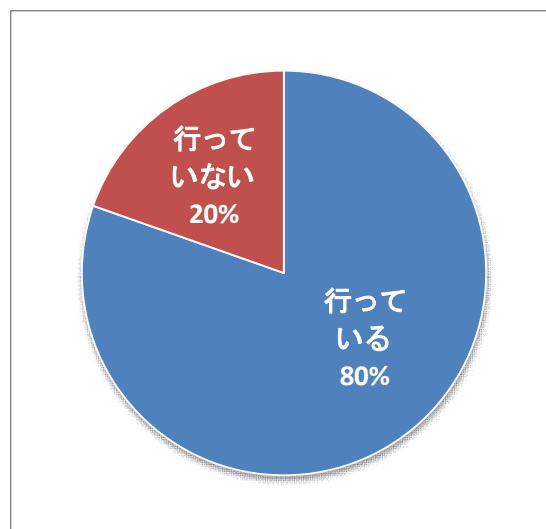


表 1－9 機関・団体数

No.	機関・団体数	度数	%
1	1～5団体	112	54%
2	6～10団体	60	29%
3	11～15団体	18	9%
4	16～20団体	14	7%
5	21団体以上	5	2%
	合計	209	100%

図 機関・団体数

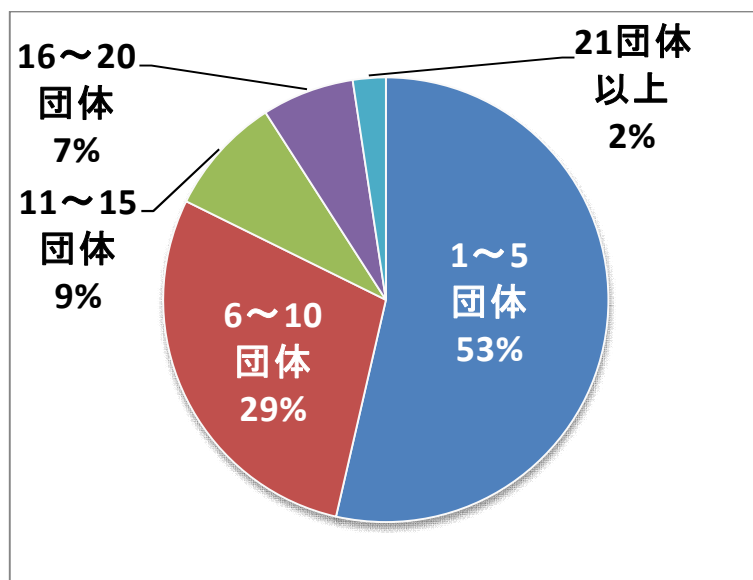
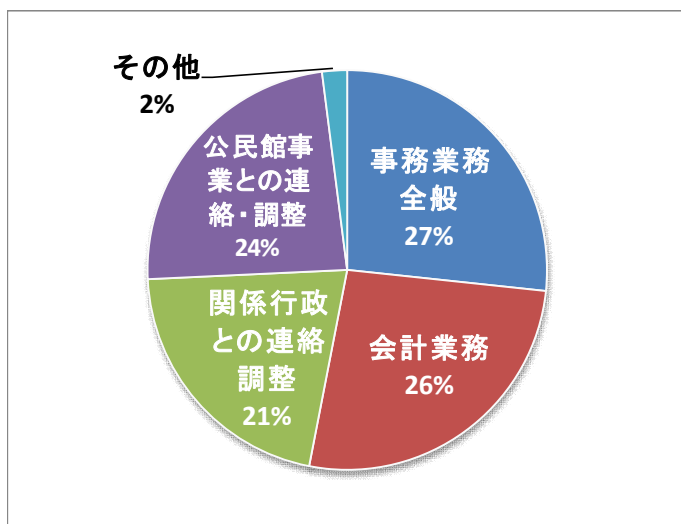


表 1-10 団体に関する業務内容

No.	団体に関する業務内容	度数	%
1	事務業務全般	170	27%
2	会計業務	168	26%
3	関係行政との連絡調整	135	21%
4	公民館事業との連絡・調整	151	24%
5	その他	13	2%
	合計	637	100%

図 団体に関する業務内容



6 年間運営費について

(1) 市町村費または委託費等

表 1-11 年間市町村費

No.	市町村費(委託費)等	度数	%	内訳	度数	%
1	0~1999千円	178	73%	0~499千円	58	24%
2	2000~3999千円	34	14%	500~999千円	61	25%
3	4000~5999千円	17	7%	1000~1499千円	28	11%
4	6000~7999千円	10	4%	1500~1999千円	31	13%
5	8000~9999千円	2	1%	合計	178	73%
6	10000千円以上	4	2%			
	合計	245	100%			

(2) 地元負担金

表 1-12 年間地元負担金

No.	地元負担金	度数	%
1	1円~999千円	88	69%
2	1000~1999千円	17	13%
3	2000~2999千円	9	7%
4	3000~3999千円	9	7%
5	4000~4999千円	0	0%
6	5000~5999千円	3	2%
7	6000千円以上	2	2%
	合計	128	100%

表 1-13 一世帯当たりの年間地元負担金

No.	一世帯あたりの負担金	度数	%
1	1000円未満	53	45%
2	1000～1999円	30	26%
3	2000～2999円	12	10%
4	3000円以上	22	19%
	合計	117	100%

(3) 年間事業費

表 1-14 年間事業費

No.	年間事業費	度数	%	内訳	度数	%
1	0～999千円	147	63%	0～499千円	82	35%
2	1000～1999千円	35	15%	500～999千円	65	28%
3	2000～2999千円	17	7%	合計	147	63%
4	3000～3999千円	16	7%			
5	4000～4999千円	7	3%			
6	5000千円以上	13	6%			
	合計	235	100%			

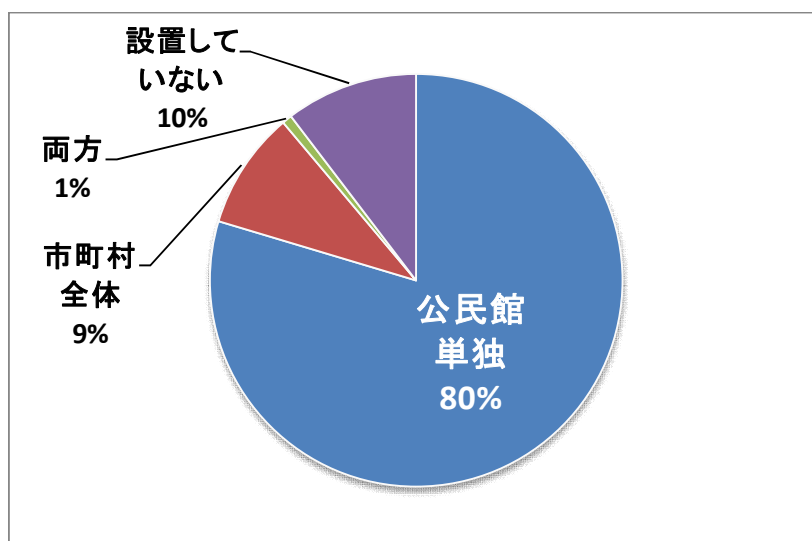
7 公民館運営審議会（運営委員会）等の設置状況について

(1) 公民館運営審議会（運営委員会）等を設置していますか。

表 1-15 公民館運営審議会（運営委員会）等の設置状況

No.	設置状況	度数	%
1	公民館単独	207	80%
2	市町村全体	24	9%
3	両方	2	1%
4	設置していない	27	10%
	合計	260	100%

図 設置状況



(2) 公民館運営審議会(運営委員会)の構成人数と年間会議回数

表 1-16 構成人数

No.	構成人数	度数	%
1	1～4人	6	3%
2	5～9人	19	8%
3	10～14人	62	27%
4	15～19人	56	24%
5	20～24人	46	20%
6	25～29人	24	10%
7	30～34人	11	5%
8	35～39人	2	1%
9	40人以上	3	1%
	合計	229	100%

図 1-11 構成人数

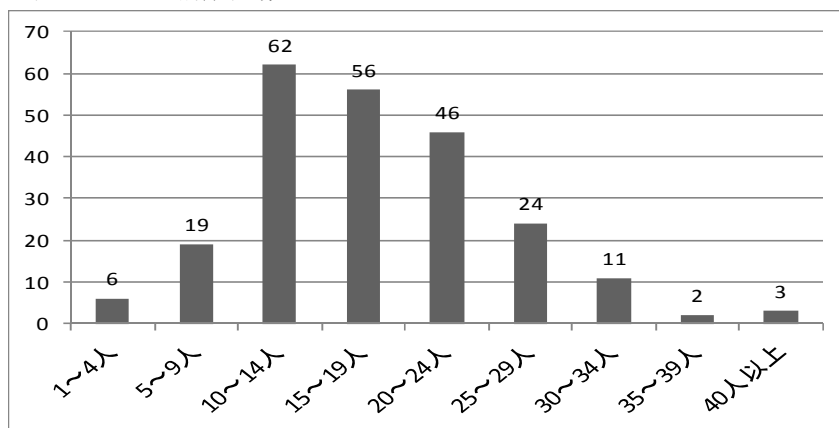
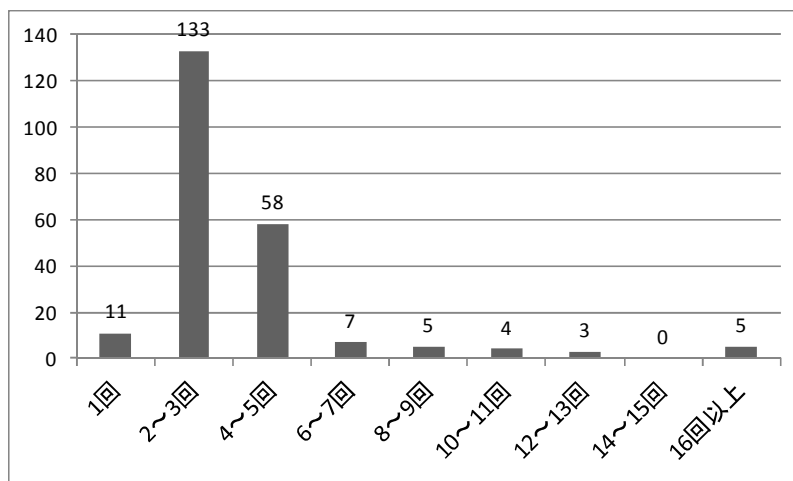


表 1-17 会議回数

No.	会議回数	度数	%
1	1回	11	5%
2	2～3回	133	59%
3	4～5回	58	26%
4	6～7回	7	3%
5	8～9回	5	2%
6	10～11回	4	2%
7	12～13回	3	1%
8	14～15回	0	0%
9	16回以上	5	2%
	合計	226	100%

図 1-12
会議回数



職員について

問 1 職員の勤務体制について

(1) 公民館長等について

表 2－1 館長等の勤務形態

No.	館長等の勤務形態	度数	%
1	常勤	59	23%
2	非常勤	201	77%
	合計	260	100%

図 館長等の勤務形態

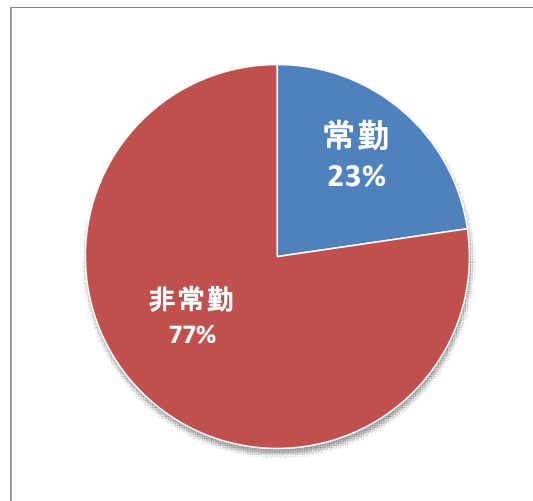


表 2－2 館長等の経験年数

No.	館長等の経験年数	度数	%
1	1年未満	22	8%
2	1年以上3年未満	68	26%
3	3年以上5年未満	63	24%
4	5年以上10年未満	68	26%
5	10年以上	38	15%
	合計	259	100%

図 館長等の経験年数

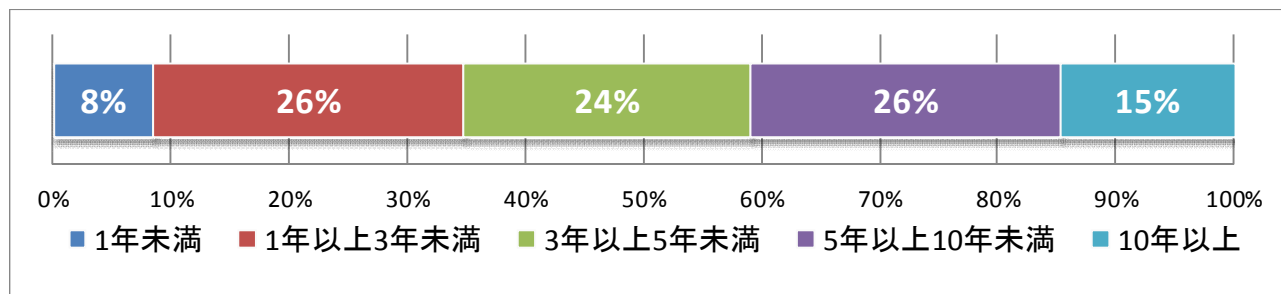


表 2－3 館長等の年齢

No.	館長等の年齢	度数	%
1	10代	0	0%
2	20代	0	0%
3	30代	0	0%
4	40代	2	1%
5	50代	20	8%
6	60代	175	67%
7	70代	58	22%
8	80代以上	5	2%
	合計	260	100%

図 館長等の年齢

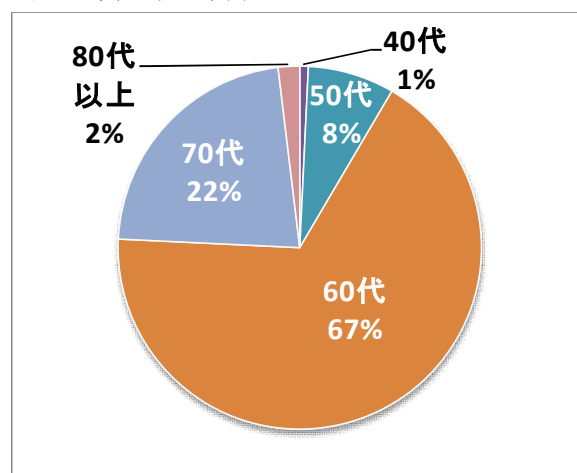
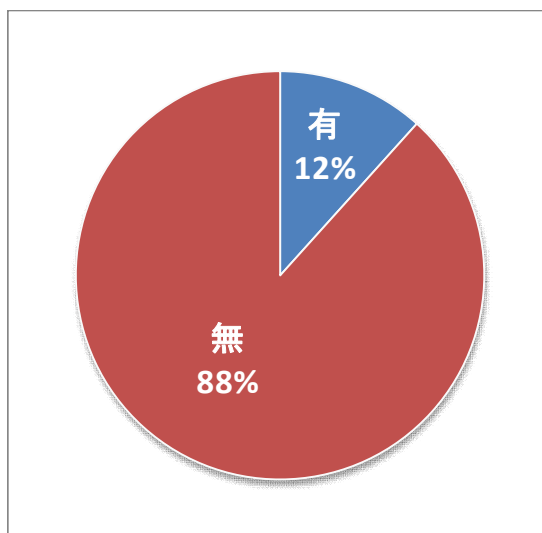


表 2－4 館長等の社会教育主事の資格

No.	館長等の社会教育主事の資格	度数	%
1	有	27	12%
2	無	204	88%
	合計	231	100%

図 館長等の社会教育主事の資格



(2) 公民館主事等について

表 2－5 主事等の勤務形態

No.	主事等の勤務形態	度数	%
1	常勤	343	67%
2	非常勤	171	33%
	合計	514	100%

図 主事等の勤務形態

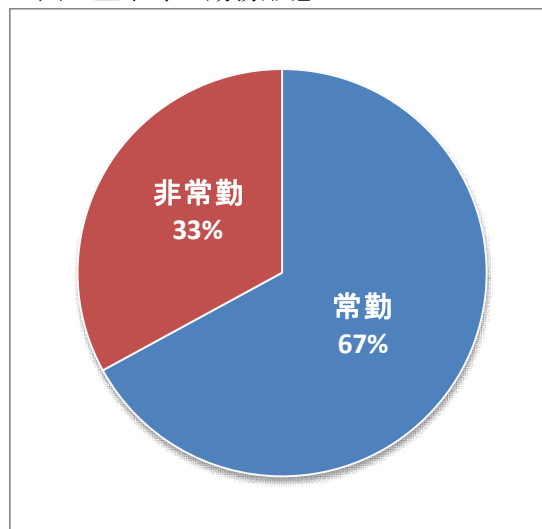


表 2－6 主事等の経験年数

No.	主事等の経験年数	度数	%
1	1年未満	35	7%
2	1年以上3年未満	93	18%
3	3年以上5年未満	82	16%
4	5年以上10年未満	154	30%
5	10年以上	147	29%
	合計	511	100%

図 主事等の経験年数

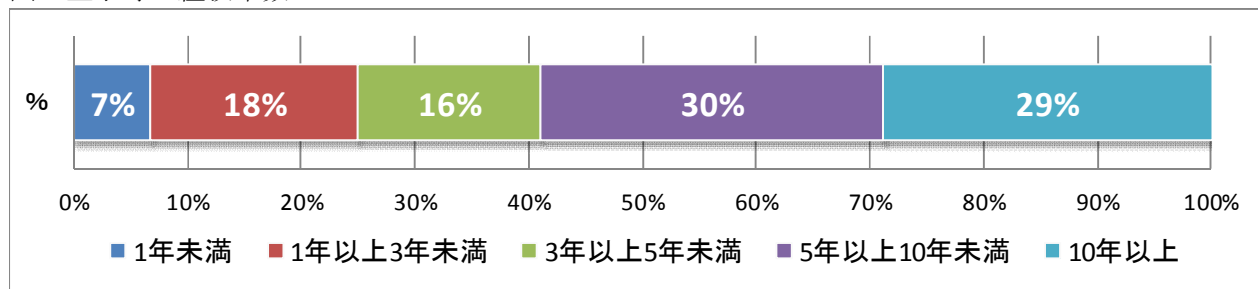


表 2－7 主事等の年齢

No.	主事等の年齢	度数	%
1	10代	0	0%
2	20代	25	5%
3	30代	92	18%
4	40代	120	24%
5	50代	171	34%
6	60代	93	18%
7	70代	7	1%
8	80代以上	0	0%
	合計	508	100%

図 主事等の年齢

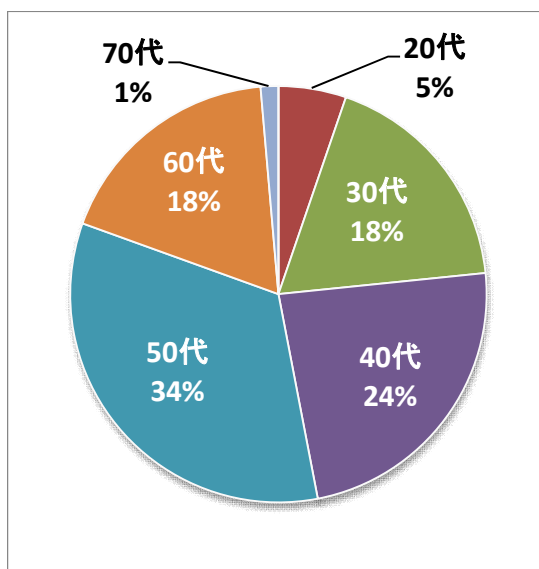
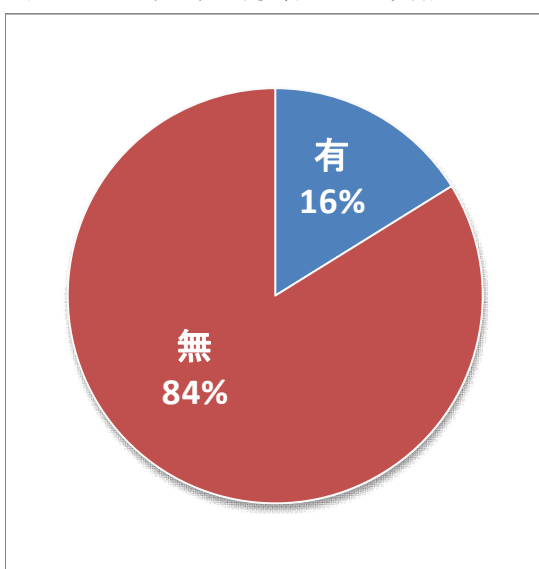


表 2－8 主事等の社会教育主事の資格

No.	主事等の社会教育主事の資格	度数	%
1	有	75	16%
2	無	384	84%
	合計	459	100%

図 主事等の社会教育主事の資格



(3) その他の職員について

表 2－9 その他の職員の勤務形態

No.	その他の職員の勤務形態	度数	%
1	常勤	44	33%
2	非常勤	88	67%
	合計	132	100%

図 その他の職員の勤務形態

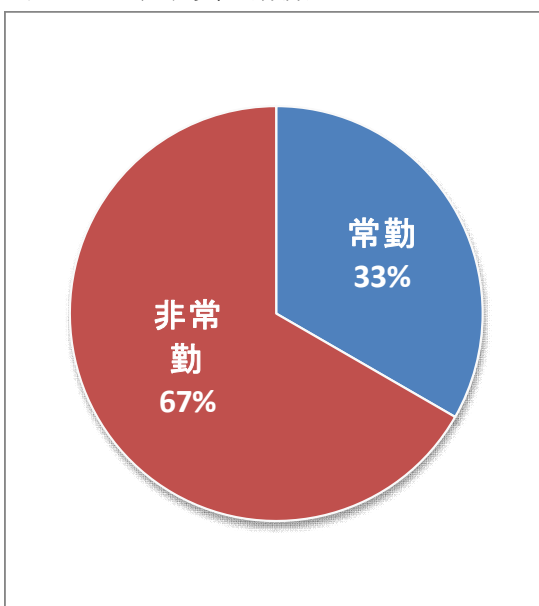


表 2－10 その他職員の経験年数

No.	その他職員の経験年数	度数	%
1	1年未満	12	9%
2	1年以上3年未満	54	41%
3	3年以上5年未満	24	18%
4	5年以上10年未満	26	20%
5	10年以上	17	13%
	合計	133	100%

図 その他職員の経験年数

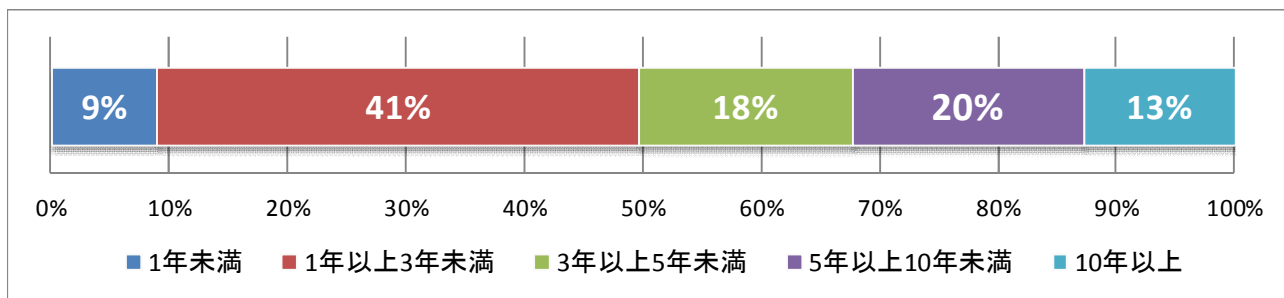


表 2－11 その他職員の年齢

No.	その他職員の年齢	度数	%
1	10代	0	0%
2	20代	7	5%
3	30代	12	9%
4	40代	22	17%
5	50代	44	34%
6	60代	40	31%
7	70代	5	4%
8	80代以上	0	0%
	合計	130	100%

図 その他職員の年齢

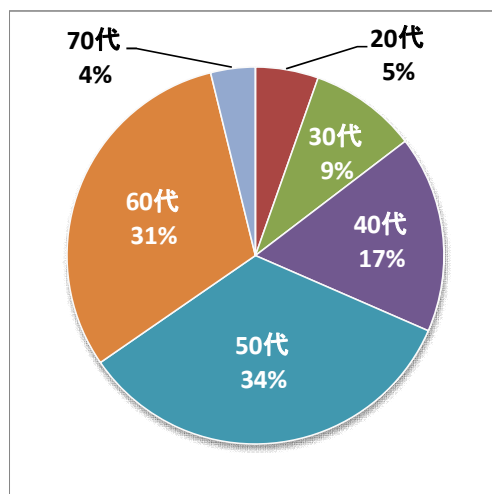
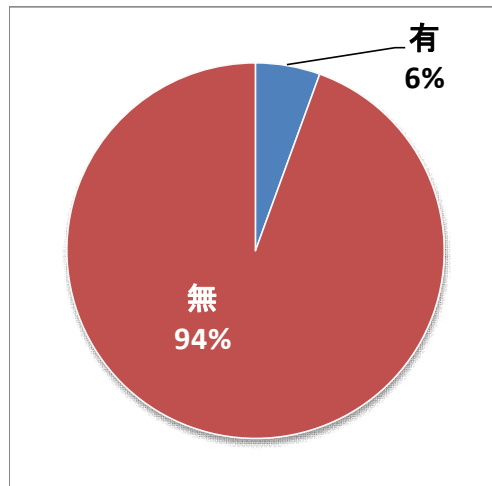


表 2－12 その他職員の社会教育主事の資格

No.	その他職員の社会教育主事の資格	度数	%
1	有	5	6%
2	無	85	94%
	合計	90	100%

図 その他職員の社会教育主事の資格



利用状況について

問 2 施設を利用した団体数と利用者ののべ人数について

(1) 利用団体数について

表 3-1 利用団体数

No.	利用団体数	青少年団体		成人団体		高齢者団体		その他の団体	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1	1～100団体	190	93%	168	74%	212	92%	166	82%
2	101～200団体	9	4%	16	7%	5	2%	11	5%
3	201～300団体	3	1%	15	7%	1	0%	7	3%
4	301～400団体	1	0%	7	3%	1	0%	7	3%
5	401～500団体	0	0%	7	3%	2	1%	0	0%
6	501団体以上	1	0%	14	6%	9	4%	11	5%
	合計	204	100%	227	100%	230	100%	202	100%

表 3-2 100 団体以下の利用団体の内訳

No.	利用団体数	青少年団体		成人団体		高齢者団体		その他の団体	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1	1～20団体	148	73%	116	51%	175	76%	113	56%
2	21～40団体	19	9%	28	12%	17	7%	22	11%
3	41～60団体	10	5%	12	5%	10	4%	12	6%
4	61～80団体	7	3%	6	3%	8	3%	7	3%
5	81～100団体	6	3%	6	3%	2	1%	12	6%
	合計	190	93%	168	74%	212	92%	166	82%

(2) 利用者のべ人数について

表 3-3 利用者のべ人数

No.	利用者数	青少年団体		成人団体		高齢者団体		その他の団体	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1	1～1000人	134	66%	79	37%	156	71%	66	36%
2	1001～2000人	29	14%	44	21%	31	14%	30	16%
3	2001～3000人	17	8%	20	9%	5	2%	20	11%
4	3001～4000人	10	5%	12	6%	6	3%	23	12%
5	4001～5000人	3	1%	13	6%	6	3%	7	4%
6	5001人以上	10	5%	45	21%	16	7%	39	21%
	合計	203	100%	213	100%	220	100%	185	100%

表 3-4 100 人以下の利用者の内訳

No.	利用者数	青少年団体		成人団体		高齢者団体		その他の団体	
		度数	%	度数	%	度数	%	度数	%
1	1～200人	56	28%	20	9%	56	25%	29	16%
2	201～400人	24	12%	23	11%	44	20%	13	7%
3	401～600人	25	12%	17	8%	25	11%	10	5%
4	601～800人	19	9%	11	5%	16	7%	9	5%
5	801～1000人	10	5%	8	4%	15	7%	5	3%
	合計	134	66%	79	37%	156	71%	66	36%

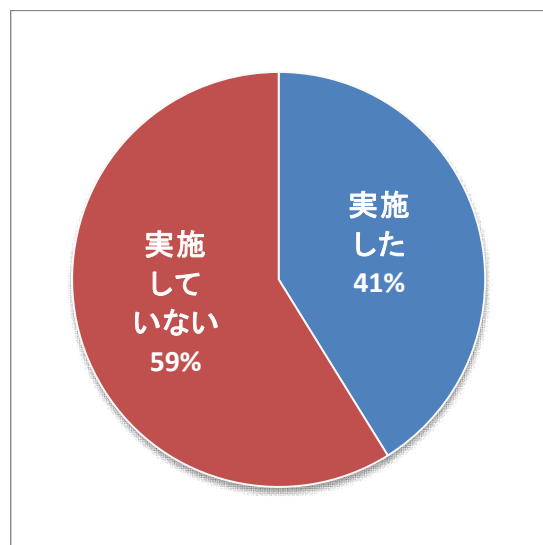
職員の研修状況について

問3 施設に所属する職員の研修について

表4-1 職員研修実施の有無

No.	職員研修の実施	度数	%
1	実施した	107	41%
2	実施していない	153	59%
	合計	260	100%

図 職員研修実施の有無



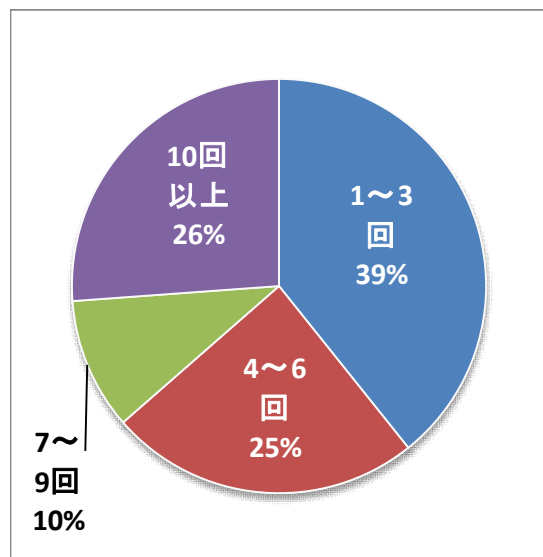
問4 施設で実施した職員研修について

(1) 職員研修を実施した施設での研修実施回数について

表4-2 研修実施回数

No.	研修の実施回数	度数	%
1	1～3回	42	39%
2	4～6回	26	24%
3	7～9回	11	10%
4	10回以上	28	26%
	合計	107	100%

図 研修実施回数



(2) 職員研修を実施した施設での研修内容について

表 4-3 研修内容 (複数回答可)

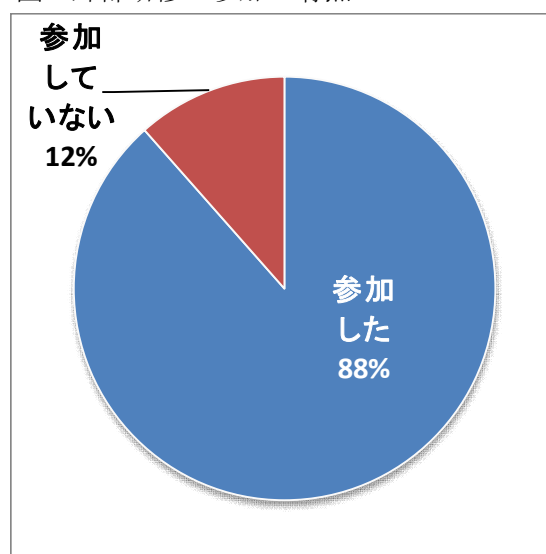
No.	職員研修の内容	度数	%
1	生涯学習・社会教育に関する知識(概論)	42	7%
2	学習プログラムの立案	24	4%
3	生涯学習・社会教育事業評価	15	3%
4	広報・広聴及びPR	28	5%
5	ワークショップの運営	17	3%
6	学習成果の活用	10	2%
7	地域資源の発掘・整理・活用	34	6%
8	学習ニーズや地域課題の把握・調査法	14	2%
9	体育・スポーツ・レクリエーション	27	5%
10	情報機器の活用	10	2%
11	人権教育	80	13%
12	地域づくり・まちづくり	64	11%
13	青少年教育について(キャンプ、野外活動、自然体験活動等)	31	5%
14	情報提供・学習相談	8	1%
15	生涯学習・社会教育に関する実践事例	31	5%
16	学校・家庭・地域の連携・支援	37	6%
17	職業教育・キャリア教育の推進・支援	4	1%
18	関係団体との連携・ネットワークづくり	30	5%
19	家庭教育支援	15	3%
20	グループ・サークルの育成・支援	20	3%
21	地域におけるボランティア活動活性化	16	3%
22	地域の指導者・リーダー育成	19	3%
23	その他	18	3%
	合計	594	100%

問 5 施設に所属する職員の、施設以外の外部研修の参加について

表 4-4 外部研修の参加の有無

No.	外部研修の参加	度数	%
1	参加した	230	88%
2	参加していない	30	12%
	合計	260	100%

図 外部研修の参加の有無

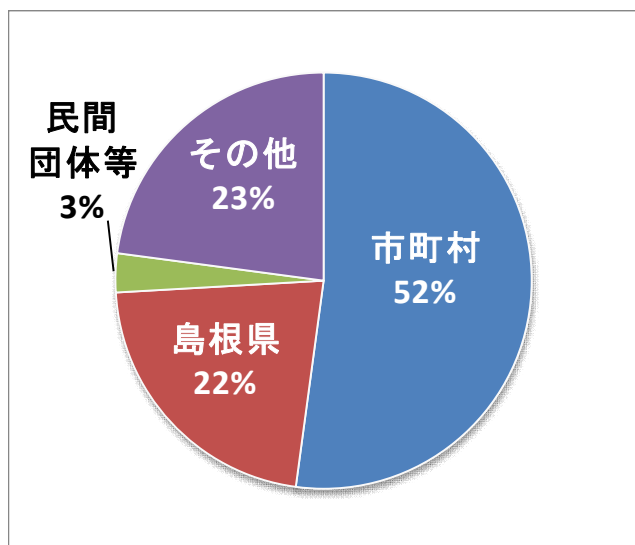


問6 外部研修の主催について

表4-5 外部研修の主催

No.	主催事業の実施	度数	%
1	市町村	451	52%
2	島根県	190	22%
3	民間団体等	26	3%
4	その他	198	23%
	合計	865	100%

図 外部研修の主催



問7 外部の研修に参加しなかった理由について

表4-6 外部研修不参加の理由

No.	参加しなかった理由	度数	%
1	開催時期・日程のあうものがない	21	32%
2	研修会場の近いものがない	8	12%
3	研修における学習内容に適当なものがない	12	18%
4	参加経費の負担が厳しい	5	8%
5	職員が研修に参加した場合、施設の業務に支障をきたす	14	22%
6	研修の必要性を強く感じない	3	5%
7	市町村や管理職の研修に対する理解が少ない	0	0%
8	その他	2	3%
	合計	65	100%

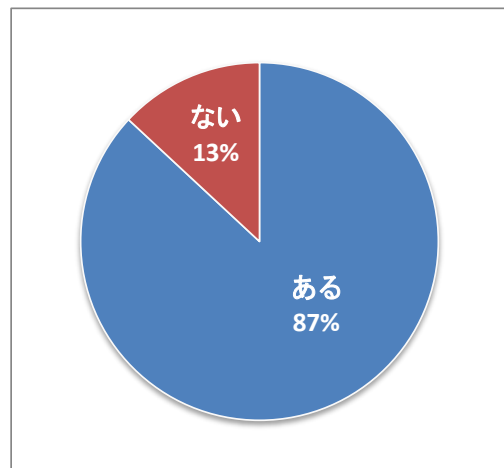
全体計画・事業計画について

問 8 施設の方針などを定めた全体計画について

表 5 - 1 全体計画の有無

No.	全体計画	度数	%
1	ある	226	87%
2	ない	34	13%
	合計	260	100%

図 全体計画の有無

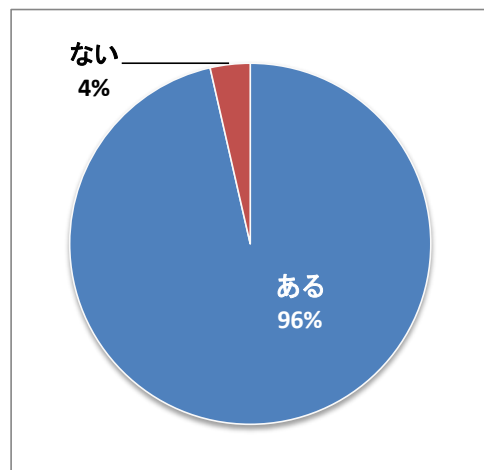


問 9 全体計画がある施設で、全体計画を運営協議会等に説明する機会について

表 5 - 2 全体計画を説明する機会の有無

No.	全体計画説明の場	度数	%
1	ある	216	96%
2	ない	8	4%
	合計	224	100%

図 全体計画を説明する機会の有無



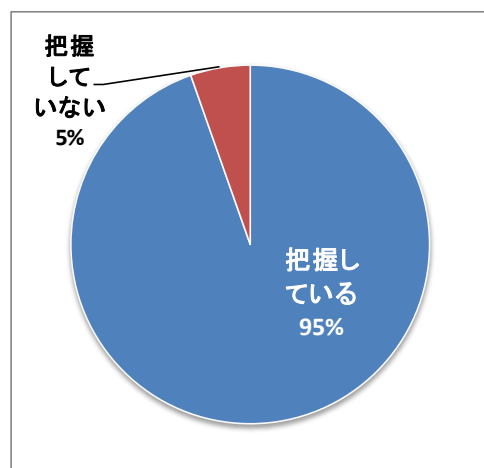
地域課題について

問 10 地域課題の把握について

表 6 - 1 地域課題の把握

No.	地域課題の把握	度数	%
1	把握している	246	95%
2	把握していない	14	5%
	合計	260	100%

図 地域課題の把握



問 1 1 地域課題の把握方法について

表 6 - 2 地域課題の把握方法

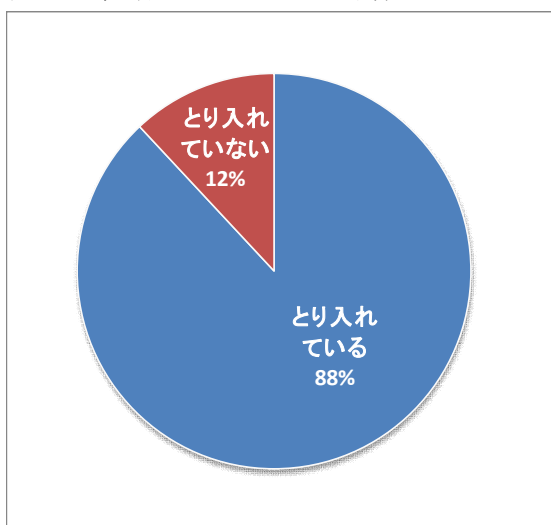
No.	地域課題の把握方法	度数	%
1	住民アンケート(調査票等による)	90	15%
2	住民への聞き取り(面接、直接聞き取り等)	125	22%
3	住民等を対象とした学習活動(ワークショップ、話し合い等)	112	19%
4	公民館等職員の協議や話し合い	161	28%
5	教育委員会や自治体等が地域課題を示している	71	12%
6	その他	22	4%
	合計	581	100%

問 1 2 地域課題をテーマにとり入れた事業について

表 6 - 3 地域課題をとり入れた事業

No.	地域課題をとり入れた事業	度数	%
1	とり入れている	207	88%
2	とり入れていない	28	12%
	合計	235	100%

図 地域課題をとり入れた事業



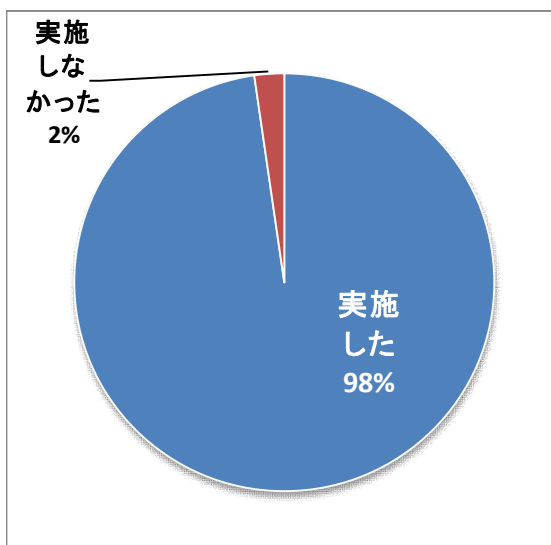
主催事業等の実施状況について

問 1 3 主催する事業等の実施状況について

表 7 - 1 主催事業の実施

No.	主催事業の実施	度数	%
1	実施した	254	98%
2	実施しなかった	6	2%
	合計	260	100%

図 主催事業の実施



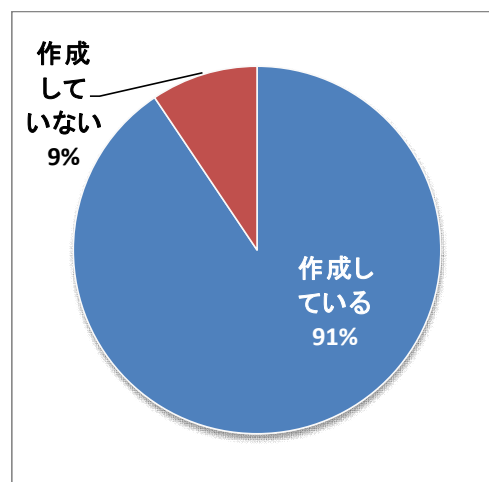
問 1 4 実施した主催事業について

(1) 主催事業の事業計画や企画書の作成について

表 7 - 2 事業計画の作成

No.	事業計画の作成	度数	%
1	作成している	231	91%
2	作成していない	24	9%
	合計	255	100%

図 事業計画の作成

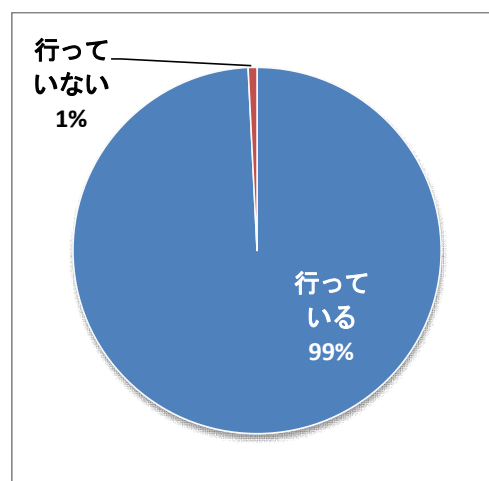


(2) 主催した事業の広報活動について

表 7 - 3 広報活動

No.	事業の広報活動	度数	%
1	行っている	253	99%
2	行っていない	2	1%
	合計	255	100%

図 広報活動



(3) 広報活動の方法について (複数回答可)

表 7 - 4 広報活動の方法

No.	広報活動の方法	度数	%
1	施設が発行するたより	229	30%
2	所在する市町村が発行する広報誌	44	6%
3	ポスター・チラシ	212	28%
4	ホームページ・ブログ	110	15%
5	SNS(ツイッター、フェイスブック等)	23	3%
6	自治会等での説明	87	12%
7	その他	49	6%
	合計	754	100%

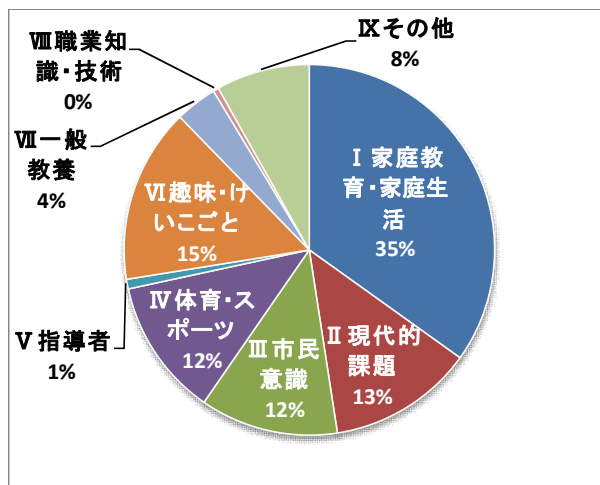
問15 主催する教室・講座や事業の内容等について

(1) 主催する教室・講座や事業の内容等について

表7-5 分野別事業数

No.	分野別事業数	度数	%
1	I 家庭教育・家庭生活	731	35%
2	II 現代的課題	266	13%
3	III 市民意識	252	12%
4	IV 体育・スポーツ	251	12%
5	V 指導者	18	1%
6	VI 趣味・けいこごと	319	15%
7	VII 一般教養	77	4%
8	VIII 職業知識・技術	10	0%
9	IX その他	171	8%
	合計	2095	100%

図 分野別事業数

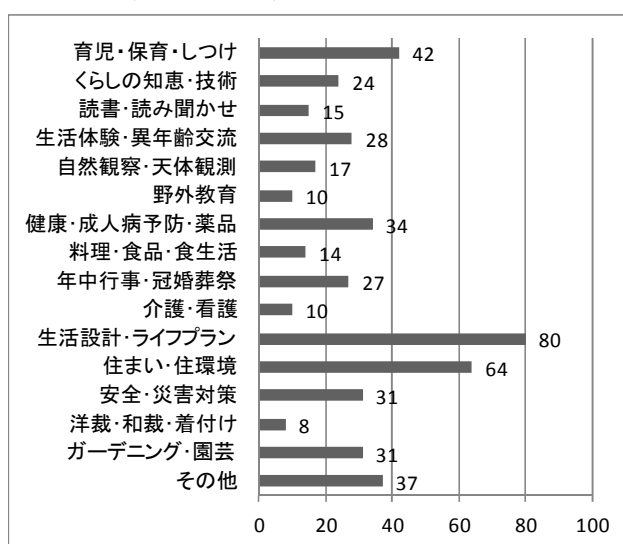


① 「家庭教育・家庭生活」分野

表①-1 「家庭教育・家庭生活」分野の事業数

No.	I 家庭教育・家庭生活	度数	%
1	育児・保育・しつけ	42	9%
2	くらしの知恵・技術	24	5%
3	読書・読み聞かせ	15	3%
4	生活体験・異年齢交流	28	6%
5	自然観察・天体観測	17	4%
6	野外教育	10	2%
7	健康・成人病予防・薬品	34	7%
8	料理・食品・食生活	14	3%
9	年中行事・冠婚葬祭	27	6%
10	介護・看護	10	2%
11	生活設計・ライフプラン	80	17%
12	住まい・住環境	64	14%
13	安全・災害対策	31	7%
14	洋裁・和裁・着付け	8	2%
15	ガーデニング・園芸	31	7%
16	その他	37	8%
	合計	472	100%

図 「家庭教育・家庭生活」分野の事業数

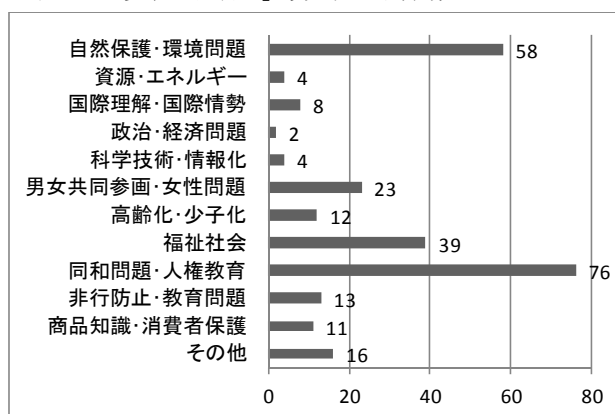


② 「現代的課題」分野

表②－１ 「現代的課題」分野の事業数

No.	Ⅱ 現代的課題	度数	%
1	自然保護・環境問題	58	22%
2	資源・エネルギー	4	2%
3	国際理解・国際情勢	8	3%
4	政治・経済問題	2	1%
5	科学技術・情報化	4	2%
6	男女共同参画・女性問題	23	9%
7	高齢化・少子化	12	5%
8	福祉社会	39	15%
9	同和問題・人権教育	76	29%
10	非行防止・教育問題	13	5%
11	商品知識・消費者保護	11	4%
12	その他	16	6%
	合計	266	100%

図 「現代的課題」分野の事業数

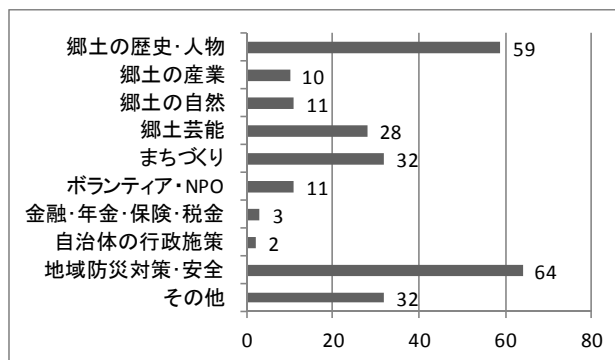


③ 「市民意識」分野

表③－１ 「市民意識」分野の事業数

No.	Ⅲ 市民意識	度数	%
1	郷土の歴史・人物	59	23%
2	郷土の産業	10	4%
3	郷土の自然	11	4%
4	郷土芸能	28	11%
5	まちづくり	32	13%
6	ボランティア・NPO	11	4%
7	金融・年金・保険・税金	3	1%
8	自治体の行政施策	2	1%
9	地域防災対策・安全	64	25%
10	その他	32	13%
	合計	252	100%

図 「市民意識」分野の事業数

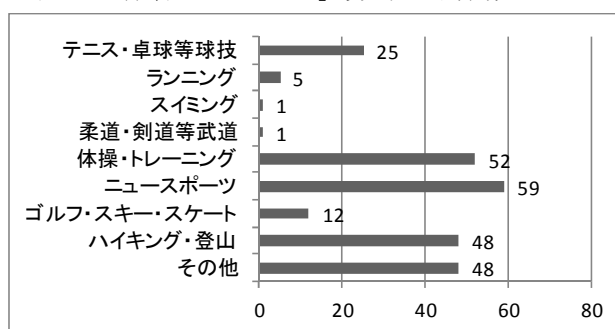


④ 「体育・スポーツ」分野

表④－１ 「体育・スポーツ」分野の事業数

No.	Ⅳ 体育・スポーツ	度数	%
1	テニス・卓球等球技	25	10%
2	ランニング	5	2%
3	スイミング	1	0%
4	柔道・剣道等武道	1	0%
5	体操・トレーニング	52	21%
6	ニュースポーツ	59	24%
7	ゴルフ・スキー・スケート	12	5%
8	ハイキング・登山	48	19%
9	その他	48	19%
	合計	251	100%

図 「体育・スポーツ」分野の事業数

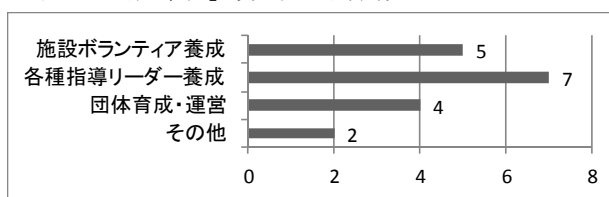


⑤ 「指導者」分野

表⑤－１ 「指導者」分野の事業数

No.	V 指導者	度数	%
1	施設ボランティア養成	5	28%
2	各種指導リーダー養成	7	39%
3	団体育成・運営	4	22%
4	その他	2	11%
	合計	18	100%

図 「指導者」分野の事業数

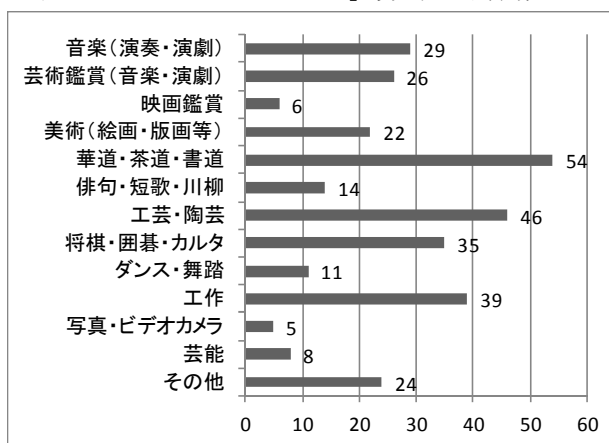


⑥ 「趣味・けいごと」分野

表⑥－１ 「趣味・けいごと」分野の事業数

No.	VI 趣味・けいごと	度数	%
1	音楽(演奏・演劇)	29	9%
2	芸術鑑賞(音楽・演劇)	26	8%
3	映画鑑賞	6	2%
4	美術(絵画・版画等)	22	7%
5	華道・茶道・書道	54	17%
6	俳句・短歌・川柳	14	4%
7	工芸・陶芸	46	14%
8	将棋・囲碁・カルタ	35	11%
9	ダンス・舞踏	11	3%
10	工作	39	12%
11	写真・ビデオカメラ	5	2%
12	芸能	8	3%
13	その他	24	8%
	合計	319	100%

図 「趣味・けいごと」分野の事業数

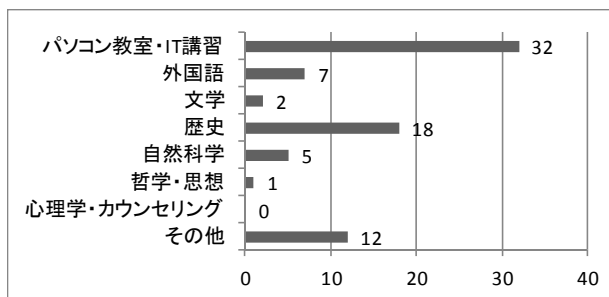


⑦ 「一般教養」分野

表⑦－１ 「一般教養」分野の事業数

No.	VII 一般教養	度数	%
1	パソコン教室・IT講習	32	42%
2	外国語	7	9%
3	文学	2	3%
4	歴史	18	23%
5	自然科学	5	6%
6	哲学・思想	1	1%
7	心理学・カウンセリング	0	0%
8	その他	12	16%
	合計	77	100%

図 「一般教養」分野の事業数

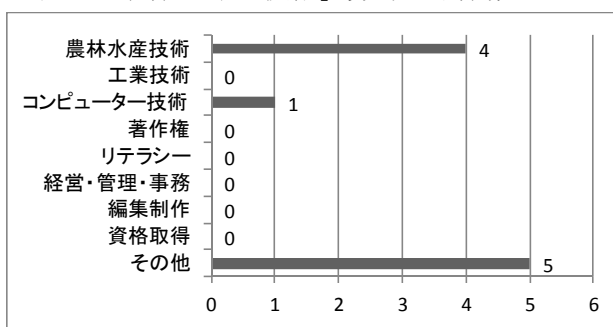


⑧ 「職業知識・技術」分野

表⑧－１ 「職業知識・技術」分野の事業数

No.	Ⅷ職業知識・技術	度数	%
1	農林水産技術	4	40%
2	工業技術	0	0%
3	コンピューター技術	1	10%
4	著作権	0	0%
5	リテラシー	0	0%
6	経営・管理・事務	0	0%
7	編集制作	0	0%
8	資格取得	0	0%
9	その他	5	50%
	合計	10	100%

図 「職業知識・技術」分野の事業数

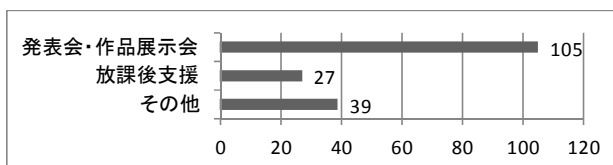


⑨ 「その他」分野

表⑨－１ 「その他」分野の事業数

No.	Ⅸその他	度数	%
1	発表会・作品展示会	105	61%
2	放課後支援	27	16%
3	その他	39	23%
	合計	171	100%

図 「その他」分野の事業数



(2) 主催する事業のうち、地域課題の解決をテーマにしている事業について

① 主催事業のうち、地域課題の解決をテーマにしている事業数

表 7－6

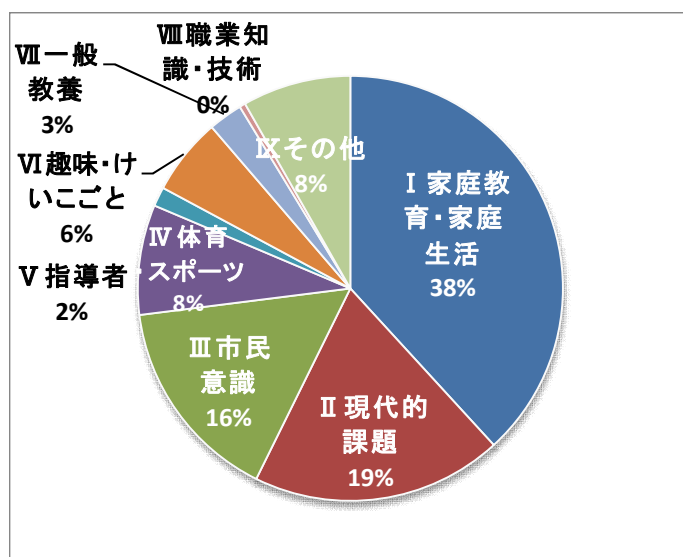
No.	地域課題解決を テーマにしている事業	度数	%
1	テーマにしている事業	885	42%
2	事業総数	2095	

② 主催事業のうち、地域課題の解決をテーマにしている分野別事業数

表 7－7 地域課題解決をテーマにした分野別事業数

No.	地域課題解決をテーマにした事業	度数	全体度数	%
1	I 家庭教育・家庭生活	338	731	46%
2	II 現代的課題	169	266	64%
3	III 市民意識	139	252	55%
4	IV 体育・スポーツ	74	251	29%
5	V 指導者	13	18	72%
6	VI 趣味・けいこごと	52	319	16%
7	VII 一般教養	23	77	30%
8	VIII 職業知識・技術	4	10	40%
9	IX その他	73	171	43%
	合計	885	2095	

図 地域課題解決をテーマにした事業数



(3) 事業の協力団体について

① 主催事業のうち、団体等と協力して実施している事業数

表 7-8 団体等と協力して実施している事業数

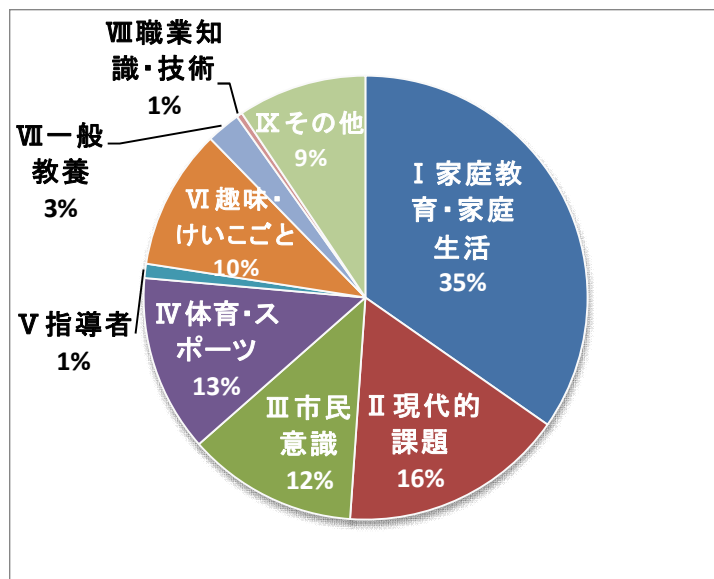
No.	団体等と協力して実施している事業数	度数	%
1	協力している事業	1170	56%
2	事業総数	2095	

② 主催事業のうち、団体等と協力して実施している分野別事業数

表 7-9 協力団体のある事業数

No.	協力団体	度数	全体度数	%
1	I 家庭教育・家庭生活	406	731	56%
2	II 現代的課題	192	266	72%
3	III 市民意識	145	252	58%
4	IV 体育・スポーツ	151	251	60%
5	V 指導者	12	18	67%
6	VI 趣味・けいこごと	120	319	38%
7	VII 一般教養	29	77	38%
8	VIII 職業知識・技術	5	10	50%
9	IX その他	110	171	64%
	合計	1170	2095	

図 協力団体のある事業数

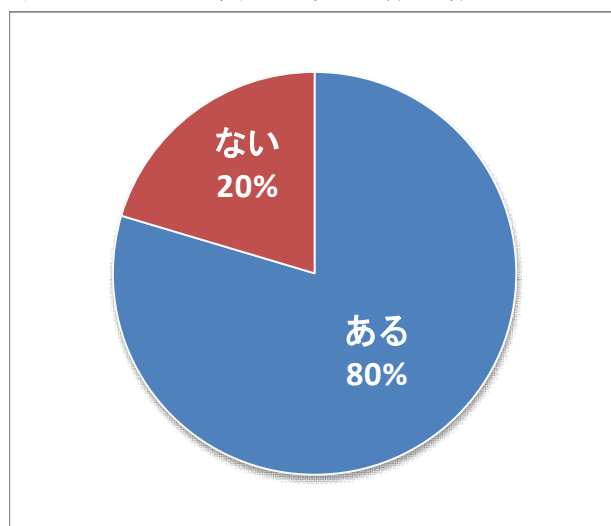


問 16 ふるさとについて学んだり体験したりする事業の実施について

表 8-1 ふるさとに関して学ぶ事業の有無

No.	ふるさとを学ぶ事業	度数	%
1	ある	203	80%
2	ない	52	20%
	合計	255	100%

図 ふるさとに関して学ぶ事業の有無



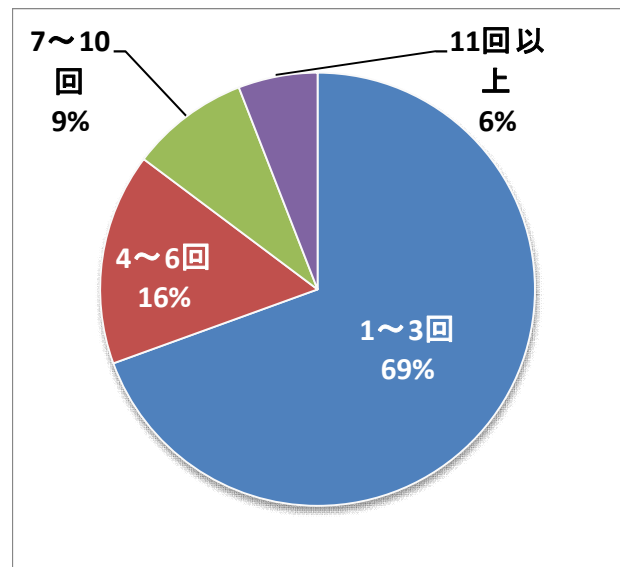
問17 ふるさとについて学んだり体験したりする事業について

(1) ふるさとに関して学ぶ事業数

表8-2 ふるさとに関して学ぶ事業数

No.	ふるさとを学ぶ事業数	度数	%
1	1～3回	141	69%
2	4～6回	32	16%
3	7～10回	18	9%
4	11回以上	12	6%
	合計	203	100%

図 ふるさとに関して学ぶ事業数



(2) ふるさとに関して学ぶ事業の名称・内容等

[別表参照]

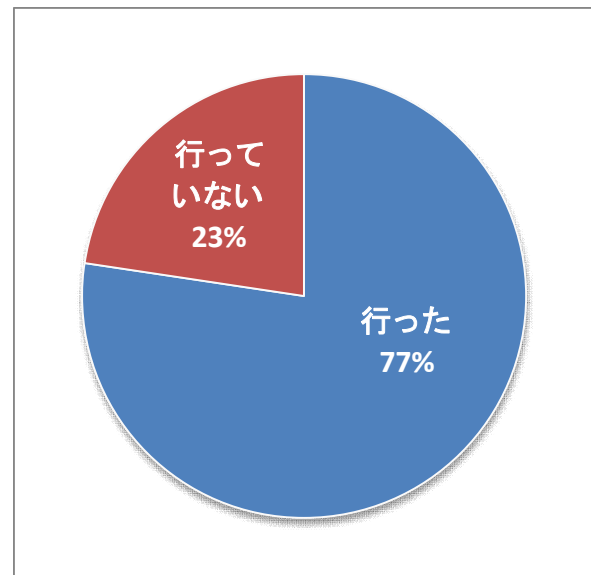
事業評価について

問18 主催事業に対する事業評価について

表9-1 事業評価の有無

No.	事業評価	度数	%
1	行った	195	77%
2	行っていない	57	23%
	合計	252	100%

図 事業評価の有無



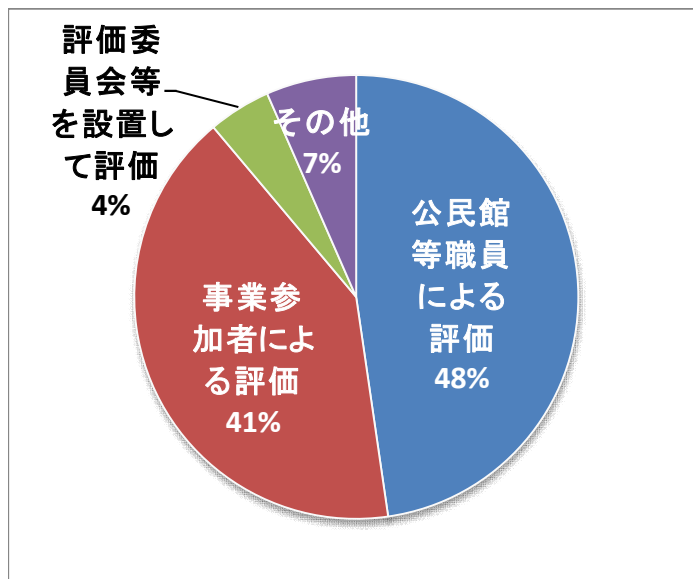
問 19 事業評価の評価について

(1) 事業評価の評価方法について

表 9-2 事業評価

No.	事業の評価者	度数	%
1	公民館等職員による評価	167	48%
2	事業参加者による評価	144	41%
3	評価委員会等を設置して評価	16	5%
4	その他	23	7%
	合計	350	100%

図 事業評価

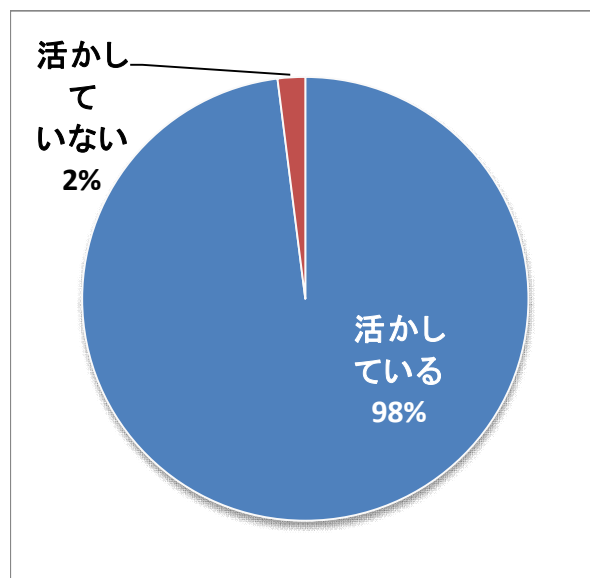


(2) 事業評価の活用について

表 9-3 事業評価の活用

No.	評価の活用	度数	%
1	活かしている	195	98%
2	活かしていない	4	2%
	合計	199	100%

図 事業評価の活用



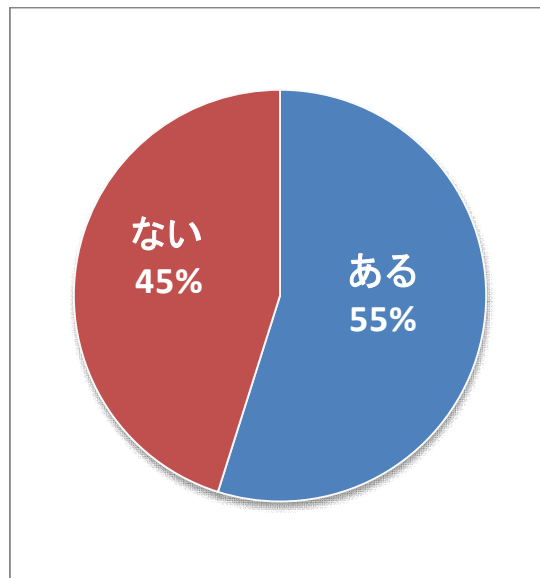
地域人材の育成について

問 2 0 地域課題の解決のために取り組むようになった住民組織等の有無について

表 10－1 住民組織等の有無

No.	団体	度数	%
1	ある	135	55%
2	ない	111	45%
	合計	246	100%

図 住民組織等の有無



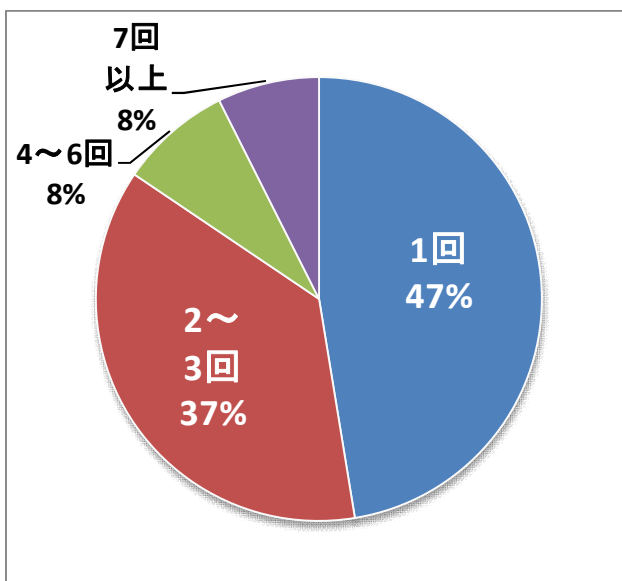
問 2 1 地域課題の解決のために取り組むようになった住民組織等について

(1) 住民組織の数

表 10－2 住民組織等の数

No.	協力団体数	度数	%
1	1回	64	47%
2	2～3回	50	37%
3	4～6回	11	8%
4	7回以上	10	7%
	合計	135	100%

図 住民組織等の数



(2) 地域課題の解決のために取り組むようになった住民組織等の名称・活動内容等

[別表参照]

問17「ふるさとに関して学ぶ事業」の事業名と事業内容 一覧

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
松江市	城東	歴史講座	6～11月	成人	地域にある松江城の魅力を専門官を招いて再認識することで、ふるさとへの愛着を更に深める。
	城北	歴史講座1	6回(5～10月)	一般	出雲風土記
		歴史講座2	3回(6～8月)	一般	小泉八雲
		歴史講座3	5月	一般	明治維新
	城西	琴体験・笛体験	9～12月	幼児・園児・児童	松江市では、毎年琴行列が実施されている。地域の方に指導していただき、幼児・園児・児童に伝承していき、城西幼保園祭り・城西祭りなどで披露する。
		もつと城西まち歩き	6月28日 1月31日	地区住民	城西地区まち歩きマップをおもとに、城西まち歩きガイドみなさんの説明を聞きながら、城西地区を散策し地域の歴史について学ぶ。
		郷土偉人「農学者松村豊吉氏」に学ぶ	7～3月	地区住民	郷土偉人「農学者松村豊吉氏」北海道の「稲作の父」と言われ、松江市において「反当たり綿作 世界1」の郷土偉人城西地区の人に「松村豊吉」を知ってもらおうと紙芝居やDVDを作製して公民館で開催した城西祭りで紹介した。平成27年度は「綿づくり」につないだ。
	白湯	夏休み子ども公民館「座禅体験」	7月29日	小学生	地域にあるお寺で「座禅体験」をしたり、ご住職からお話を聞く。
		夕日と音楽を楽しむ会	9月26日	地域住民・幼稚園・保育所・小学生	美しい宍道湖の景色(夕日)を眺めながら、地域の大人のサークルや幼稚園、保育所の園児の発表を行い、地域住民同士の交流を図る。
		地域歴史再発見	5月9日 ～2月13日	地域住民	地域のお寺や神社を訪れ、お話を聞いたり、また専門家の講演会を開催し、地域への学びを深める。
	朝日	朝日水燈路	8月24日	幼児～高齢者	夏休み中の小学生や公民館専門部また地域諸団体によびかけて水燈路をつくり天神川沿いに並べて、自分たちの住む町の資源を再認識しようとするイベント
		わが町ぶらりウォーキング	10月16日	高齢者	地区内の事業所を訪問し事業内容の話を聞き理解を深める。
		あさひ日本語ひろば移動教室	9月27日	外国人	外国人が周辺地域に出かけ、産業施設や名所を見学することによって自分たちが住む町への理解を深める。
	津田	津田むかしめぐり	1日	小学生親子	津田親父の会のメンバーと小学生の親子が、秋の自然を楽しみながら、津田地区にある古墳や石棺を探して歩く
		津田とんどまつり	1日	地域住民	古くから伝わる伝統行事を地域をあげて行う。正月にお迎えした神様をお送りし、しめ縄やお守りなどを燃やす炎に今年一年の無病息災を願う。
		歴史講座	1日 (合計4回)	地域住民	市内のお寺を巡り、そこに保存されている先人の優れた伝統の技を見て歩く。
	古志原	遊友大人塾	通年	地域住民	8回中2回ふるさとについて学ぶ事業を実施 歴史講座、堀川めぐり
	川津	ふるさとウォーク《川虎くわっぱ》のふるさとまち歩き》	11月22日	地域住民	川津まち歩きガイドマップを使用し、ウォーキング協会の指導者と一緒に歩く。終了後、公民館で軽食。
		かわつ故郷かるた大会	12月26日	小学生、地域住民	「かわつ故郷かるた」を使用してのかるたとり大会。小学生はチーム対抗のリレー競技も行う。
	朝酌	矢田渡船に乗ってみよう		乳幼児と保護者	水の都として松江市矢田町と朝酌町を結ぶ渡し船を時代と共に活用しなくなり、改めて水の上から地域を見て、船頭さんから歴史や文化等を聞き、郷土への愛着心を持つ。
	法吉	成人学級「法吉は尼子氏と毛利氏攻防の舞台」	8月5日 10月30日	成人	8/5「白鹿城と真山城を巡って」 松江歴史館専門官 宍道正年氏を講師に座学を聴く。 10/30「白鹿城跡現地学習」 松江歴史館専門官 宍道正年氏を講師に現地を歩きながら講話を聴く。
	竹矢	歴史ウォーキング	5月23日～ 11月20日	成人	専門家に話を聞きながら健康増進も兼ね、ウォーキングで地域の史跡をめぐる。
		歴史講演会	2月4日	成人	専門家を招き、中世の竹矢地区について学習する。
	乃木	早朝歩こう会	5/11 6/1 7/6 8/3 9/21 10/5	小学生～一般成人	健康づくりを目的に、地域に残る史跡、文化遺産等を歩いてめぐり、あわせてふるさとを知る機会とする。
		乃木地区ウォークラリー大会	11月9日	小学生～一般成人	地域の史跡・文化遺産等をチェックポイントにしてクイズやゲーム等を楽しみながら小集団でめぐること、健康づくりをかねてふるさとを学ぶ。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
松江市	乃木	嫁ヶ島探検	6月28日	小学1年生～6年生	宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島(浜乃木1番地)に渡って、その島の歴史等を学習すると共に地域の方から環境・自然について体験を通して学ぶ
	大庭	みどり米づくり	4月22日～1月30日	大庭小学校4年生児童	古代文化発祥の地にちなみ、古代米である「みどり米」づくりを通して、子ども達に地域の高齢者との交流や、様々な体験を通して食物の大切さについて学習する。
		まがたまづくり	10月18日	小学生及び一般	地区内の「八雲立つ風土記の丘」施設内で古代の人々の生活様式にふれながら、装飾品であった「まがたま」を作成する。
		茶臼山整備活動	10月11日～3月8日	一般	神の宿る山として古代から親しまれており、現在も大庭のシンボルの存在である茶臼山の登山道や山頂整備、桜等の植樹活動を地域に広く呼びかけながら行っている。
	生馬	ウォークラリー	11月1日	小学生以上	生馬地区に関するクイズに答えながら、地域を歩いて回る。
		子ども野菜市	7月19日	小学校5、6年生	地域の野菜作りについて学び(野菜農家の見学等)、地域の新名所「はすまつり」において子どもたちが、子ども野菜市を企画・運営する。
		オールナイトサバイバル	10月18日～19日	小学校5、6年生	地域の漁業や農業について学び、シジミ漁や野菜の収穫などの体験をする。収穫物は調理して食べる。
	持田	まち探検ウォーク	11月22日	幼児～大人	地域を知ることを中心に各地域の名所、神社・仏閣等、地域の方を案内人にし、説明を受けながら歩き地域の再発見や地域の人との交流を図る。また、健康の取り組みとしても相乗効果あり。
		とんどさん	1月11日	地域住民(幼児～大人)	昔ながらの正月行事を役員が竹伐りから設営を行い、地域の人と一緒にやるとんどさんを行う。宮司さんより由来などの説明を聞き、中学生もボランティアの体験活動の一貫で参加する。(地域の消防団にも火気の安全管理の協力をもらう。)
	古江	健康ウォーキング	5月31日	幼児～成人	「古江ウォーキングマップ」を元に、地区内役3kmを、地元の方にお話を聞きながら史跡めぐりをし、ふるさとの歴史を学ぶ。
		ふるさとづくり事業 ～郷土の偉人 清原太兵衛の佐陀川開さく～	11月6日	成人	郷土の偉人 清原太兵衛の偉業について、近年の調査研究で今までの定説とは異なる視点から現地を辿りながら学ぶ。
		湖北中学校区ジュニアリーダー研修会	11月30日～12月1日	中学生	社会教育施設に宿泊しながら、自分達の暮らす町、自然や人について改めて見つめなおし、深く掘り下げることで中学生の視点でまちづくりについての思いを具体化する。郷土芸能「銭太鼓」体験、異学年・異世代間の交流などから、さまざまな人のふるさとへの思いを知り、自分自身もふるさとへの思いを新たにします。
	本庄	ふるさとの土とともに	5月23日～11月28日	保育所・幼稚園児、小学5年生	米作り体験学習 5月に田植えをして、9月に刈って11月に収穫祭をしてみんなで食べる。
		カヌー体験	5月27日～9月26日	中学1年生	中海について学び触れる学習 中学1年生を対象にカヌー体験を5回開催。
	大野	ふるさと振興事業	通年	全般	・青大豆プロジェクト事業～大野特産の青大豆を活用した豆腐作りを行いその過程等をふるさとまつりで紹介した。 ・わがまち自慢発掘プロジェクト事業より「おいでませ 大野」のマップを活用した大野歴史案内看板を設置した。～西光寺、土居城跡・古墳群の説明版を取り付けた。 ・字の聞き取り調査の実施～大野郷土史をもとに各自治会ごとに字名のリスト作成。
		歴史講座	2月9日	高齢者、小学6年生	松江歴史館専門官 宍道正年氏を講師に大野小学生6年生、高齢者を対象に、松江藩の時代・大野地区の歴史について学んだ。
		地藏札所めぐり	3月7日	高齢者	大野地区内の地藏札所をめぐり、お参りと同時に大野の歴史について学習した。
	秋鹿	子どもとんどさん	1月11日	幼児・小学生・保護者	神竹を立て、周りを正月に神さんにお供えした飾りや書初めを飾り、火をつけ燃やす。熾きで餅を焼き食べ、書の上達と無病息災を祈る。
		子どもおまつあん	2月1日、8日	小学校5、6年生・保護者	秋鹿地区に残る松江市無形文化財「大日堂御頭行事おまつあん」行事を体験する。 ・大餅つき 公民館で餅つきの衣装に着替え、当番地区の集会所で伝統儀式に基づき結界の張られた場所で1斗1升の餅をつく。 ・大餅おろし 前日に大日堂に供えられた大餅を、担ぎ出し子どもたち20人が4人ずつ交代で保護者と一緒に担ぎ、地区内を練り歩く。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
松江市	恵曇	伝統行事推進事業 (盆踊り)	7～8月	小学校1年 ～6年生	本番に向けて、踊り、唄等を地域の方々より教わり、練習をする。
		伝統行事推進事業 (左義長)	11～1月	小学校1年～ 中学校3年生	1月3日の本番に向けて、笛、唄、太鼓等の練習会をし、また、小物作りをする。
		ふるさと歴史学習	11月	大人	地区住民を対象に、佐陀川を開削した清原太兵衛の足跡をたどりながら現地学習をした。
	佐太	川から海へ大航海 in鹿島2014	通年	小学校3年生 から中学生と その保護者	冬に切った竹でいかだを作り、清原太兵衛の開削した佐陀川を下りふるさとの自然に親しむ。
		ふるさと子ども歴史教室	8月28日	小学6年生・ 一般	松江城や鹿島町内の歴史について学習する。
		神在餅発祥の地PR活動	11月23日	佐太神社神 在祭参拝客	神在餅発祥の地とされる佐太神社のお忌み祭において、参拝客に神在餅を販売するとともに発祥の地のPR活動を行う。
	講武	米作り授業	5月15日～ 1月31日	小学校5年生	小学校5年生が地域の方の指導により、一年を通して田植え、水田の草取り、かかし作り、かかし立て、より縄作り、稲刈り、脱穀、もちつき、感謝の会と米作りについて学ぶ。
		お茶摘み	5月14日	小学校3年 生、幼稚園児 とその保護者	高齢者教室の方を指導者に、地元茶畑で茶摘みをする。 小学生は茶工場の見学もして、お茶について学ぶ。
		しめ縄作り	12月10日	小学校3年生	高齢者教室の皆さんを指導者に、しめ縄作りをする。
	島根	ふるさと学習	1日	小学6年生	地名の由来や名所・旧跡・地域の祭り・行事について学ぶ
		わがまち自慢マップ活用事 業	1日	成人	わがまち自慢マップを活用し、地域の名所・旧跡・歴史について学ぶ
		ほたるの観察会	1日	子ども・成人	地域環境を学びながら、蛍観察をする
	八雲	のびのびやくもっ子体験教 室	通年	親子	町内の親子を対象に毎月1回事業を実施している中にふるさとを学ぶ講座を取り入れている。(例:そば打ち、紙漉き、星上山ハイキング等)
	宍道	ふるさと歴史教室	7月	小学6年生	小学校の授業の一環として、松江歴史館の専門官の先生をお招きして、松江城についてお話しいただきました。
	来待	ふるさと子ども歴史教室	7月8日	小学校6年生	堀尾家による松江城と城下町づくりについての学習。
		第1回文化研修	7月27日	一般	堀尾家による松江城と城下町づくり、及びその後の松江藩の歴史などについて学ぶ。
	八束	弘法大師お堂巡り	4月21日	大人	町内に十数か所ある弘法大師が祀られているお堂を巡り、説明を聞く。
		やんべなクイズラリー	5月3日	子ども～大人	町内の名所(神社・寺等)を歩いて回り、町内に関係したクイズ等に挑戦する。
		りんごんさんについて	6月17日	大人	町内に十数か所ある「りんごんさん」を巡り、地元の方から説明を聞く。
	揖屋	なかよし公民館	7月22日 ～23日	東出雲町内 小学4年生	東出雲町内の史跡や地域人物を学ぶ。 揖夜神社、黄泉比良坂、中海干拓、佐藤忠次郎記念館など(約2時間)
		町内学校教職員研修	8月11日	小・中・幼の 新任先生	東出雲町内を一巡し、地形と名所を知る。 揖屋地区、上意東地区、下意東地区、出雲郷地区でそれぞれ案内ガイド説明による研修(約4時間)
	出雲郷	あだかえとんど	1月	地域住民	PTA おやじの会 公民館で実行委員をたちあげ、地域の伝統行事でもあるとんどやきを、小学校校庭で行っている
	意東	郷土学習の会	4～2月	地域住民(成 人)	元公民館長を講師に、地区内の神社仏閣、歴史上の人物の功績や民話など、地域に伝わる行事や伝統文化等を学んだ。
	上意東	ほたる祭り	1日	子供から大人	蛍を見ながらし、食を通じて地域内外の交流をする。
		納涼夏祭り	1日	子供から大人	上意東に伝わる踊りや歌 子ども達への伝承を目的と地域の継り、盆踊り等
		農業祭	1日	子供から大人	産物・人・歴史・自然・環境を地域内外の方に知ってもらう為
安来市	十神	世代交流ふれあい活動	7月1日	高齢者・こど も	グランドゴルフ大会
		十神小学校先生のふるさと 町歩き研修	7月29日、31 日	先生	先生方の地域を知る研修 町歩き探訪 講師による地域のお話
		十神小ふれあい活動	11月18日	地域の方・ 児童	地域の高齢者の方々と昔の遊びをする。
	社日	社日地区 健康ウォークラ ー	10月12日	社日地区民 全般	社日小学校をスタート・ゴールにして、社日公園から社日山～日本台～世界平を各ポイントでクイズに答えながら歩いて帰り、ふるさとを認識する。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
安来市	社日	翠会	月2回 隔週火曜日	中学生・小学生	地元、安来節を学ぶ教室。唄、三味線、銭太鼓など。
		安来節教室	月2回 隔週土曜日	成人	地元・安来節を学ぶ教室で安来節の試験を受けるためや、技術向上のために練習に励まれています。
	島田	歴史講座	5～12月	高校生以上	郷土の遺跡やその歴史について学ぶ
		スキルアップ講座	2月	成人	幼稚園・小学校の授業支援者の資質向上並びに新たな支援者・ボランティアの養成を目的に開催 午前 大学教授などによる教育論 午後 小学校長による児童の動向・行動
		クリーンアップしました	7月	幼児以上	中海の海岸線を一斉清掃することにより、その環境の実態を知ると共に中海の環境浄化に資する。
	宇賀荘	歴史の道ウォークラリー	10月18日	子どもから大人まで	宇賀荘地区にある、歴史古道を交流センターから清水寺までウォーキングする
		椿油作り	11月25日～29日	小学校5、6年生と花木の会	寒椿展の時に販売する椿油を作る作業を小学生と体験する
		田植え稲刈り稲こぎ	5～10月	小学5年生と大人	ボランティアで貸していただいている田んぼで、小学生と地域の大人が田植え、稲刈り、稲こぎをすることで、米作りを学ぶ。
	吉田	吉田健康ウォーク	10月18日	吉田地区内住民	鳴滝地区の鳴滝神社をめざしてウォークを開催。 鳴滝神社の由来などを聞き、ふるさとの歴史にふれるウォークを開催した。
	能義	瀧さんをたずねてウォーキング	11月9日	地域住民	地域住民にあまり知られていない妙瀧寺までウォーキングを行い、クイズ等を行うことで知られざる名所を学ぶ
		能義の郷再発見企画	11月21日	地域住民	ふるさとは全国に誇れるものがたくさんあり、能義の宝物をみなさんに紹介する
	飯梨	車山健康登山	6月8日	地区住民	暑垣の峰として知られる車山に登山し、健康増進を図るとともに講師に話を聞き歴史を学ぶ。
		ふれあい田植え祭り	6月3日～10月25日	小学生	地域に伝わる「田植え歌」の伝承、田植えから稲刈り・脱穀を体験し、地区の文化祭で餅つき大会を行う。
		健康ウォーキング大会	10月26日	地区住民	地域の名所を巡り、郷土の歴史や文化などについて学ぶとともに健康増進を図る。
	荒島	あらしまテント村	8月2日～3日	荒島小学校4年生～6年生の希望者	交流センターで一泊二日の体験学習。 自然体験を中心とした、学校ではできない友達との活動を通じてルールマナーを身に付け自分たちが暮らす荒島の自然や地域について学ぶ。
	赤江	あかえふれあいウォーキング大会	6月、10月各1回	一般住民	ウォーキングコースの折り返し地点で、地元の方に地域のお話を聞く。
		夏休み体験教室	夏休み中	小学生	地元の芸術家を講師に招き、子供対象の体験教室を開催し、地元の芸術家を子供達が直接ふれ合う機会を設ける。
		田んぼアート	6～10月	小学生	地域の老人会とJA等と協力し、小学生と古代米を用いた田んぼアートに取り組む。田植えや稲刈りを体験する。
	広瀬	歴史講演会・竹田城視察	11月1日、30日	地域住民	地域住民が、ふるさとの歴史的財産(戦国山城、月山富田城、尼子氏、山中鹿介)について新しい発見や、より深い知識を得るための講演会を行う
		町探検	6～3月	小学生	ふるさとの自然や特産品、町並みなどに関するクイズを作ったり、問題をといたりしながら町を散策する
		幸盛祭 月山登山(ウォーク)・トークショー	9月28日	県内外	広瀬で生まれた戦国時代の武士、山中鹿介を偲び、鹿介の生き方を後世に伝えるための法要・祭事。 法要、祭事の会場を、尼子氏の居城富田のあった、月山で行う。 スタッフや、祭事の出演など、地元の小・中・高校生が参加し、若い世代がふるさとの歴史を知る。
	布部	盆踊り練習会	8月19日	小学生	夏祭り前に盆踊りの太鼓、口説き(唄)をされる方々に来て頂き、太鼓・唄に併せて踊りを練習し、子ども達に盆踊りの伝承をしていく。
		山中祭	2月14日	園児～一般	尼子・毛利の合戦が行われた布部の地で、住民が集まり戦没者慰霊と毎年講師を迎え、歴史を学ぶ。最後に陣粥を皆でいただき、往時を偲ぶ。
	比田	いきいき比田の里活性化プロジェクト	平成27年～平成36年	比田地区全員	活力ある比田に向かって、地区全員で取り組む
		すこやかウォークイン比田	11月15日	一般	地域内の寺、神社をコースに取り入れる
	東比田	笹巻き教室	6月14日	小学生・幼児と保護者	この地域の伝統の笹巻き作りを笹を刈るところからはじめすべての工程を地域の方に教わりながら活動する。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
安来市	山佐	宿泊事業	通年		
	西谷	さんしょうお学習会	6月	小学生 地域住民	笹巻き交流学习のあとに 西谷地区に生息するさんしょうおの学集会を講師を招いて実施した
	奥田原	奥田原地区とんどさん	1月18日	未就学児童～高校生、地域住民	書初めやしめ縄を持ち寄り、地域の人と一緒に神事火入れのあとソリすべり大会を開催。
	母里	母里かっぱまつり	8月24日		親子で川と水に親しみながら、水質や生き物など自然環境について学習する。
	赤屋	盆踊り大会	8月2日	小学生	小学校の子供達を中心に地域伝統を伝え・残したいとの願いから、事前に小学校・保育所に出向き先生も交え、踊りの練習をする。当日には、両親・祖父母も参加し、賑やかに楽しむ。
		ふるさと探訪	11月19日	小学生5・6年生	地域の歴史についての勉強。今回は「稚児岩と鉄の道永江峠」この事業は毎年赤屋地内の場所を変えながら勉強しており、こどもと大人と一緒にの活動を行っている。
出雲市	大津	ふるさと講座 講演会『大津の歴史、地史、あれこれ』	9月21日	全年齢	弥生の森博物館の学芸員の方を講師に招き、地区内の歴史について学ぶ講座を開催した。
		ふるさと講座 おおつめぐり	11月3日	全年齢	貸切バスで地区内の名所旧跡を回り、ガイドから詳しい説明を受ける。
		ふるさとカレンダーづくり	12月配布	大津地区民	地区内の名所、旧跡等を一枚の地図にまとめ、カレンダーとして作成。地区内に全戸配布した。
	塩冶	フォト・ラリー	10月25日	小学生	写真と地図を見ながら、地域にある名所・旧跡を探し訪れる。行った先々で証拠の写真を撮り、決まった時間内で多くの場所を探して廻ったチームを勝ちとする。
	高松	田植え体験	6月	5年生	米づくり風景も近年は集落営農、大規模化し、手作業での田植え、稲刈りなどは姿を見かけなくなった。日本の主食の原点である「米」づくりの一生を体験することで、農作業の大変さ、楽しさ、食べ物の大切さ、自然とのふれあい、共同作業の大切さを学ぶ。国際交流員にも参加してもらい、ふれあいを深めながら見聞を広める。
		月山富田城・松江城を巡る	9月	運営委員会・事業委員会合同研修	戦国時代に尼子氏が居城としていた月山富田城の廃城の経緯、堀尾氏が松江に築城した経緯を、両城を見聞し知識を深める。
		史跡探訪「雲樹寺」と出雲国造家の原郷」とを訪ねて	10月21日	事業委員会・文化委員を主体に一般公募	県内東部の古墳二箇所、寺院一箇所、神社三箇所を巡る。出雲国造の関係地を訪ね古代から神話の世界学ぶ。
	四絡	四絡観光スポットウォーキング	6月、9月の2回	大人	出雲市認定の地区内観光スポットの複数箇所を説明しながらウォーキング
		ふるさと学習課外授業	11月(1日)	四絡小学校児童 2講座	地元歴史家による四絡の歴史とふるさと偉人の学習
		四絡おはようサイクリング	7～8月の日曜日 5回	小学生～大人	地区内外の名所旧跡めぐりの、おはようサイクリング 地元講師による交通安全教室や社会ルールについて体験
	高浜	ふるさとの歴史探訪	11月1日	地区住民	高浜地区にある史跡探訪ウォーク
		高浜音頭	8月2日、8月16日	地区住民	高浜地区の盆踊りを練習・発表
		高浜ふるさとカレッジ	6月～3月(7回)	地区住民	高浜地区の歴史・史跡・生活などを学び、まちづくりについて議論
	川跡	郷土史を学ぼう 夏の夜の語りべ	9月24日	地域住民	郷土史に詳しい講師を招き講演会を行い、地域の歴史を学び、郷土愛を深める。
	鳶巣	鳶ケ巣登山	4月	2歳～70代	出雲市指定史跡である鳶ケ巣山へ登山し、鳶ケ巣城址について学ぶ。
		初夏の鳶巣健康ウォーク	6月	0歳～80代	鳶巣地区を西、東交互で、史跡探訪しながら健康ウォークを楽しむ。
		ふるさと鳶巣再発見	4月～3月		毎月発行のセンター報に、「素敵な鳶巣探訪」コーナーを設け、その月に応じた鳶巣地区内の写真とコメント載せることで、地区内の素晴らしい自然や文化を広く広報する。HP、ブログでも紹介する。
	上津	みちくさ教室	年間、月3回	小学校1年生～6年生	月曜日の放課後、地域の大人が「風作り」「毛糸の指編み」「紙芝居」「だんご汁作り」などテーマを決めて、地域の伝統的な文化を教える。
		上津探検隊	通年 毎週金曜日	小学生1年生～6年生	星空の観察や上津の山の探検と秘密基地作り、「ピオトープ」カエルランドでの活動など、上津の自然や生き物を満喫しています。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
出雲市	上津	上津ウォーキング大会	5月1回	全住民	大人も子供も上津の自然の中を「山歩きコース」と「平坦コース」に分け、完歩を目指します。途中、モリアオガエルのタマゴ、サワガニ、トンネル、棚田などの景色や生まれたばかりの子牛に出会うなど、上津の自然を満喫する。
	稗原	稗原のひと・もの・こと (もち米づくり)	年間	乳幼児・幼稚園・小学校四年生・保護者・慶人会	地域の人、自然に直接ふれながら、地域の「ひと・もの・こと」を学ぶ 田植え、稲刈り、脱穀、収穫祭(餅つき)
		稗原のひと・もの・こと (神楽・獅子舞)	毎年10月11月	神楽(小3)獅子舞(幼稚園)	地域の人、自然に直接ふれながら、地域の「ひと・もの・こと」を学ぶ 地域の伝統芸能にふれる
		ひえばら昔ばなし (しめ縄づくり)	12月	小学校1・2年、慶人会(世代間交流)	伝統技の継承と交流を目的 ふるさとの伝統の風習と自然の恵みを学ぶ
	朝山	朝山探訪「風土記」を歩く ～見々久編～	11月16日	地域住民	見々久地内の名所を歩いて訪ね、それぞれの場所で由来や伝統・歴史について説明を聞いた。 また、夢ファクトリー(ろくろ工房・はちみつクラブ)では地域おこしとしての取り組みについて説明を受けた。
	神西	ふるさと歴史教室	年間1回	小学校6年生	
	平田	一緒に旅伏山に登ろう	4月下旬	地区住民	地域で昔から信仰ももあり、親しまれている山に登り、ふるさと平田を山頂より眺め、自然の素晴らしさや厳しさを体験する
		みんなで七夕仮装船に乗ろう	夏の平田祭り と同時開催	地区内 小学生	地域の昔からの伝統行事に参加して、世代間交流と文化の継承を目的に体験する
		雲洲平田ふるさとカルタ大会	3月初旬	平田小学校3年生児童	平田コミセンと平田小児童で作った「雲洲ひらたふるさとカルタ」で、平田の歴史・風物・民芸などを紹介しながら、ふるさとの良さを知ってもらう。
	灘分	小学生の体験農園学習	通年	灘分小学校3年生	農業地帯である特性を生かし、大豆の種まきから収穫までを体験し、その成長を観察するとともに、豆腐に加工して食することにより食物のありがたさを知る。
		地域探訪ウォーキング	11月9日	灘分小学校児童及び灘分地区住民	灘分地区が形成された地理的歴史と現在の地形の特質を学ぶため、小学生から高齢者まで、灘分地区内に流れている川に沿ってウォーキングし、その川の水をどう活用されているか、また、保全しているかを学習し、地元への理解を深め、愛着を持つ人づくりを目指す。
		地域なんでもマップ	通年	灘分地区全住民	島根県中山間地域研修センターが行う「GIS」の操作研修や運用方法の支援を受けることができる「GISモデル事業」の認定が確定したことを受けて行う。内容は、地域防災委員や消防灘分分団の協力を得て、消防施設、防災施設等の調査を行い、その所在や情報を表示する地図を作製する。その後さらに発展内容を検討する。
	国富	国富歴史文化講演会	11月30日	一般	国富地区の名所旧跡の歴史についての認識を深める事業。
	西田	異文化体験とふるさと学習(茶道)	通年	地区住民、児童	茶道を体験することで、日本古来の文化を学んだり、ふるまいの向上を目的とする。
		異文化体験とふるさと学習(ロシア編)	通年	地区住民	外国の文化や食を学ぶことにより、日本の文化、地域の良さを再発見する。
		健康ウォーキング	1年	地区住民	地区の魅力再発見を兼ねた事業で、地区内にある施設を目標にウォーキングし、施設概要や施設内の説明を受け知識を深める。また、途中の史跡や神社、寺院の場所や名前もわかり地域を知る機会となる。
	鰐淵	新春歴史探訪ウォーキング	1月25日	小学生～大人	ウォーキングで鰐淵地区の神社や仏閣に参拝し、歴史等について説明を聞く。
		節分豆まき会	1月31日	保育園～小学6年生	豆まきの由来について説明 鬼に豆をまく ぜんざいを食す。
		わにぶちふるさとカルタ大会	1月31日	小学1年生～6年生	鰐淵地区の歴史、史跡、自然、神社仏閣を網羅したふるさとカルタの大会。
	久多美	神社仏閣ウォーキング	10月26日	地区住民	出雲市の「地域が誇る観光スポット」である高野寺へ登り、地域の歴史・文化遺産にふれる。
		玖潭の郷の伝統芸能発表会	11月15日	地区住民	地区内の獅子舞や神楽の発表の場を設け、地域の魅力発信や文化伝承。
		天神川生き物観察会	10月10日	小学校1、2年生・保育所年中、年中	川に親しむことでそこに住む生き物にふれたり観察したりすることが出来る。地域の自然を身近に感じることの出来る事業。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
出雲市	佐香	パワースポット探訪	5月1日	一般住民	25年出雲市から「地域が誇るパワースポット」として地区内2カ所の指定を受けたのを契機に、地区内の良さを広く知って頂くために、地区内外からの参加を要請、ウォーキングを開催した。
		魚釣り大会	11月1日	小学生児童及び保護者	ふるさとの海を理解・魚の知識・親睦を図るため、地域の海岸で毎年実施している。
		文化祭	11月1日	地域住民	地域で活動している(コミセンのクラブを含む)団体・個人の作品を発表展示するとともに、地域内各種団体・住民の協力を得て、健康相談・物産販売・屋台を出店親睦を図っている。また、当日は小学校の学習発表会を同時開催し・地域住民の参加を要請している。
	伊野	伊野地区文化祭	10月26日	子ども～高齢者	地区独特な「いのはやおちらと駅伝」をスタートに、利き酒大会、小学校が学習発表会、中学校吹奏楽発表会等を開催。また、幼稚園児から中学校及び各クラブ等の作品展示、各種団体のバザーも開催。
		ふるさとMAP作成	7～3月	地区住民	各町内会長に要請し、町内の名所、旧跡を提出してもらい専門部で検証。作成したMAPを全戸及び関係部門に配布した。
		ホタル鑑賞会	6月15日	主に小学校、地域住民	設定した蛍ロードを歩き(約600m往復)、蛍鑑賞をするとともにふるさとのすばらしさを実感した。
	須佐	リーダー研修	7月26日～27日	須佐、窪田小学校6年生	1泊2日の野外キャンプ 竹活動で使う食器類を作り、与えられた食材で食事を作るなど子ども主体の活動であり、スタッフは見守り、危険を感じればアドバイスをするだけのサバイバルキャンプ
		須佐の自然を楽しもう	9月22日	須佐小学生1～6年生	川で魚釣りをし、野山にある秋の恵みを散策、収穫して地域のスタッフの指導で調理をして食べる。
		保育所交流事業	6月10日、12月16日	須佐保育所0～5歳児	地域の高齢者グループ会員が須佐保育所に出向き、6月には笹巻作り、12月には餅つきを児童と一緒にやる。
	窪田	スーパーハイキング	5月31日	窪田小学校児童	普段歩くことのない長距離を歩いたり、野外活動することで、児童の自主性と地域への愛着心を育む。 ①小学校から目的地までの4.6kmを保護者と共にウォーキング ②目的地にて飯ごう炊さん(かまど作りから) ③バスで別の目的地へ移動し、川原にて水生生物の観察(風の子楽習館より講師招く)
		くぼたふれあいフェスティバル	11月29日	窪田小学校児童	地元佐田町で活躍している安来節、さだ須佐太鼓などの地域文化団体の方々から直接指導を受け、ふれあいフェスティバルで発表することで、伝統文化への興味関心、愛着心を高める。 (1・2年生の発表) 男子:どじょうすくい踊り 女子:銭太鼓 (太鼓クラブの発表) さだ須佐太鼓
		出雲ふるさと塾～視察研修～	9月28日	地区住民	地元出雲市の持つ歴史、文化、地域資源などの魅力を再発見、再認識し、ふるさとへの誇り、愛着心を育む。 (視察先=斐川町) 荒神谷遺跡・博物館(ボランティアガイド、学芸員の説明付き)、原鹿の旧豪農屋敷、出西窯の工房と展示販売館、斐伊川河川敷公園から井上橋
	多伎	地域探訪講座	11月11日	大人	地域の文化財を探訪し歴史を学ぶ。
		お花見ウォーキング	3月29日	子どもから大人	コース上の桜の花を見ながら、地域にはたくさんの桜の木が植えられていることを学んだ。
		多伎町健康ウォーキング	10月5日	子どもから大人	多伎地域をウォーキングしながら多伎地域の風情を楽しみ観察した。
	湖陵	コミセンだよりの発行	通年(6回)	地区内全般	『湖陵よいとこ見てある記』と題して、住民が知りたいことや、地区内の歴史・行事・施設などを取り上げ、関係者等へ取材をしながら記事を作成している。
		湖陵探索ウォーク	11月1回	子ども～大人	神社、石碑(昔の著名人の石碑・いも代官碑)、差海川をクイズを解きながら徒歩で巡る。また、各場所の解説は地元の方に依頼。
		神西湖水辺の環境学習会	6月1回	湖陵小学校4年生児童	神西湖についての講座・シジミの浄化実験・湖上散策をしたり、歴史や生き物のクイズをした。また、湖畔広場でシジミ汁を食す。
	荒木	ふるさと探訪講座	通年(毎月1回)	一般	ふるさとについて研修したり、講演会を企画して地域に広く呼びかけたり、小学校へボランティアで昔の遊びを教えたりする。
		ふるさとの名人に学ぼう～そば打ち体験	10月2回	小学生	地域の名人に、地元の特産物「出雲そば」の打ち方を教わり、地域のボランティアさんと一緒に食べる。
	遙堪	探して食べよう春の七草	1月	小学校6年生	地区に伝わる春の七草行事の伝承
		春のつどい	2月	地区民・小学校4年生	4年生がコミセン学習発表会でふるさと学習で学んだことを発表する。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
出雲市	遙堪	北山植林	11月	小学校6年生	松くい虫で枯れた北山について学び、植林をする。
	日御碕	ふるさとまるかじり	4月11日～2月9日	どなたでも	平成26年度をもち閉校(平成27年度より大社小学校へ統合)する日御碕小学校の歴史について学んだ。年表作成、資料収集、思い出を語りあう座談会などを行い、学んだことを小学生の子ども達に伝えた。
	荘原	こども盆踊り教室	7～8月	小学校児童	出雲市無形文化財に指定されている、「羽根の盆踊り」の継承をしている。小学校の夏休みを利用して学校の施設内でなりたちから学習をし、踊りの練習をする。8月15日行われる「荘原夏まつり・花火の夕べ」で地域のみなさんと踊る。
		あいがも農法でもち米づくり	4～12月	幼稚園年長さんと小学校2年生、地域のサポーター	環境学習を兼ねたあいがも農法によるもち米づくりをしている。地域のサポーター15名と荘原幼稚園児、荘原小学校2年生の児童と一緒に田植え、あいがもの放鳥、案山子づくり、稲の成長観察、稲刈り、脱穀、そして収穫祭として12月には餅つきをしていただきます。稲作の盛んな斐川町のふるさとを十分にかんじていただき、ふるさとの良さを体で感じる。
		放課後こども教室	6～3月	荘原小学校児童	地元産の野菜を使ったクッキング教室とお花を活けたりお茶の作法を習い普段からのふるまい向上をめざす。
	出西	健康ウォーク	6月7日	一般	地区内の名所旧跡をウォーキングしながら探訪し、ふるさとの歴史を学んだ。今回は、出西飛行場跡、加毛利神社などを巡り、かつて斐伊川の支流として開削され、廃川となった新川の歴史を学んだ。
		地域探索会	6月24日	一般	郷土史家の池田敏雄氏を講師として、斐川の名所旧跡を巡り、ふるさとの歴史を学んだ。今回は、御井神社、荒神谷博物館、永徳寺などを訪れた。
	阿宮	ふるさと塾	通年	地区住民	
	伊波野	ふるさと再発見の旅	11月12日	地区民一般	出雲周辺の史跡・名勝などを訪れ、現地のガイド等に教わりながらその地域の歴史等について学ぶ。
		伊波野ポブラ塾	10月18日	地区民一般	大人の社会見学と題し、地元の企業・工場を訪問して見学する。
		いわの蝶ウォーク	10月4日	地区民一般(子供含む)	地区の外周を一周し、ウォーキングしながら地区の良さを実感してもらう。
	直江	ふるさとの歴史を学ぼう(講演会)	8月25日	全年齢	平田の鰐淵鉦山の歴史について、昭和鉦業元総務課長に当時の話を聞いた。
		ふるさとの歴史を学ぼう(歴史ウォーク)	10月25日	全年齢	出西地区の仁照時住職に新川の歴史を聞いた。
		ふるさとの歴史を学ぼう(石見銀山探訪)	12月8日	全年齢	石見銀山を訪ねて繁栄した時代の話聞いた。
	久木	文化講演会	2月21日	地域のみなさん	出雲地方の屋敷と築地松についての話や出雲大社の巨大神殿の謎についての話を聞き、成り立ちや歴史を知りふるさとを愛する心を学ぶ。
雲南市	大東	大東女性学級「ふるさと歴史探訪」	6月25日	大東地区女性	雲南市が誕生して10年余りが経過したが、雲南市をもっと知るために毎年順繰りに旧町村ごとの史跡名所を訪ね歩き、見聞を広めている。
		大東の歴史を探ねる文化講座	古文書研究毎月1回 講演会・現地探訪	大東地区民	地域の古文書を読み解く勉強会を毎月1回。風土記を訪ねる会代表川島美美子さんの指導により出雲国風土記の学習。出雲国風土記ゆかりの神社めぐり。
	春殖	赤川”いかだ祭り”2014	8月24日	園児・児童	ホタル舞う赤川の清流に親しみ、自然を愛する子どもが赤川を利用・活用する事により、「いかだ遊び」や「水辺の教室」を通じて夏のひと時を水に戯れ楽しみながら、環境意識の向上と郷土を愛し、誇りに思う取り組み。
		新春子どもカルタ大会	1月5日	園児・児童	郷土カルタ”わたしたちの大東町”を利用し、2人一組で予選リーグと決勝トーナメントを戦い、大東町の歴史や名所旧跡などを知り、ふるさとを理解し郷土を愛する心を養う。
		キッズパークin桜まつり	3月22日	園児・児童	春殖交流センター、赤川土手、大東中学校、西小学校付近に植栽してある早咲きの河津桜を見ながらの「桜街道ウォーキング大会」や「みんなで大縄跳び」などのゲームで春殖地区の春のイベント河津桜まつりに参加。
	久野	ふるさと研修	11月23日	久野地区民	雲南市内の史跡を訪ね、その歴史を学んだ。
	海潮	サマーウォーキング	7月25日	40人	海潮地区史跡の探訪(寺社めぐり)
		海潮郷土館見学	1～2月	海潮小、佐世小、大東小、阿用小3年生	海潮郷土館見学
		山王寺棚田見学	9月24日	33人	棚田百選の山王寺棚田展望台で、取り組みの説明

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
雲 南 市	三新塔	歴史講座 (歴史伝承調査事業)	通年	応募による調査メンバー	地域内の歴史的箇所45カ所を調査・資料収集により、内容検討を行い成果品を冊子・マップにつくりあげる。
		盆踊り継承事業	通年	地域内一般会員	練習会・ボランティア・イベント・盆踊り大会等を通じて、盆踊りの普及継承に努める。
		秋葉なかよし広場まつり	年1回 夏	地域内全住民	年1回の夏まつり。普段なかなか一同に会することのできない子どもから高齢者までが、催しものを観覧しながら会食や、ふるさとの人々との交流を通じて、地域の愛着を深める。
	新市	神話伝承事業	6月23日	地域住民(年齢制限なし)	地域周辺の出雲神話伝承地を巡り、地域の神話に関する歴史を学ぶ。
	下熊谷	歴史探訪事業	9月23日	地域住民(年齢制限なし)	地域周辺の歴史伝承地を巡り、地域に関する歴史を学ぶ。
	斐伊	米作り体験	5～11月	小学校1年～6年生	地域の高齢者の指導を受け、コメ作り体験を行う。
	西日登	高津公園まつり	8月15日	小・中学生	ちびっこ広場の運営(盆踊り、神楽)
		ふれあい祭り	10月26日	小・中学生	芸能発表 作品展示
	飯石	飯石守事業:ぐるっといいし	7月6日	専門部員	飯石の現状と課題を知るための地域内巡回
		いいしふるさと平和学習事業:そば打ち交流会	2月10日	飯石小学校児童、教職員、地域ボランティア	飯石の資源を利用し(そば)そば打ち体験と会食会をおこない、全員でふるさとの良さや現状を知るためのふるさと学習(パワボによる地域の今など)を行っている
		匠体験事業	12月14日	飯石地区民	地域内の匠の技を体験することで、地域の良さを再認識することを目的とし、斐伊川和紙の工房で紙漉き体験を行った
	吉田	交流合宿	3月25日～26日	小学6年生	地域の方にガイドしてもらい地域内のポイント箇所をバスに乗って巡る。
		伝統芸術継承事業	通年	住民	途絶えていた地域の太鼓、音頭の復活と普及に取り組む。
		自然観察会	5月11日	住民	地域の山、大万木山の植物等を観察しながら登山する。
	民谷	ふるさとの味		地域親子	地域で昔から作られている料理や伝統の味などを、地域の親子を対象に、また受け入れの大学生を巻き込み料理教室等しています。
	田井	地域探訪 ぐるっつと田井めぐり	7月15日	地区住民	住んでいながら、訪れたことのない名所旧跡が多いとのアンケート結果に基づき開催。 地元ガイドさんの説明を受けながら3歳児～高齢者まで一緒に小型バスで巡りふるさとを知る一助とした。
		城山登山道整備 & 城山登山	4月21日～3月23日	地区住民及び小学生	平成25年度より旧田井中学校、現田井小学校の校歌に歌われている深野城址跡(通称城山)への登山道整備をし登山が出来るまでにしたので、住民へ呼びかけ登山をした。 田井小学校では全校遠足で登山し、深野地区を見下ろしたり、途中「さいの神」を見つけたり昔はこの道を通って隣の地区へ行っていた街道だったことを学習した。
		ぐるっつと田井めぐり	11月23日	田井地区振興協議会 学び合い部会員	生涯学習担当部の学び合い部会員研修の一つとして地区内の名所旧跡を巡り地域の良さ、人、もの、ことを学ぶ研修をした。
	掛合	掛合地区 ふるさと交流塾	年間5回	地域の大人	昭和30年代の掛合の街並みを再現したマップをトレーシングペーパーに描き、懐かしい思い出になるような写真等を集めて展示し、未来に伝え、残す。
	入間	いるま花田植え	1日	住民	農村文化伝統芸能「いるま花田植え」を地区住民老若男女100名の参加で継承し、披露している。
		笹巻き教室	1日	住民	農村食文化の「笹まき」を子どもたちに教えている。お嫁にきたお母さんも一緒に学習している。 入間地区の笹まきは、三味線巻きで珍しい。
		かたら団子作り	1日	保育園児・小学生	農村食文化の「かたら団子」を子どもたちに教えている。方らの葉は、通称さるといばらという。家庭でつくらなくなかたら団子を継承している。
奥出雲町	布勢	布勢っ子河太郎日記	4～1月	小学生親子(場合により幼児園児含む)	八代川の水質、生き物調べ 八代川にすむオオサンショウウオを捕獲、生態調査 ふるさとで見る星の観察 尾原ダムの役割や斐伊川上流域に住む者の責任と心構えを学ぶ。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
奥出雲町	三成中央	斐伊川源流探訪	7月7日	小学校4年生	斐伊川の水質保全を目的として、水生生物の観察・水質検査を行うと同時に川の流れを肌で感じた。
		炭焼き体験学習	9月5日	小学校4年生と地区内複式校の3・4年生	地元の高齢者グループ「やま子会」所有の炭焼き小屋で、炭焼きの歴史・文化・環境保全について、体験をとおして学ぶ。
		そば打ち体験学習	11月27日、複式校は12月12日	幼稚園、保育所、小学校2年生、複式校は全校	地元産の横田小そばを用い、そば打ち名人による指導でそばを打ち、試食した。福祉振興協議会青少年部、広域交番、少年補導委員、やま子会、自治会福祉委員と多くの団体の方にサポートいただき実現。
	亀嵩	玉峰山しゃくなげ登山	5月11日	小学生、一般	玉峰山の歴史を学び、登山者同士の親睦を深める。
		世代間交流会（笹巻きづくり）	6月23日、24日（2回）	小学生、老人	昔から伝えられてきた笹巻き作りを通して、当時の生活、食生活を学ぶ
		水辺の観察会	8月4日	小学生	地域を流れている川の水生生物採取、水質調査を通して、環境等を考える。
	阿井	地域を知るバスツアー	9月6日	幼稚園児～小学生、成人	地域の方に、その地域の歴史や言い伝え、由来の説明を聞きながら知らない地域のことを学ぶバスツアー
		鯛ノ巣山の自然観察会	10月18日	幼稚園児から小学生、成人、高齢者	小学校の遠足日に合わせ、地元の山への登山を兼ね、山の動植物や山の木々などの講話を自然観察員から聞く
		紅葉ウォーキング	11月1日	成人、女性、高齢者	ゆっくりと健康ウォーキングも楽しみながら、地域の方から地域の歴史言い伝えなどを講話してもらう
	三沢	要害山山開き山城祭	5月25日	小学生と地域住民	戦国の時代を手作りの鎧を着け武者行列を再現し体験する。ふるさと三沢の開祖である三沢氏をしのぶ。
		高齢者学級ふるさと教育支援活動（笹巻き作り交流）	6月19日	高齢者学級生と小学1・2年生	ふるさとの食笹巻を高齢者学級生から学び伝統の食を手作りしあじわった。
		高齢者学級ふるさと支援活動（そばづくり交流）	7月18日～12月24日	高齢者学級生と小学1～6年生	そばの種まきから収穫そば打ちまで高齢者に学び、ふるさとの食、そばを味わった。後日個々に教わった高齢者に写真とお礼の手紙を送った。
	鳥上	ふるさとティーチャー	4/18.10/18.11/11.12/12.1/15.2/24	幼児・小学生	地域の指導者を小学校・幼稚園に派遣して交流を深めながら学ぶ。シイタケの植菌・竹細工・そば打ち・餅つき・遊びなど
		ふるさと体験交流会	7月26日	幼児・小学生・保護者	ふるさとのすばらしさを体験・発見・探検することにより地域に誇りを持ってもらことをテーマに実施している。今年度はミニ量作り・魚の放流・カレー作り 異年齢・親子・親どおしの交流などを行った。
		ふれあい盆踊り	7/15,7/30,8/6,8/16	地区民	古くから地域に伝わる盆踊りを伝承するため地域の指導者を招いて幼児から大人までを対象に3回の練習会を設け、盆の帰省客を交えて大盆踊り大会を8月16日に開催した。平成20年から公民館文化委員会を中心にこの事業がスタートし、鳥上の夏の大イベントとして定着しつつある。
	横田	子どもチャレンジ教室	5月、7月、11月、2月	小学生	地域探検から体験活動（オオサンショウウオの観察 滝遊び シイタケ植菌）
	馬木	馬木再発見、仏山観音菩薩と鬼の足跡探訪	4月20日	一般成人	大馬木小峠にある「鬼の足跡」、「仏山と仏山観音菩薩」を訪ねて歴史に触れる、知らない馬木を再発見する。
		そばうち教室	1月30日	一般成人	日頃からそば打ちをされている小馬木「中国山地屋根の里木屋谷」の方に指導していただき、木屋谷のそば粉を使い打ち方を習い、打ち立てを味わった。（地元産の食材で昔からの方法で作ることを教わった。）
		子ども相撲教室	9月13日		地元2名の講師の方に相撲の話をしていただき、実践を通しルールと技を習う。（ルール、技術、礼儀など）
飯南町	頓原	ウォーキング大会	4～5月	幼児・小学生～高齢者	頓原連担地の史跡や名所、お寺などを「まちあるき」のように説明・解説つきで歩く。
		忍者ごっこ	9～11月	頓原小学生1年生～6年生	町内の特定した地域で、史跡や名所を事前に確認しておき、それらを「忍者」という設定で巡ると共に、地元地域の方の解説を聴く。
		琴引山ちりけ封じ登山	9月23日	幼児～高齢者	地元にある琴引山の「秋の例大祭」に登る。この山には子どもの疳の虫、ひきつけを治す力があるとされており、親が幼いわが子を抱っこやおんぶして登る。また、神在月に全国から集まれる神々は、島根に降り立つ際、この琴引山を目印に降り立たれる、と地元での伝承があり、山を清める『神迎え神事』を山頂で行う。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
飯 南 町	志々	いちりナイトウォークラリー	6月27日	地区民	家族や友達とチームを組み、夜の大型散歩(ウォークラリー)を楽しみながら住民同士の交流や家族の絆を深めると共にふるさとの再発見を目的とした事業
		家庭の味まつり	11月28日	地区民	家庭料理を持ち寄り交流と親睦を深める(食育と地域の発掘)と共に地域の伝統の味や各家庭の味を知り、食文化の発信に努める。
		通学合宿	10月6日～9日	小学1年生～6年生	公民館での通学合宿体験を通して、子どもたちだけで共同生活を送り、少し困難なことにもチャレンジすることの中から自立の力や協力する力を伸ばす、また地域で民泊をすることにより、ふるさと教育につなげることを目的としている。
	赤名	ウォーキング	5月30日	小学生 保護者	校区内の町中を歩く、お寺の巡り座禅の体験をする。その後瀬戸山城後を登山してふるさとの良さを学ぶ。
		ものづくり教室	6月20日	小学生	ものづくりを通してものづくりの楽しさを知る。
		キャンプ	8月3日～4日	小学3年生～6年生	町内のキャンプ場施設を利用してキャンプを行う。また、他の小学生とも交流をする。自然の中での体験をしてふるさとの良さを知る。
	来島	花田植伝承教室	9～11月	赤来中学校1学年、地域講師、公民館職員	地域に伝わる「花田植行事」の伝承と継承のため、地域講師と公民館職員が中学校に出席、1年生生徒に指導する。学習成果は中学校文化祭で在校生、保護者、地域住民に披露する。
		ムラサキキッズ	毎月1回、土曜日開催	小学生 希望者	地域をフィールドに、様々な体験活動を実施(ピザ作り、しめ縄づくりなど)
		きじまさんぽ	年2回	来島地域住民なら誰でも	来島地域内の史跡・名所を巡るコースを設定し、公民館スタッフ(運営協議委員会含む)がサポートしながらウォーキングする事業。
	谷	ヤマメのつかみ取り大会	7月27日	就学前の子ども～中学生	谷地区を流れる塩谷川へヤマメを放流しつかみ取りをする。年齢ごとに大物賞や、大漁賞を決める ふるさとの自然の大切さや、地域の環境美化意識の高揚を図る
		「自然と遊ぼう！」山菜採集&プラスアルファ	4月27日	子どもから大人	谷笑楽校周辺を散策しながら山菜採集をする 取った山菜をてんぷらにしたり、まきまきパンに入れて食べた 山菜の名前やどういう料理法があるかなどガイドの方から説明を受けた
		ヤマメの生態調査と体験	6月4日	小学3年生、4年生	ヤマメの養殖場で卵から孵化したばかりのやまめや、日にちの違いで大きさがわけてあるタンクを見ながら、いろいろな説明を受けた。その後は、ヤマメ釣りの体験を行い塩焼きにして食べた。
浜 田 市	浜田	夢ロマンの旅 広浜鉄道	6月1日	地域住民	実現しなかった鉄道「広浜鉄道」の道のりをたどる。 あまり着目されず、市民にあまり知られていない地域の宝について当時、建設に携わっていた人の話を聞いたり、使っていた道具を見たり、トンネルや橋梁、アーチ橋など6か所を巡る。
		浜っ子キャンプ	7月29日～30日	小学4年生～6年生	地域の宝である海を中心に、1泊2日のキャンプをする。 ボーイスカウトの隊長に指導を受け、テント張りやロープワーク、飯盒炊爨を学ぶ。 藻塩作り体験や、海岸清掃、「KIDS海体験プログラム」でライフセーバー体験、波乗り体験、バナナボート体験など海での活動をする。
		親子でBBマイスター	2月21日	小学4年生～6年生の親子	浜田市の漁業について学習。 浜田市で水揚げされた新鮮な海の幸(カレイ、イカ、ワカメ)を使って、親子でクッキング。
	石見	能面教室	通年 月2回	大人	能面作りを継承する地域の方を育成するため、月2回教室を開催。公民館利用団体の成果発表として年に一度の「ふれあいまつり展示会」にて作品の展示をする。
		ふるさとめぐり	11月21日	地域の方全員	石見公民館5分館(元小学校)をめぐり、それぞれの地域の歴史を学ぶ。大型バスで5分館をめぐる。
		学校支援地域本部事業	通年	小学生	●ふるさと歴史探検 校区内の歴史ある場所や物を地域の方の案内と説明を聞き学ぶ。 ●釣り活動 浜田の豊かな海でのつり体験。 ●川・野原あそび 身近な川や公園で自然を感じながら遊ぶ体験。
	長浜	ふるさと再発見事業	4～8月	地域住民・高校生	八潮の由来、花祭りの様子を知る 花作りなどを行い祭りに参加
		ふる里再発見事業	10月9日	一般・高校生	玄武岩の散策、講義・説明
		ふる里再発見事業	3月17日	一般	熱田・長浜の昔の事を宮司さんにお話して頂く。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
浜田市	周布	戦争体験を地域の人に聞く	11月28日	小学6年生	3人の地域の皆さんに戦時中のお話を聞き 6年生の皆さんに聞いていただく
		ふるさと再発見として地元の歴史上の人物の掘り起し(吉賀三郎衛門)	8月3日	地域住民	地域の歴史上の人物で当時の農家の人たちを危機から救ったといわれている
		周布正之助について	7月9日、 7月26日	地域住民	地元の城主であった周布氏について詳しく話を聞く 大河ドラマで有名で萩市まで雪学びを深める
	美川	大人とこどもで味噌づくり	2月14日	子ども、お母さん世代、高齢者などの大人	親子あるいは、孫とおばあちゃん、おじいちゃんてふるさと美川に伝わる味噌づくりを学ぶ。美川の米で作った麴、大豆を使用し、安心、安全な食育、家庭教育支援にも繋がる事業。
		幼小中地域しめ縄交流会	12月18日	幼稚園児、美川小学校児童、四中生徒、保護者、地域、教職員	幼稚園、第四中学校と美川はそれぞれ米づくりを行っている。このしめ縄づくりはそれぞれ行っている稲作の最終工程に、地域の方からふるさとに伝わる伝統のしめ縄づくりをみんなで交流しながら、学ぼうという事業。ワラは四中のワラを使用し、全体会議で役割分担を決めて(学校、生徒、公民館)みんなで協力して行う。また公民館は事前に指導者講習会を開催し、新しい指導者の育成に力を入れている。
	雲城	ふるさと学習会 雲城公民館担当2回	7月、1月	市民一般 中学生 小学生	ふるさと学習は雲城地域6公民館で2回担当し、年間12回実施 受講参加者はどの会場に何回行ってもよい 過去10年間継続して実施 今年度で120回の実施となる
		三偉人ウォーキング大会 雲城公民館 岡本甚左衛門ウォーク担当	10月17日	小中生一般 市民	金城三偉人ウォーキング大会を実施し、能海寛、島村抱月、岡本甚左衛門について、生誕地や遺構を訪ね歩きながら学習する活動 岡本甚左衛門ウォーキング大会には中学生1年生全員42名など、183名の参加者があった
		歴史探訪	6月、11月		6月は萩市に吉田松陰や萩城下を訪ねた 11月は浜田城の歴史について浜田城址を訪ねた いずれも専門家の説明を受けながら学習した
	今福	金城中ふるさと学習	5月30日	金城中学校生徒 1年生	中学生を対象に地域を巡り、地域の素晴らしさを学ぶ。
		ふるさと学習会	8月2日	地域住民	金城の歴史や文化を学ぶ。 「感動と共に生きた石見人」「金城の豊かな自然力」
		今福探検	5月22日	今福小学校 1、2年生	地域の方と交流を図りながら、地域の企業巡り。 自然観察(田や生き物の観察)
	波佐	能海寛歌碑巡りウォーキング	5月3日	幼稚園児～大人 地域内外の住人	チベツ探検家、能海寛が、ふるさと波佐八景を詠んだ歌碑10基を巡る約6キロメートルのコースを歩く。歌碑設置場所では、地元のガイドの方に話を聞き歴史を学ぶ。
		伝承料理作り(祭りのごちそう)	10月1日	地域住人	古くから秋祭りにお客を招き、ごちそうをするという風習がある。地元の方々に聞きながらお祭り料理を再現して、参加者全員で料理をした。お膳や食器も昔使っていたものを使用した。
		笠松峠の畳石路を歩く	11月11日	地域内外の住人	波佐地域にある畳石路は、文化8年に完成した旧津和野藩時代の奥筋道で「鉦と紙の道」である。頂上までの全長1,800mの内、畳石部分1,200mを歩く。途中、地元のガイドの方に話を聞き歴史を学ぶ。
	小国	しめ縄作り	12月25日	地域住民	地元の高齢者に講師になってもらい交流を図りながら、しめ縄をつくる。
		ふるさと学習会	5月、11月	地域住民	(5月)ふるさとの歴史や文化を学ぶ (11月)地域課題である、まちづくりについての学習会
		ふるさと学習	5月30日	中学校1年生	小国地区を知ってもらうために「小国マップ」を活用しながら、ウォーキングや地域の方に話を聞き、ふるさとについて学習した。
	久佐	ふるさと学習会	6月	金城中学校1年生	ふるさとを巡り、体験しながら、地域を学ぶ。
		島村抱月ウォーキング大会	9月	一般市民	島村抱月のゆかりの地を巡りながら、抱月の偉業を学ぶ。
		ふるさと学習会	9月3日	地域住民	地域の歴史や文化を学ぶ 9月 テーマ「古代・中世の久佐郷 金城の人々の暮らし」 3月 テーマ「58災害を振り返って」
	美又	ふるさと学習	5月30日	中学校1年生	産業、特産品、自然について、地域に出かけ見学・体験、地域の方に話を聞き交流しながら、ふるさとの素晴らしさを学ぶ。
		美又探検	6月24日	小学校1年生～2年生	地域の川の生き物・植物探しを通し、地域の方にお話を聞き交流しながら、ふるさとの自然に触れ学ぶ。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
浜田市	美又	ふるさと学習会	6月25日、 12月17日	地域住民	地域の伝説や言伝えをもとに、ふるさとの歴史や未来の担う子どもたちに伝えていく大切さ、ふるさとについて学ぶ。 地域資源の歴史やふるさとの宝探しの方法や活用の仕方などを学ぶ。
	木田	しめなわ作り教室	12月20日	木田地区住民	地域のしめ縄作り名人を講師に、子供から大人までそれぞれが作る。
		とんど焼き	1月10日	木田地区住民	新年のあいさつで言葉を掛け合い、餅を焼いて食べる。伝統行事として継続させる。
	和田	神楽面づくり教室	7～10月	一般	地区内で神楽面工房を開いている方を講師に迎え、神楽や面の話を聞きながら自分の選択した神楽面を製作・ふるさと祭り等で展示発表している。大人、子どもどちらも参加できる。
	都川	あさひ健康ウォークin都川	9月27日	地域住民	ウォーキングで健康意識を高めながら、地区の中心となる地の歴史や風景、防災面での学習を併せたウォーキング。
		やまびこふれあい祭り	10月25日	地区民一般	地区の一大祭りでの地域の歴史学を中心とした学習の発表
		今市小学生の校外学習	6月25日(2年生) 5月26日(5年生) 7月6日(6年生)	今市小学生	2年生「八戸川学習」 町内にある八戸川で川の生き物について話をきいたり、川に入ったりしてふるさとの川の大切さを学ぶ。 5年生「都川の棚田学習」 都川のイズモジョウ棚田と熊ヶ谷棚田を間近で見学しながら、棚田の歴史の話を聴く。 6年生「都川川の環境学習」 スライドショーで川の歴史を学び、都川川の綺麗さを水質検査確認する。
	市木	校歌の山へ登ろう	1月27日	旧市木小学校児童	校歌にある「天狗石山」「三石山」への登山
		研修合宿	1月27日	旧市木小学校児童	1泊2日。目的・仲間意識の醸成と小さな村社会をつくる。 工作教室 星空観察会 旭楽々教養講座へ参加
	杵束	健康ウォーキング	10月24日	弥栄町内外	た、健康ウォーキング 「巡る集落の自然や食とのふれあい」「その地域の見どころを見学・または、発見！」 上は80歳代、下は2歳からの参加があり、異世代交流の場にもなっている。
		ふるさと再発見	随時	どなたでも	弥栄町杵束地区内の各集落のお宝探し
	三隅	みすみっ子チャレンジ教室	6～3月	小学1年～ 中学3年	石州和紙について年間を通して学ぶ。楮植え、楮刈り取り、紙すき、作品づくり、発表会
		三隅城のろしりレー	10月	地域住民	三隅氏の拠点を整備してのろしりレーを行う
		三隅氏学習会	1～2月	一般	三隅氏について歴史研究家の方から講演を聞く
	三保	ふるさと再発見事業 針藻城、風呂ノ木城跡塩路なぎさみちウォーキング	4月25日	地域住民	針藻城、風呂ノ木城の歴史の講和後参加者が交流を育み、歴史や自然を楽しみながらウォーキングをした
	岡見	チェリーロードウォーキング大会	4月6日	幼児～一般住民	地元自治会が20年近く前に植樹した桜並木を、景色を見ながらゆっくり歩く。途中、地元になんだクイズをしたり、ゴミなどがあれば回収もする。
		子供神楽教室	毎週土曜日	幼児から中学生	地元の伝統芸能である「石見神楽」を公民館で練習をし、8月にはその成果を地域住民の前で披露する。
		海山ウォーキング	10月5日	一般住民	3つの公民館エリアをまたがってウォーキングを行う。他の地域のことを知るとともに、互いの交流を図る。
	井野	学校支援地域本部事業	4～2月	小・中学生	自然観察、郷土食、伝統芸能
		歴史探訪と健康ウォーキング	11月	地域住民	史跡巡り
	黒沢	六地藏道ウォーク	6/15、11/23	一般	旧黒沢中学校への通学路古道を健康ウォークして六地藏道・史跡の説明をうける。 この古道は数回の合併の過程で、地域の中心地が動いた。 結果として、両地点を結ぶ往來の道が現在では、古き時代を思うふるさと教育の場となった。
		かっぱランド夏祭り	8月10日	地域内外の子供・大人	第1部 河川敷を利用して、昔ながらの川遊び(筏くだり・魚釣り・石切り・水遊びなど)を楽しむ。 第2部(夜の部)余興・神楽等開催。
	白砂	海山ウォーキング	10月5日	小学生以上	浜田市立岡見公民館～同三保公民館～同白砂公民館の3館共催事業。健康ウォーキングを行いながら、館を超えて親睦交流、ふるさとの風景を楽しみ、地域の良さを再発見するというもの。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
浜田市	白砂	三隅小学校ふるさと学習 (学校支援)	9～12月	三隅小学校 3年生	以下の学校支援活動 生産者の柿園見学で、生産者の夢や生産に対する思いを聞き取る 集荷施設見学で荷造り出荷の様子市場のことを学習 干し柿やシャーベットづくりを地域の人と行う 完成した干し柿を使って地域の人や高校生と伝承料理づくりデザートづくり
		通学合宿	平成16年度 ～平成26年度	小学生および 一般	16年度「郷土料理づくり」・平成17年度「台風で臨時休校中止」・平成18年度「どんちっち三魚干ものづくり」・平成19年度「国際交流ALTとうずめ飯づくり&地域の祭りに参加」・平成20年度「龍雲寺で座禅・写経・精進料理」・平成21年度「エコ活動アルミ缶で作るランタンとアイスクリーム」・平成22年度「柿渋一閑張り」・平成23年度「県立大学生と異年齢活動・浜田ツーリズム協議会と協働」・平成24年度「ペットボトルピザづくりと親学プログラム」・平成25年度「近海環境問題、浜田海上保安本部巡視船で視察」・平成26年度10カ年検証年度(しまね遠隔地交流とし、ユネスコ登録地同土隠岐の島町と三隅町の交流に代替)
大田市	中央	歴史探訪	12月16日	地域大人	まちの歴史を調査、研修することによって郷土を知ること、住民自ら地域を愛し、地域に誇りが持てる心を育てる。
		親子自然たんけん隊	5～9月	親子	野外活動を通して、自然の恵みを大切にすることを育み、自分の住んでいる地域に誇りを持ち、すばらしい環境を後世につなげていく。
		大田中央絆プログラム	4～11月	中・高校生	中・高校生が地域で様々な体験活動や地域貢献活動に参加し、「ひと・もの・こと」を通して地域の良さや、ふるさとを愛する心を育てる。
	東部	地域ガイド養成講座	12月2日～ 1月18日	大人	3回のシリーズで、石見地方のたたら跡(大田市内)を訪ねて歩く、フィールドワーク。これまでのたたらに関する学習は、座学であったり、田儀桜井家たたら場跡のフィールドワークも実施している。
		みんなの遠足	5月25日、 11月16日	子どもから大人まで	地に残る自然遺産や歴史遺産をめぐり、地域を学ぶとともに、地域のよさに触れ、地域について自信を持って語れる大人であることと、そのような大人を目指す子どもたちを育てる。
		コミュニケーションを考える講座と文化祭でお店を出そう	12月6日、 10月26日	小学生高学年(5・6年生)と中学生	コミュニケーションを考える講座は、グループワークを通して、その能力を高めるトレーニングをする。その成果を生かす機会として、実際、文化祭において、自ら計画したお店をだし、文化祭に参加をした地域の人たちとの交流の中で、人とのかわり方を学ぶ機会と捉えている。
	西部	心に残る我がふるさと語ろう会	2月25日	小学校児童と高齢者	町内から集めた、昔なつかしい写真をDVDにして、小学校で上映して、交流を図った。
	三瓶	みんなで作ろう「ふるさと三瓶のお宝マップ！」	6月22日～ 3月20日	小学生～高齢者まで	三瓶ブロックには3つの地区があります。それぞれの地区のまちづくりセンターと協働でまち歩きをしながら地域のお宝を探していくことをしています。
		三瓶ワクワク交流会	6月22日	小学校3年生～中学生、PTA、学校の教職員	ワークショップを通して、コミュニケーションの大切さを知り、他者と協調し、他者を思いやる心、人権を尊重する心、感動する心、地域社会の一員としての自覚をもつ心など育てています。
	高山	大森町めぐり	7月27日	小学校5年生以上	高山みらいの会が作成した高山エリアマップを利用しながら高山地域4町を7月から10月にかけて月1回の割合で各町の町めぐりを実施した。町並みを外れて減多に行くことのないコースを選択して実施した。
		水上町めぐり	8月24日	小学校5年生以上	高山みらいの会が作成した高山エリアマップを利用しながら高山地域4町を7月から10月にかけて月1回の割合で各町の町めぐりを実施した。講師から世界遺産「石見銀山遺跡」の自然・歴史・文化について現地で説明を受けた。途中では高山地区で見られる植物についても学べた。
		祖式まちめぐり	9月28日	小学校5年生以上	高山みらいの会が作成した高山エリアマップを利用しながら高山地域4町を7月から10月にかけて月1回の割合で各町の町めぐりを実施した。地元出身の講師ならではの祖式町の歴史的な事象・産業について現地において説明・解説を受けた。
	温泉津	郷土料理 マキ作り	6月20日	小学校生と園児	温泉津小学校と園児、地域の婦人会、老人会との世代間交流も含めて、郷土料理 マキ作りを行い、郷土に親しむ機会を設ける。
	温泉津	郷土芸能 石見神楽	8月9日	大田市内の小学生	地元の神楽面工房と京都造形芸術大学の神楽サークルに指導してもらい、石見神楽の本物(人、面、衣装等)に触れる体験事業。
	仁摩	仁摩の郷子ども塾「わがまち探検隊」・まとめ塾	探検隊(2日)まとめ塾(8日)	仁摩小学校児童	平成25年度に作成した「仁摩の郷ガイドブック」を使い、フィールドワークを通じて仁摩の郷の歴史・文化に触れ、再発見したことを新聞にまとめ、各地区文化祭で展示発表をした。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
大田市	仁摩	仁摩の郷 大人塾	1日	仁摩町地域住民(成人)	仁摩の郷づくり活動の一環として、「子ども塾」のガイドやリーダー養成を目指し、地域住民を対象にして開催した。今回は「大国」を舞台に行った。
		「仁摩ウォーキング大会 in大国」	1日	仁摩町地域住民	健康と体力づくり・親睦を深めることを目的にウォーキングを実施し、併せて地域の歴史や文化についても学習する機会とした。
	川合	かわいの川遊び大会	8月17日	町内の子どもたち	静間川の鮎、やまめ、うなぎの放流をし、つかみ取りを楽しむ
		川合町健康ウォーク	3月1日	川合町すべての住民	川合町、および近隣を散策し見学を楽しむ
	大屋	大屋の歴史講演会	2月3日	一般市民	石見銀山代官天野助次郎と大屋町とのかかわりについて
	久手	ふるさと紀行	4～3月	一般	地域の昔話を聞いたり、調べたりして、教養を深める。
	静間	健康ウォーク	7～3月	老若男女問わず	市内、町内の城址、神社仏閣などを巡りながらウォーキングする
	静間	伝承料理教室	12～2月	老若男女問わず	伝えていきたいおせち、お祝い料理などの料理教室
		新セリ市	9月	老若男女問わず	平成25年9月大田市のJFが地元和江港に統合されJFしまね大田水産物地方卸市場が開設された。 1年後、希望者を募り、セリ市の見学会を行った。
	五十猛	五十猛海と山のふれあい祭	7月19日	全町民	山間部と海辺部との交流事業 「児童の漁船乗船とパレード」「児童の学習発表」「『五十猛小唄』の披露と伝承」「山間部と海辺部の特産品即売」
		神話の町五十猛 歴史散歩	10月25日	全町民	神話にまつわる五十猛の歴史講座 神話にまつわる史跡めぐり
	池田	田植え体験ツアー	5月17日	県内外参加申込者(幼児～高齢者)	三瓶での田植え、郷土料理、山菜採り、温泉等を組み込んだ日帰りツアーを開催し、三瓶の魅力を発信した。地元芸能の田植えばやしと早乙女との花田植えも行った。
		稲刈り体験ツアー	9月20日	県内外参加申込者(幼児～高齢者)	三瓶での稲刈り体験、郷土料理、放牧牛見学、温泉等を組み込んだ日帰りツアーを開催。
		お宝めぐりウォーク	6月22日	住民(幼児～高齢者)	お宝マップを作成し、地域の方に説明を受けながら、地域に伝わる史跡を歩いて巡る。
	志学	文化祭	11月1日	全住民	地域の文化的取り組みの発表の場を提供する。
		盆踊り	8月14日	全住民	伝統行事である盆踊りを伝え・守る活動
		文化歴史・マップづくり	11月8日	全住民	地域の史跡をチェックポイントにして、地域の方に話を聞きながらクイズを解き、ふるさとの歴史を学ぶ。 地元の高齢者を訪ね昔の話を録音。
	北三瓶	古道を歩く	3月20日	地域住民	地域の古道をウォーキングする 地域の施設見学(山村留学センター・キャンプ場・木工館)
		しめ縄&ミニ門松づくり	11月27日	地域住民	しめ縄づくりとミニ門松づくり
	大森	ふるさとづくり事業	7～3月	一般	建物の歴史からめぐる大森 学芸員さんと地元を歩く 石見銀山学『武士のいた大森』講演会 思い出から探る建物の歴史 (聞き取り座談会 5回 報告講演会 1回)
		ふれあい健康づくり事業	5月	一般 子ども	健康ウォーク 地元の歴史や自然、植物等の話を聞きながら歩く
	水上	水上町文化講演会 みなかみ町の宝物「小笠原流田植え囃子」	2月	地域住民	山陰民俗学会の多田房明先生に、水上町の田植囃子の価値と伝統文化について専門的な立場から講演をしていただく。
	祖式	そしき子どもフェスタ夏祭り	7月27日	幼児から中学生	「矢滝川で川遊び」「アユのつかみ取り」「地元住民と触れ合いながらアユの塩焼き・竹ごはん・カレーライス」
		そしき子供フェスタ冬祭り	1月12日	幼児から中学生	かまくらづくり、そり遊び 正月遊び(コマ回し、カルタ取り、羽根つきなど)
	温泉津	ごあんない講座	5月～10月 月1回	一般	温泉津地域の歴史、文化、史跡をたずねる
		ミニ歴史講座	1回	高齢者学級受講者	年1回実施する視察研修に合わせて、関連する歴史的背景を学ぶ

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
大田市	湯里	ふるさとウォーク	2月28日	一般(子供も含む)	3月に開通予定の自動車専用道路をウォーキングしながら、ふるさとの地理を学んだ。
		湯里地区文化講演会	2月22日	一般	ふるさとの人物で川端康成の親友であった三明永無と川端康成に関する内容と石見銀山と西田のかかわりについて、山陰中央新報社の引野道生氏による講演。
		歴史講座	11月16日	高齢者、一般	拝殿の建て替えにより新たに発見された宝物が、大田市の文化財に指定されることになった西田の水上神社について、その歴史や価値を中心に宮司である宮能壮充氏から話を聴く。
	井田	まきづくり		小学2年生、高齢者	昔、田植えが終わったところに食べていたまきを、高齢者に教えていただきながら作り、一緒に食べて交流した。
		なかよしバイキング	7～1月	幼稚園児、地域住民	子供たちと一緒に育てた野菜を使い、料理、おにぎりづくりなどを地域の方と一緒にやった。
		世代間交流「そうめん流し」	8月5日	未就園児～高齢者	竹を切り、節を外し、竹を組み、一緒に作業をしながら交流を図る。女性は、そうめんをゆでたり具材を切ったり小学生と一緒に触れあう。みんなでそうめんやスイカをいただく。
	大国	仁摩ウォーキング大会 in 大国	10月26日	誰でも可	地元の永久鉱山跡と、銀山街道をウォーキング。歩きながら、ふるさとの歴史を学ぶ。
江津市	郷田	ふるさと発見参観日	不定期/年1回	小学校全校生徒/保護者/地域の方々	「児童と保護者の皆さんがふるさとの良さを見つける機会とする」ことがねらい。内容は生徒が自分の選んだ7つのコースに分かれて行う。 (Aコース「江津の歴史」Bコース「魚の観察」Cコース「竹太鼓作り」Dコース「自然物工作・合奏」Eコース「柏餅作り」Fコース「田植えばやし」Gコース「竹馬作り」)それぞれの活動に多くの地域の方々が講師となって指導を行い、子どもたちと一緒に童心にかえって取り組んだ。
	嘉久志	郷土学習会	平成23年11月～現在まで	嘉久志地区民	嘉久志地区の歴史と文化を学び歴史の記録と継承する。
	二宮	恵良媛祭り	秋1日	一般住民	柿本人麻呂と恵良媛伝説の理解促進のため、町内にある万葉の歴史資産の勉強会を盛り込んだイベントを開催。
		万葉ウォーク	春1日	一般住民	町内の万葉に関連した施設、八咫鳥伝説のある田端神社のウォーキングを行い、要所で万葉に詳しい人から開設を行って、住民に町内の歴史資産に関して理解促進を行う。
	跡市	子ども花田植	6～10月	全小学生と地域ボランティア	地域の伝統芸能である花田植を子どもと共にし、その後の成長を見守り、稲刈り、脱穀までを経験する。 また、出来た米は販売したり、地域の方々と共に食したりする。
		自然と親しむ会	5月8日	全小学生、地域ボランティア	地域内を散策し、野山に自生している食べられる植物を採取し、名前を教えてもらったり、調べたりする。どこで、どんなものが採取できるか、また、この地域ならではの植物はないかななどを調べる。 採取した植物は、その日に調理して食す。
	敬川	校外学習	8月	小学校児童	
	有福温泉	人材活用・育成事業ならびに高齢者活用伝統芸能物産品の付加価値推進事業	12～2月	地元住民	高齢者等からの伝統文化産品等の技術・技能継承等を通じて高齢者の出番づくり・交流機会を設けるとともに付加価値創出化により生涯現役化の端緒づくりにする。 有福温泉の伝統文化継承について高齢者の聞き取り調査を実施し、まちづくり協議会(交流企画部)で引き継ぎの方法を検討。
		伝統芸能継承「有福小唄」	8月18日～20日	若い世代女性	地域の伝統文化である有福小唄の踊りを若い世代へ継承するための練習を実施。
	谷住郷	小学校振替休日事業「すみえっくらぶ」	4～3月	小学生、保護者、地域住民	小学校の振替休日(年4回)と長期休暇(年3回)に公民館を一日解放し異年齢の子ども同士の交流と、子どもと地域の大人との交流を図っている。(年間7回開催)地域の大人が先生となり、地域の「ひと・もの・こと」について一緒に取り組む。 【例】「住江のお茶摘み、試食会(伝統作業の茶業を伝える)」「交通安全自転車教室」「川柳教室」「食育クッキング」「人権学習『ぐるぐるアート』」「人権講演会(江津市人権啓発センターによる巡回講座を活用)」「全員遊び段ボールハウスを作ろう」「地域ウォーキング」「座禅体験」「お宮で神楽を学ぼう」「もちつき交流会」「昔のおやつ作りに挑戦」「お別れ会」
	川越	世代間交流ウォーキング	9月13日	地域住民対象(幼児～高齢者)	地域にある文化財や歴史を探訪する

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
川本町	川本北	ふれあい合宿	8月23日～24日	地区内の小学生・中学生	通学合宿と類似した事業。地域の散策や、調理体験、本の読み聞かせなど、地域ボランティアの方々が企画し、公民館で宿泊する。
		ふれあい餅つき大会	1月10日	子ども	地域の方と一緒に、餅つきを行い、食べるまでを行う
	川本西	サケの観察会&ウォーキング&芋煮会	11月22日	制限なし	自然遡上してくる、サケの遡上や産卵を観察する事をメインとし、周辺をウォーキングする。最後は、芋煮会。
美郷町	沢谷	沢登り	7月23日、8月28日	大人	沢谷川の沢登りをで、沢谷の魅力を田舎ツーリズムにし、県内外の人に情報を流して、沢谷に来てもらえればと計画、実施。
		とんど焼き	1月18日	地域住民	午前9時より、沢谷交流センターグラウンドで開催。神事のあと、一年の無病息災をお祈りするとんど焼きの火にあたり、そのあと、あたたかいぜんざいをいただく。
		麦のことを知ろう	通年	参加希望された親子	美郷町の自然と食の豊かさを知るために、麦の種まきから加工食品になるまでの過程を体験する。地域の方の協力により開催。
	都賀行	わんぱく教室	7月25日～26日	小学校児童	川エビの仕掛け・クラフト教室・うなぎカゴの設置・川遊び 昼食は獲れた川エビのかき揚げ・鮎の塩焼きで「川の恵みを満喫しよう」をテーマとした活動
邑南町	阿須那	久喜製錬所跡&床屋製錬所の現地学習会	5月25日	地域住民	町内の発掘調査中の製錬所跡に行き現地で説明を聞きふるさとの歴史を学んだ。
		口羽氏の史跡めぐり	11月15日	地域住民	地元の武将口羽氏について地域の方に説明を聞きながら史跡めぐりを行った。町内外から多くの参加者があり、ふるさとの良さや歴史を再認識することができた。
		春の野山に山菜を採りに行こう	4月26日	小学生	地域の方に協力していただき、山菜の説明を聞いた後、野山で山菜を採った。採った山菜を調理してみんなで食べた。地域の自然の良さを知ることができた。
	高原	魚釣り&おやつ作りに挑戦	6月16日	小学校全学年	地元グループの協力で、竹ざおと仕掛けづくりをして、川で魚釣りを実施。
		地元の企業を見に行こう	9月16日	小学校全学年	小学校振替休日を利用して、地元の企業を3社を見学した。養鶏場、鋳造製造工場、LED製造工場を見学して、地元の企業が生産したものが、広く世の中に出回っているのを感じ取ってもらい、地元の誇りを持つきっかけを作れた。
		紙すき体験・卒業証書づくり	1月29日	小学校5年生、6年生	地元の協力者と、紙すきの指導者で、紙漉きで卒業証書づくりをした。材料のがんびを山から取りに行くところから、紙漉きまでを体験した。
	布施	魚釣り&おやつ作りに挑戦	6月16日	小学生・地区の方	地元の川で昔ながらの魚釣りを体験。指導者に地元の方をお願いし、どんな魚が生息しているかを調べた。希少な魚の生息について学んだ。午後からは、地元の女性の皆さんと一緒におやつ作りを行い交流を深めた。
		自然観察会(高野山登山)	4～9月	地区の方・地元出身者・小学生	布施地区にある高野山に登り、季節によって変わる景色を楽しみました。多くの方の交流の機会になった。
		世代間交流ゲートボール大会	7月26日	地区の方	夏の夜におこなう世代間交流ゲートボール大会は28年の歴史があり、交流の場となっている。
	市木	ふるさと市木探検隊	6月15日	小学校児童	地域の歴史や文化などを学んでいる「ふるさと学芸員養成塾」のメンバーが小学校とコラボし、児童に教える事業
	矢上	矢上小 通学合宿	7月13日～15日	小学校5～6年生	町内唯一の矢上高等学校へ行き高校の先生や生徒にいろいろ教えてもらい、普段かかわりの少ない高校を体験する。
		ヒキガエル観察会	3月8日	年齢・性別問わず	講師を招き邑南町におけるヒキガエルの生息環境についての話を聞き、その後ヒキガエルが産卵を行うため池へ観察に行く。
	井原	夏休み子どもウォーキング	7月23日	小学生	地区内の景勝地、神社仏閣を歩いて巡りながら学ぶ。現地ガイドは地元の方をお願いした。
		東明寺山登山	6月10日	一般、小学生	石見東小3年生の総合学習の授業の一環として東明寺山登山を実施。
	日貫	ふるさと教育	4月1日～2日	どなたでも参加可能	ふるさとの祭りの歴史について学ぶ
	日和	日和子ども塾オオサンショウウオ調査	6～3月	小学生	地区内の川に生息しているオオサンショウウオについて、専門家の講師を招いて、子ども達とオオサンショウウオの生態等について調査している。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
益田市	益田	歴史探訪ウォーキング大会	9月27日	市民全体	ウォーキング、ゲームを楽しみながら益田地区内を探索し、歴史を学ぶ。
		益田七尾まつり	11月3日	益田地区民	明治時代より行われてる伝統アル祭りを継承している。
		ハリエンジュ教室	6～10月	益田地区民	公民館の講座。テーマを決め講師を招き益田の歴史を学ぶ。
	吉田	郷土を知る講座	毎月1回 年間7回	地域の住民	「江戸時代の今市」「多田大元神社と扇原関門跡を歩く」「石見の古絵図」「スケッチ雪舟サミット～雪舟でつながる輪～」「バス研修～益田と萩の関わり～」島根の陶芸～近代以降～」「益田ふるさと物語」
		小中学校 ふるさと教育	通年	小学生・中学生	益田の産業を調べる 石見神楽の伝承
	高津	かるた大会	2月1日	小・中学生	かるたの大会
		クイズウォーキング	3月1日	中学生以下	柿本人麻呂神社と県立万葉公園をクイズラリーしながら歩く
	安田	ふるさと歴史教室	通年	成人	ふるさとに関して講座、見学などの研修
	種	種相撲甚句	10～11月	小学生	地区の伝統である『相撲甚句』を小学生に教え、地区の行事で踊る。
		種子供神楽	通年 (毎週1回)	小中学生	種神楽の伝承 毎週1回の神楽の練習、行事などで披露。
	北仙道	ふれあいウォーキング	毎月 第3土曜日	地区内外小学生～高齢者	地区内のお寺、神社等名所を中心に3km、5km、7kmを歩く。
	豊川	通学合宿	9月27日 ～30日	小学校 3～6年生	子供たちが自らルールを作り工夫しながら自分の力で生活する、学年の異なる集団による共同生活
		ウォーキング	10月10日	保育園～高齢者および地域外の方	益田川ダム周回路 2・4・7キロメートルのウォーク
		地元学	10月8日	小学生3、4年生	岩柘地区のむかし話し、炭焼き、石窯、エビネ園の見学
	豊田・西益田	清流高津川いかだ流し大会	7月27日	一般	西益田地区最大のイベント 高津川の自然体験と環境の保全推進を目的として、昨年30回大会を開催した伝統がある。
		親子で一緒に凧づくり&ふれあい凧あげ大会	2月21日	小学生親子・保育園児・地域の方	親子のふれあい、地域の方とのふれあいをテーマに、西益田の冬の風物詩である。子供たちに西益田の冬の思い出が刻まれますように
		西益田地区保小中連携「鮎つかみどり体験」	9月18日	保育園児・小学4年生・中学生・地域の方々	高津川のすぐそばで育つ西益田地区の子ども達が、保育所、小学校、中学校とそれぞれの時期を通じて、高津川の資源に直接触れ、体感することで、ふるさとを想う心を育てる。 保育所から中学生までの子どもたちの育ちを地域全体で支える。
	二条	横山城址健康ウォーク	4月24日	一般	史跡横山城址の歴史を学ぶ
	小野	通学合宿	7月6日 ～9日	小学5～6年生	小学5～6年生を対象に、3泊4日で公民館に寝泊まりし、地域の子育てボランティアの支援を受けながら交流する事業である。 事業の中では、地域伝統芸能(田植え囃子や銭太鼓等)の指導なども行いながら「地域の人とのふれあい活動」として実践している。
		小野地区ふれあい文化祭	11月7日 ～8日	地区民	毎年11月に2日間かけて公民館で開催している。保育所・小学校・中学校の児童生徒の作品から地区内の各種団体の作製したもの(絵画・習字・いけばな・陶器・写真・鉢植え菊・小物・盆栽 等々)を展示し、交流を図っている。
		小野ふるさと祭り	11月30日	地区民	毎年11月末の日曜日に開催している。この事業も保育園から小学校・中学校の児童生徒が練習してきたものを発表するほか、地区内の団体が日常から練習している趣味や習い事の成果発表的な催しものの舞台となっている。そして、地元の人たちが屋台的なお店も出しながらこの祭りを盛り上げている。 また、この祭りはチャリティーとして行っており、収益として上がったものから、毎年10万円を地区社会福祉協議会に寄付している。このお金は、毎年の歳末助け合い事業の原資として使われている。
	二川	世代間食育事業	4～3月	保育園児・高齢者	毎月1回以上保育園児が二川を訪れ耕作放棄地で地域の高齢者と共に野菜を作り収穫祭をしたり少量ながら、産直市やバザーで販売 収穫した野菜を保育園の給食に提供している
		小学校通学合宿	9月23日 ～27日	小学4年生～6年生	一定期間共同生活を送る 地域の方との交流
		再生資源集団回収	8月17日	小学1年生から中学3年生	地区内の再生資源を回収して回る

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
益田市	匹見上	中学生への盆踊り継承事業	6月25日、7月16日	匹見中学生	後継者不足が心配される匹見上盆踊りを中学生に継承するため、保存会の中心組織である匹見中央連合自治会と連携して練習会を行った。囃子と踊りそれぞれを現在の担い手が指導し、戦前から受け継がれている盆踊りを中学生に伝えることができた。
		絵地図でたどる匹見の景観展	7月26日～8月31日	一般	東京の古本屋で見つけた匹見町道川地区の江戸時代作成と考えられる絵地図を中心に、町内個人が私蔵してきた明治・大正時代の地区内を描いた絵地図を展示。益田市文化財審議委員の協力を得て作成した解説文をあわせて展示し、地区内外の来館者にこの地区の近代歴史に対する理解を深める資料を提供した。
		三葛宿泊体験	3月25日～26日	匹見小学生	春休み期間に小学生が親元を離れて伝統食の調理体験を中心とする宿泊研修を行った。地域の活動団体に指導していただきながら豆腐づくりや餅餅・うずめ飯・ウデジカの白和えといったこの季節ならではの献立に挑戦することで、ふるさとの食材や先人の知恵を学んだ。
	匹見下	匹見下ふるさと祭り	11月17日	全住民	地域紹介の写真・絵画の展示
	道川	親睦交流会	11月16日	全校児童	地域に暮らす者全員が参加し、お互いがふるさとの良さを知ると共に世代間交流の場として毎年、親睦交流会を行っている。内容は、道川小児童の学習発表会・「地域でともに暮らす」と題して、大畑伸行氏による講演・道川神楽社中による神楽の上演・会食
		三世代交流会	12月13日	全校児童	子ども、親、そして地域住民が関わる事で、ふるさとのぬくもり、絆を感じる事が出来るように三世代交流会を毎年行っている。道川小児童9名が田植えから稲刈りを体験し、もち米を作ったのでその穂を使い、地域の歴史ある美濃地屋敷を利用して、地域の方々としめ縄づくり・餅つきをした。会食は鳥のだし汁に餅を入れて食べるといって道川地区に昔から伝わる水餅を食し、ふるさと学習の一端に触れた。 内容「しめ縄づくり・餅つき・会食」
津和野町	津和野	青野山ハイキング	5月5日	全年齢(町内外)	子どものひに合せ、町内の子ども保護者を対象に、青野山頂上を目指し登る。登山中は、自然にある野草等の勉強もする。また、自然体験を通じて、自然を愛する完成を育成し親子のふれあいを図る。
		丁字草観察会	5月	全年齢(地域住民)	津和野地域のシンボル青野山の麓にある、地倉沼で丁字草の観察会を行なう。また、その周辺に生息する生き物の観察会も同時に開催。
	小川	郷土を学ぶ教室		地域の大人	津和野の町内の歴史資料館や旧跡を巡り、学習を行う。
	畑迫	あじさい健康ウォーク	6月29日	町民	ふるさとに関して学ぶ。
		堀家に関する勉強会	4～10月		地区内にある名勝指定の「旧堀氏庭園」について勉強会をする。ボランティア養成等
		しめ縄かざりを集めてとんど焼き	12月20日、1月18日	地区民	地区に伝わるお正月飾りを作る。しめ縄づくりを集めて地元で伝わる行事をとんど焼きをおこなう。昔の話をお年寄りから聞く。
	木部	地域ウォークラリー	6月22日	小学生・保護者	ふるさとの史跡を利用したクイズラリー
		成人学級 ふるさと再発見	3月23日	地域住民	ふるさとの名称由来や史跡、偉人の歴史を学ぶ。
	日原中央	夏休み！チャレンジ・ザ・サマー「にちはら地域めぐりと資料館見学」	8月7日	地域内小学生	日原郷土史研究会のみなさんと下左鉾方面へ出かけ伝説の千尋の滝でお話をもらい、日原民俗資料館を見学。
		日原地域の史跡めぐり	7月17日、10月29日、11月20日	町民	1 古地図でめぐる日原天領の風景 2 脇下「水口城跡」・野口「土井のうち」等の史跡めぐり 3 岩倉城(須川)と周辺の史跡めぐり
吉賀町	六日市	子どもわくわく教室	7月、8月、12月	小学生	川探検や科学実験教室を実施。体験により感性を磨くとともに、地域とのふれあい、また関わる大人の活動の場となることに寄与する。
	柿木	学校活動連携事業	通年	小学生	小学生が地域住民と一緒に、登山や鮎の放流、川の生き物調査、どんと焼き等を行い、地域の良さや歴史について学ぶ。
	蔵木	町内史跡めぐり	8月1日	中学生、地域住民	町内の史跡を大人と共にめぐり、歴史を学ぶ。
	朝倉	田んぼの生き物調査	6月14日	小学生	有機栽培の水田や水路で多様な生物が存在する豊かな環境を調査。
		河山探検	10月20日	地域住民、小学生	河山地区に伝わる炭窯作りの体験、見学を行う。また併せてヤマメ釣りを実施し、豊かな自然について学ぶ。
隠岐の島町	隠岐の島中央	クヌギの森にあるもの	通年 4回	小学生	隠岐の島町に在住する児童・生徒に対し、自然体験活動、異世代との交流・ふるまい向上について活動を行う。
	五箇	くぬぎの森にあるもの			(中央公民館との共同事業のため同館からも報告)
	都万	都万歴史講座	3月1日	一般	都万地区にまつわる歴史的な資源などの学習会
		くぬぎの森にあるもの	6月7日	小学生	ジオパーク学習として海辺の観察、油井の池観察などを実施。

	施設名	事業名	期間	対象	事業内容
海士町	中央	ふるさと検定	10月25日	小学生以上	町の中の歴史、文化、動植物などに関して問題を作成した「ふるさと検定問題集」を全戸と小学生以上に配布したうえで、年に1回問題集から出題する「ふるさと検定」を行っている。
		ふるさと再発見ツアー	通年	小学生以上	町内の歴史、文化、植物を実地に探索しふるさとを愛し、語ることができる人を増やす。
		子どもダッシュ村	4～3月	小中学生	海士らしい自然体験や労働体験を通して主体性やふるさとを愛する心を育む。また、地域の方と連携することによって、世代間交流を図る。
西ノ島町	西ノ島中央	自然観察会	4～2月	大人	高崎山、島根鼻、勇義山等で草花や地質等についての観察学習
		ふるさと教育講演会	12月2日	一般	教育と地域振興(観光等)の面からふるさとの良さを学ぶ。
		ふるさと探検隊	4～1月	児童	魚釣り、マリンスポーツ体験、もちつき、クリスマス会他

問21地域課題を解決するために活動する団体等の名称と活動内容 一覧

施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
松江市	城東	小学校PTA	40	子どもが巻き込まれる事件が報道される中、地域と学校が連携して取り組む活動の1つとしての「子ども110番の家」調査。
	城北	九日会	20	春、夏、冬の食イベント、テーマソングの作成・活用、定例会、学習会。
	城西	環境美化の会	10	宍道湖岸や地区内をゴミ拾いをして、環境美化に努めている。
		城西ふるさと学会	30	ふるさと城西の歴史や文化を学び、地域の歴史保全活動をしている。また、戦時体験記の収集などを行っている。
		へるんの道 景観保全の会	20	ヘルンの道は、歩道部分と芝生公園があり、芝生公園の雑草取りや芝桜の保管理・除草が中心で、夏場は水やりなど管理を行っている。
	白湯	プチッとおしゃれな料理教室	15	月に1回、料理教室の開催。
		しらかた ハンドベルサークル	15	地域の方を講師に、ハンドベル演奏のサークルを行い、イベントへの出演や慰問活動も行っている。
		セラバンド	5	セラバンドを使い、健康体操を行っている。
	朝日	婦人会	30	ゴミの分別をし資源として生かすリサイクル活動や地域のまつりや文化祭また交通安全啓発活動に参加、協力し町の活性化に貢献する。
		あさひ日本語ひろば ボランティア	11	言葉に不安がある外国人への日本語学習支援や学習者に地域のまつり等への参加を促し地域住民に外国の文化への理解を深めてもらう。
	津田	踊って歌って 楽しいかい	50	高齢者が公民館に集い、踊ったり、歌ったり、楽しく活動することによって、生きがいを感じ、引きこもりや認知症を予防する。
		津田親父の会	31	体験活動や遊ぶ機会の少なくなった子供たちと様々な行事や、体験活動を行うことによって、地域での子育て支援に努める。
		ちょこつとくらぶ	30	障がいのある子供たちが地域社会でいきいきと暮らせるように様々な事業や研修、交流活動を行う。
	古志原	古志原地区自主防災会	7	1.地域住民に対する防災意識の普及、啓発を図る。2.家庭内災害対策の促進を図る。3.各種防災訓練を通じて、防災知識、技術を学ぶ。4.防災関係基礎資料の収集、整備を図る。5.防災資器材の充実を図る。
		安全・安心ネットこしばら	30	1.安全・安心まちづくり組織の充実。2.各関係団体の事業の連携・協働。3.住民への安全・安心意識の啓発、活動参加の呼びかけ。4.子どもの安全見守りなど防犯活動の強化。5.要配慮者生活支援の組織づくり、活動推進。6.災害時対応要綱の作成(災害対策本部等の組織体制等見直し)。7.小学校校庭緑化推進
		ヤング古志原	8	1.地域活動を通し自己実現を図る。2.若者が参画する地域づくり。3.仲間の輪を広げ地域おこしを図る。
	法吉	ほつき井戸端会	10	公民館が働きかけ、団塊世代の人達が定年後も生きがいをもって豊かで魅力あるライフスタイルを送るために、会員同士が集まって「ほつき井戸端会」を立ち上げ、実社会での活動・生活で得た多くのノウハウ・知識を地域で活かすために学習会や地域活動を実施している。平成20年3月から現在まで64回実施。
		美しい法吉の町をつくる会	20	個人で他地区の組織に所属していた人達を中心となり、法吉地区の環境を美しくするための諸活動を行うグループを結成した。歩道・車道のゴミ拾い、通学児童の見守りを兼ねたゴミ拾い、歩道・公園の草取り、ゴミ集積所・バス停への「ボーイ捨て防止看板」の設置など積極的に活動を実施。公民館では広報・経費等の支援をしている。平成24年4月発足。
	持田	鶴友会	238	地域の高齢者がより一層健康で生きがいを見つけながら暮らししていく取り組みが、幅広い交流や地域貢献活動をとおして地域活性化、高齢者の生きがいづくりにつなげる活動を展開する。(ミニスポーツ大会、社会見学、小学校体験活動支援、ものづくり、奉仕活動等)
		太田なごやか会	2	高齢者の閉じこもり防止と介護予防につなげ、地域との「つながり」を広げながら(維持)定期的に自主的に活動。見守りや支援の活動につなげる。
		納蔵なごやか会	2	高齢者の閉じこもり防止と介護予防につなげ、地域との「つながり」を広げながら(維持)定期的に自主的に活動。見守りや支援の活動につなげる。

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
松江市	古江	古江ごっつお会	20～40代の住民	8	若い世代のつながりをつくり、若い世代が地域の祭りや行事に協力したり、参画したりすることで、地域の活性化につなげる。
		ふるえ子ども広場	20～50代の住民	12	子どもたちの遊びを見守る傍ら、若い世代のつながりをつくり、若い世代が地区の行事に協力したり、参画したりすることで、地域の活性化につなげる。
		古江社会福祉協議会	30～70代の住民	70	第4次古江地区地域福祉活動計画を策定する中で、さまざまな地域の実情・実態・課題を把握し、知己課題を解決すべく、既存の事業の見直し、既存団体間のコーディネートなどをとおして、新規事業を立ち上げ実施、地域の活性化につなげる。
	大野	大野地区健康松江21推進隊	各種諸団体の長	22	大野地区住民の健康増進啓発活動。生活習慣病予防の料理教室の実施。
		おおの輪・和・ワークラブ	体育協会、青少協、子供会、スポーツクラブなど	20	スポーツを通じて体力の向上と日ごろの運動不足の解消などの地区の住民の健康づくり活動の実施。イベントを開催し、地域住民の交流と仲間づくり。
		大野地区生活環境保全推進員・協力員会	生活環境保全推進員・協力員	16	大野地区生活環境保全推進員・13地区の協力員が年に2回(5月、3月)リサイクルステーションや集積場の見回り調査、空き缶拾いの実施。ふるさとまつりでのパネル展示によるペットボトルの再生・環境に関する啓発活動。ごみ集積場および浄水場の視察研修を開催し、環境保全と環境美化の推進について学んだ。
	秋鹿	フレッシュ秋鹿	60～70代女性	10	地域の祭りや行事に協力したり、リサイクル、環境活動、ボランティア活動に積極的に参画し地域の活性化につなげている。
		秋鹿環境会議	40～70代住民	21	環境、リサイクル活動の啓発、リサイクルステーションの見回り、研修等を行っている。
	島根	つわのも会	50～60代地域住民	13	地域の美化活動 事業の支援・協力
		ふるさと桜縁座	50～70代住民	14	地域を題材とした人形劇の上演による子育て支援
		澄水川ほたるの会	10～80代の地域住民	20	地域環境を活かした事業の企画・運営
	美保関	みほのせき花咲きの会	地区住民	51	地域に根差した花づくりの推進。地域ふれあい活動の推進。環境保全と循環型社会づくりの学習と実践。
		ほっとカフェ倶楽部	地区住民	6	地域のふれあい交流の場の提供
		はつらつシニア学級	シニア世代	42	生涯学習(料理教室、軽スポーツ、教養講座)。町外研修(講演、音楽鑑賞、社会見学など)。公民館の各種講座への出席。
	八雲	ボランティア喫茶	60代前後の住民(女性)	20	毎月第2火曜日に公民館を会場に喫茶を開催している。
	宍道	宍道町青少年育成協議会	地域住民	25	青少年育成を目的に、地域住民のつながりをつくり地域活性化につなげる。
		宍道地域人権教育推進協議会	地域住民	23	人権に関する啓発活動
	来待	逢来里クラブ	地域住民	15	農業体験を中心とした世代間交流、地域資源の再発見からふるさとの良さを情報発信する。
	揖屋	揖屋地域づくり委員会	PTA、学校、その他地域住民	15	毎月1回のあいさつ運動、1泊2日の子どもリーダー研修、ふるまいカルタの実施。
	上意東	上意東自治会	50～70代の住民	27	人口減少が進んでいる中、上意東地域の活性化につなげる。
		上意東防災隊	50～70代の住人	104	地区内の独居高齢者、高齢者のみの世帯、障害のある方などで防災時・平常時において支援をする。
		星上山峠展望整備検討委員会	50～70代の住人	17	地域資源を有効活用して地域振興を図る。
安来市	十神	十神地区自主防災委員会	30～70代の住民	50	非難訓練 防災に関する講演会 要支援者名簿作成等
		男の料理教室	60～70代男性	20	男性だけの料理教室
	島田	相互支援クラブ	老人会員	45	幼稚園・小学校からの要請に基き授業支援を実施し、事後に反省会を行い、以後の活動に生かす。また、交流センターの各種事業や管理業務、並びに青少年健全育成協議会などの諸活動にボランティアとして協力参加。

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
安来市	宇賀荘	うかしょうサマー楽校	30～40代の住民	5	最初は、幼稚園、小学校の保護者有志で、子どもたちの長期休暇のときのイベント等を交流センターで行なっていた。その実績から昨年度より宇賀荘児童クラブが設立され、学童クラブができた。今は、夏休みや春休みなど長期休暇の時に、児童クラブに入っていない児童も一緒に交流センターを利用してイベントを開催している。
	大塚	大塚町自主防災組織	元消防団OB、自治会役員		地域の安心安全を保つため災害時に備えての活動
		南総合スポーツクラブ	自治会代表	10	地域住民の健康、増進
	能義	能義地区青少年健全育成協議会	青少年育成に関するすべての住民、機関、団体等の代表者、委員	25	この会は広く町内の総意を結集し、次代をになう青少年の健全育成と福祉の増進を図ることを目的としている。
		白鳥の郷・のきパトロールの会	地域ボランティア	60	毎日の登下校の見守り活動、県下一斉に定められた15日の「安全・安心まちづくりの日」にあわせた見守り活動。
	飯梨	飯梨地区健康づくり推進協議会	30～60代の地区住民	47	健康教室の開催、健康診断受診の促進など地区住民の健康づくりを推進する。
		飯梨地区自主防災組織	30～60代の地区住民	39	住民の自主的な防災活動を行うことにより災害などによる被害の防止及び軽減を図る。
		飯梨地区青少年育成連絡協議会	20～60代の住民	88	青少年を取り巻く環境の浄化、安全確保など次世代をになう青少年の健全な育成を図る。
	荒島	荒島地区活性化推進協議会	荒島地区民当で趣旨に賛同したもの	700	小学校課外授業の支援。健康ウオークの実施。つつじ祭りの実施。荒島市の開催。
		荒島青年協議会	地元を中心に趣旨に賛同の比較的若い年代	26	あらしまこーふんふえすた(地域全体の夏祭り) 子供の健全育成事業(子供映画祭り等)
	広瀬	自主防災組織	会長・副会長・委員・監事	14	自治会へ自主防災組織設立へむけての支援。各自治会自主防災組織の指導・支援・情報提供。防災に関する知識の普及及び訓練。共同防災資機材の整備。
	布部	灯りの里	50～70代の住民	10	毎月1回交流センターに集まり、手作りあんどんの絵を描くことから始まり、地域の祭や行事にあんどんを展示し、会員以外の地域住民にも活動を広げ地域の活性化につなげる。
		イルミネーション実行委員会	60～70代の住民	10	地域のシンボルである1番高い山(要害山)の頂上に12月から1月上旬までイルミネーションを飾る。毎年違う飾りにして住民や通る人の目を楽しませ、元気を与えている。
		鯉のぼり実行委員会	50～70代の住民	8	5月～6月にかけて、交流センター前の川の上に鯉のぼりを渡らせ、子どもや高齢者など地域の方はもとより、地域外からも見に来られる方もあり憩いの場にもなっている。
出雲市	宇波	うなみ宇楽会	20～50代の住民	27	地域のイベントや行事に参画し、また、研修会などの地域住民と一緒に自己研鑽をする場も設けながら、地域を牽引する組織を目指している。
	東比田	東比田地域を守る会	20～70代の住民	40	サマーフェスティバル逢あい東比田の実行委員
	山佐	上山佐地区中山間地域コミュニティ再生会議		28	地域盆踊り大会と連携。「yamasa club」(30代、40代の方中心)という活動・古民家再生。
	西谷	西谷元気ださあ会	地域住民	20	地域の活性化を図るために地域をどうしたいかを考え、今までの行事や新たな行事により、地域住民が参加し集える場をつくる。
	井尻	宿酔会	10～70代地域住民	10	若い世代のつながりをつくり、若い世代が地域の祭りや行事に協力したり、参画したりすることで、地域の活性化につなげる。
	今市	今市の未来を語る会	20代～50代	36	地域の公共施設や近未来の諸問題について話し合いをする。
	四絡	四絡防犯青色パトロール隊	地元住民50代～70代	28	毎朝数か所で児童生徒の通学見守り・立哨活動。毎月4回4班体制で下校時の見守り。夏季、年末に出雲警察パトカーとともに地区内の巡回見守り。
		四絡災害時支援隊	地元消防団員OBを柱に50～70代	66	障がい者、高齢者の見守り、声掛け、災害時支援。要支援者への支援。高齢者等への訪問活動。5班体制で各大字地区を担当。

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
出雲市	鳶巣	いきいき健康教室 鳶巣	60歳～90歳	48	毎週木曜日の体操教室をとおして自らの体力向上と高齢者の孤立予防、交流の場づくりに寄与。毎週健康学習会を開催し、認知症予防に繋げている。特に男性の高齢者の参加が多いのが特徴。
		鳶巣はっぴーレーニング	50歳～70歳	20	毎週水曜日の体操教室をとおして自らの体力向上と交流の場づくりに寄与。参加者がはっぴとれをきっかけにコミセンのあらゆる活動のスタッフや役員として活動されるようになった。
		とびすから世界へ らぶ・ぴーす よさこい	3歳～50歳	40	おどりをとおして、子育て交流、世代間交流の場づくり、福祉活動のきっかけづくりとなる。親子で参加することで、地域の活性化に繋がる。
	上津	上津地区体育協会	20～60代の各町 内代表者	18	地域住民の体力向上と体育文化の振興に寄与するため、地域の体育祭の企画やラジオ体操・ウォーキングの推進を図り、地域活性化につなげている。
		上津コミュニティセンター 青少年部	20～60代の各町 内代表者	16	上津地区を流れる一級河川「斐伊川」の中州での「ビーチボールバレー大会」や地域消防車での「未就学児へのクリスマスプレゼント配布」を企画・実施し、地域の活性化につなげている。
		上津コミュニティセンター 文化部	30～80代	30	春の桜祭り、夏のふるさと祭り、秋の文化祭を企画・実施し、地域の活性化につなげている。
	稗原	ヤンスタ48	20～50代の 住民	48	地域の盆踊り大会、文化祭で運営スタッフとして参加、ブースの出店、ダンスパフォーマンスの披露等(若い力で地域の活性化)。安心安全な明るいまちづくりの一環で、12月にイルミネーション付けをする。
	平田	雲洲平田船川平田船川湯 谷川河川愛護団体連絡協 議会	平田船川・湯谷 川沿い町内住民	293	船川・湯谷川の除草活動。平田環状線沿いの桜並木、花壇の管理・沿線の清掃など地域の環境美化に努める。
		平田地区 福祉推進委員会	地区内住民	59	地区社協の中のボランティア団体。一人暮らし高齢者・高齢者世帯の定期的訪問と引きこもり予防にふれあいサロンを開催した。
		栄町一式飾を考える会	町内住民	10	昔ながらの一式飾り。製作中止の瀬戸際だったが、コミセンの後押しもあり、これから続けることができるようになった。
	灘分	防災ボランティア	20～60代の 住民	13	1、有事に備えて、地域の防災に関する建物・施設・危険箇所等の位置情報、写真など地区民が必要とする情報を収集し、発信する。2、防災に関する講習会、研修会、訓練に参加し見識・見分を深める。3、上記の活動を通して防災リーダーを育成し、地域の防災意識を高める活動を行う。
	西田	西田地区 有害鳥獣対策研究会	地区住民	9	シカ、イノシシによる農作物被害が平成20年頃より甚大となり、地域から対策の要望があり、地区民に狩猟免許取得を呼びかけ、取得者でグループを結成、今では地区内の被害が激減し苦情等もなくなった。現在も継続して取り組みを行っている。
	久多美	ふるさと久多美 再発見の会	60～90代	13	地区内の歴史史料を掘り起しデータ化して保存。歴史を活かした地域起こし。講演会なども積極的に行う。
		すゞ菜の会	50～60代	8	地産地消の推進、コミュニティセンター事業で食に関する活動。中高齢者の生きがい作りを目的に研修会を実施。料理向上に関する勉強会。イベント参加による働く意識の向上。
		伝統芸能発表会 実行委員会	30～70代	10	伝統芸能発表会を年一度開催し、地区内の伝統の継承の一端を担う。
	東	PEC雲州	20～30代の 住民	15	宍道湖畔一斉清掃参加。ひがし納涼祭り参加。東地区文化祭参加。サントクロースイベント開催 など 少子高齢化が進む地域を盛り上げ、活性化することを目的として発足した。若者が地域で活躍でき、地域のコミュニケーションを活性化し、閉塞的になりがちな田舎に、受け入れるという文化が根付いていくよう活動する。
	北浜	ひまわり会	50代～60代の 地区住民	16	高齢者居場所サロンの世話、防災訓練時の炊き出し等、地域の行事に積極的に参加協力することで、地域の活性化につなげる。
		小津サロンボランティア	60～70代の 地区住民	12	高齢者居場所サロンの世話、防災訓練時の炊き出し等、地域の行事に積極的に参加協力することで、地域の活性化につなげる。
		釜浦サロンボランティア たんぽぽ	60～70代の 地区住民	10	高齢者居場所サロンの世話、防災訓練時の炊き出し等、地域の行事に積極的に参加協力することで、地域の活性化につなげる。
	佐香	やらこい会	地域住民 (小伊津町)	10	地域において、道路の草刈・整備等の活動、また、地域の祭り(花火大会等)に協力している。
		演友会	坂浦町住民	30	地域において、自治会と協働して、道路の整備・河川の清掃等に会員で活動、また、地域の祭りに協力している。

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
出雲市	伊野	伊野いち実行委員会	60～70代	12	当地区の海・湖・田畑・山その他産品を直販する産直いちを開催 コンセプト 1. 特に農業関係者を元気にする。2. 産直いちの魅力を感じてもらうためおもてなしコーナーを設置する。
	須佐	東須佐有志会	10～40代の住民	45	3地区の若者が連携して地域おこしを模索する。 連携を深めるため地域住民を巻き込んだ祭りを開催したり、伝統的な地域事業にも積極的に参加し、地域作りと継承活動を行っている。
		エコクラブ	地域内の女性グループ	25	EMを活用した環境改善に取り組み、小学校、中学校へも出かけて環境教育活動に取り組んでいる。
		サンサンネット	地域内住民	20	地域内の健康増進、食生活改善のために、自家用の味噌を作るために大豆の栽培講習会の開催、大豆の自家生産に取り組み、麴も自分達で作し、減塩味噌を作る事の普及を図り食生活改善と健康増進の取り組んでいる。
	窪田	心響(こころ)	20～50代の住民	11	踊りを通して地域づくりに貢献することを目的に、イベント参加や福祉施設への慰問活動を実施。
		おはなしアップルパイ	20～60代の住民	13	保育所や高齢者施設へ出かけ、おはなし会を実施することで、人と人とを結ぶ交流の場を提供すると共に、おはなしの楽しさを広げる。
	日御碕	ミサキどっとCome(コム)	20～30代の市区住民、日御碕出身者	3	日御碕出身者が地元に戻るきっかけづくり。地元の人たちが家から出るきっかけづくり。たくさんの人に日御碕へ来てもらうきっかけづくり。 ＜平成26年の活動＞日御碕小学校ありがとうDVDを作成し、日御碕小学校閉講式でビデオ上映した。日御碕小学校清掃。
	鵜鷺	鵜鷺げんきな会	鵜鷺げんきな会 会員	7	地域おこし全般。塩炊き体験。町歩き(案内)。古民家再生。
		鵜鷺女性部	鵜鷺地区 婦人会 会員	30	環境整備。介護施設の清掃、慰問。ボランティア活動。
		NPO法人 ふるさとつなぎ	ふるさとつなぎ会 会員 ボランティア 活動員	42	鵜鷺地区のPR。暮らし体験プログラム。人と地域のつなぎ役。
	荘原	元気な斐川を創る会	地域住民	21	荘原地内のショッピングセンターがなくなり町全体が衰退してきた。若い世代もあまりみなくなったが、それ以上に高齢者の買い物に不便を感じている人、居場所がなくなった人たちが引きこもり状態になりつつある。この現状を踏まえ、活性化のためには「地域でなんとかしなくては」と立ち上がった。現状把握から一歩進んだ現実を見据えた活動を模索している。
	出西	やまびこの会	地区内の成人女性	57	健康寿命を延ばす講演会や人権・同和研修の実施、地区文化祭への協力を通じて、地域の活性化に貢献している。 最近、「やまびこ喫茶」を企画し、住民の交流促進に寄与している。
	阿宮	阿宮地区自治協会	会長、副会長、理事、代議員	18	地域の活性化(地区行事の企画・運営)。コミセン活動の支援。地域課題の集約及び活動。
雲南市	直江	直江街プロジェクトC	20～40代の直江町を中心にした住民	20	直江の町の若い人が集まりイベント等を行うことにより、地域の活性化を図ることを目的に活動を行っている。
	久木	高齢者支援検討委員会	50～70代 住民	11	地区内にある高齢者組織が消滅したため、今後、どのようにして支援やつながりをつくっていくのか話し合う。
	出東	青少年健全育成協議会、出東子どもの安全を守る会			2つの組織が一緒になって、朝の声かけ、あいさつ運動をすることになった。個人で朝あいさつをしている人から子どもがあいさつをしなくなったという話があり、子どもに元気がない、声が出ないなど子どもたちの問題がクローズアップされ始めた。そこで、地域のいろいろな団体に呼び掛け、あいさつ運動を復活、盛り上げることにした。また、来年度からは構成員の見直しも検討している。
	大東	大東地区 自主防災連絡協議会	大東地区内自治会 防災委員	87	大東地区内住民の隣保共同の精神に基づく自主的な防災活動を行い、地震その他の災害による被害の防止及び軽減を図っている。
	春殖	春殖地区 道路整備期成同盟会	24自治会より代議員選出	25	地域の経済振興と生活環境の整備を図るため、春殖地区道路整備促進に必要な情報収集や関係機関への要望・陳情等を行う。
	久野	久野地区 活性化専門委員会	振興会役員・各種団体長他	60	課題ごとに部会(5部会)をもうけ検討し活性化につなげる。
	海潮	婚活プロジェクト		12	笹巻づくり、そばづくり、史跡めぐり、ホテルと神楽の夕べ見学等
		溜池百選の沢池整備検討		250	水質調査、生き物調査、遊歩道の草刈り、在来魚の放流
		八雲山景観整備		25	八雲山頂上の景観のため、樹木の伐採

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
雲南市	西日登	西日登子ども・学校支援者会議	地区内関係組織・団体	26	継続事業:「愛の共育講演会」の開催。その他「西日登子育てプラン」の実践を通し、地域で次世代を担う青少年を逞しく、健やかに育てる。
	飯石	自治会長会、小学校、PTA、交通安全協会、民生児童委員会、消防団、体育協会、食生活改善協議会			上記、各種団体の長を、自主組織の幹事として位置づけており、全住民による協力体制を目指している。「みんなで作る元気ないいし」のキャッチフレーズのもと各種団体と連携の取れる体制となっている。専門部員を支部からあげてもらい、各事業は支部長、自治会長により地域におろし、関係団体の協力を得ながら行うことが出来ている。
	吉田	よしだ円卓会議	地区内の自主組織、企業、NPO法人、営農法人など	21	地区内の様々な団体が一堂に会して、地域の将来を見据えて意見交換を行い、それぞれの役割を確認すると共に、協働による地域づくりの新たな可能性を検討し実践する。地域に活力を生む。
	田井	なちゅらる田井	20～30代の地区住民及び出身者	15	地域が活性化するために若者はどう動けば良いのかを月1回～2か月に1回話し合い、他年代との座談会を開催。地区出身者に呼びかけ、大同窓会を開催し、ふるさとへの思いや求めている事をリサーチ、帰郷を促すに必要な事を調査。 他地区のイベントに出かけ、カフェ出店参加したり近隣市町村の若者と連携したりしながら、若者定住への活動を広げていきたいと細く長く続けていきたいというビジョンを掲げ活動している。
	掛合	チームこうき	20～60代の住民	16	地域の再生を目指し、耕作放棄地を活用した枝豆栽培、蕎麦作り等の体験を通して、地域資源の保全活動や地域の支援活動を推進、又、掛合分校の生徒に地域学習として、蕎麦の種蒔きから収穫、文化祭での蕎麦打ちを体験してもらう活動も実施しているチームです。
	入間	除雪支援隊	50～70代	10	冬季、高齢者宅の除雪をしている。申込窓口は交流センターです。
ピコット		20～60代	5	高齢化率が50%を越し、引籠もり防止のため、1ヶ月に1回、カフェ・ランチの日を設け、食事提供をし、楽しい食事の時間にしてもらっている。	
奥出雲町	布勢	健康づくり推進委員会	20～70代住民	28	住民の健康づくりに関した活動(保健師、理学療法士、医師等の講演。血圧、骨密度等の測定。管理栄養士による食の学習。)
		福祉委員会	20～70代住民	22	特に高齢者の福祉に関する活動(社会福祉協議会職員によるレクリエーション開催。軽体操の指導。昼食会での交流。独居老人の交流会。絵手紙の発送。)
		NPO法人奥出雲布勢の郷	30～70代住民	111	地域活性化に関する活動(佐白温泉「長者の湯」運営。ふるさとの食文化の掘りおこし。観光名所の整備。各種イベント開催による活性化。)
	三成中央	三成地区福祉振興協議会	自治会長、福祉委員、民政児童委員、少年補導委員、広域交番、婦人会	46	幼稚園・小学校の(環境美化作業)枝打ち作業、草刈り・草取り。文化祭の開催。そば打ち体験学習。
		やま子会	高齢者同級生グループ	10	自力で炭焼き小屋の建設し炭焼きを定期的に行うかたわら、幼稚園・保育所～中学校までの活動に積極的に関わっている。また、地域を元気にするための企画(山菜紀行、街づくり委員会等)を実施し、少子高齢化、空き家が多くなりつつある街に元気を与えようと活動している。
	三沢	とんぼの会	40代以上の住民	30	要害山城跡の麓交流施設があり運営している。
		三沢地区福祉振興協議会	三沢地区の各種団体の代表	50	三沢地区の年間の事業の構成員として事業に係わっている。
		農地・水環境保全管理協定運営委員会	自治会代表外地域緒団体	17	地域資源の適切な保全管理の推進活動
	飯南町	頓原	住みよい地域頓原会議	20～60代の地域住民、関係者	46
い～なん水鉄砲選手権大会実行委員会			20～40代の地域住民、関係者	10	楽しい地域実現のため、地域の資源を活用したアクティビティの追及をしている。
志々		志々自治区連絡協議会	自治会長	5	地域における自治組織の充実と推進
		わっしょい志々会		40	地域の課題解決

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
飯南町	赤名	赤名地域まちづくり連絡会	40～70代の住民	10	3つの自治振興会が一つとなって国盗り綱引き大会や銀山街道ウォーキングのスタッフとして地域の活性化をはかる。
		銀山街道を訪ねる会	40～70代の住民	50	かつては銀を運んでいた銀山街道があり町内のそれぞれの場所において要望があればガイド等を行う。 また、年に何回かガイドの研修を行い、銀山街道ウォーキングの際にはガイドを行う。
		銀山街道応援団	50～70代	10	かつて銀を運ぶ道の最大の難所であった赤名峠を毎年7月の最終週の火曜日に地域の建設業協会の方や役場職員にも参加してもらい峠までの道を草刈や倒木の除去をする。
浜田市	石見	みはし地域まちづくりネットワーク	三階小校区の住人全員	4500	防災についての学習会を行い、地域住民の意識を高める。
	長浜	長浜・熱田地区子ども見守りボランティアグループ	地区民	29	小学校登下校の見守り
	周布	周布地区ボランティア団体 他		53	公民館がこまったことに対しボランティア団に聞いたり相談したりして事業を進めている。
		周布地区連合自治会	周布地区住民全体	5000	防災に関する訓練や取り組みの内容について活動。 また防災関係は実際の事業に協力しあっている。
		周布体育協会	壮青年団地で構成する中年組織	40	スポーツに関するすべての事業を中心になり進めてくれる団体で公民館にとっては大変役に立ち、協力してくれる団体である。周布地区住民を対象にした体育大会では特に助かっている。
	美川	美川シニアサロン	40～80代の住民	100	月～金曜日の午前9時から12時まで、午後は13時半から16時まで、計10サロン100名の方が美川地域、地域外からもパソコン教室へ学びに来る。自身の学びだけにとどまらず、公民館事業に関する活動のチラシ作製、学校、地域への協力など様々な支援、協力をしている。
		山里を活かす会	60～70代の住民	26	人口減少、高齢化、コミュニケーション不足などの課題に対して、荒れた土地を耕し、環境を整備し、会員の方で野菜を植え育てている(週1、水曜日)。11月にはその土地で育った野菜を使い、芋煮会を開催し、多くの人が美川鍋石地域に集まる。高齢者が多く、活気の少ない地域に毎週、人が集まり、にぎやかに活動している。
	雲城	くもぎまちづくり委員会	地域住民、公民館職員など	35	地域の名産品開発、福祉活動、地域資源を生かす活動などを行い、公民館も協力して進めている。
		くもぎコミュニティー自治会	地域住民、各町内会代表、公民館関係者	50	地区民体育大会や地区民文化祭の実施 防災組織の結成と防災学習の実施
	今福	まちづくり推進委員会	地域住民	30	地域課題を検討し、計画・実行する。(もや市。おもてなし文化祭。お里帰り交流会。)
		自治会	地域住民	47	地域課題を検討し、計画・実行する。(敬老会。運動会。中元行事。)
		老人クラブ	地域住民	10	元気な高齢者づくり、生きがいづくり、次世代に繋ぐ活動
	小国	小国まちづくり委員会	地域住民	10	地域課題を解決するために、計画・実行する。(自然に親しむ会。ふれあい文化祭。ふれあい交流。)
		てごの里	地域住民	20	地域の自然を生かすために、特産品を作って販売する。
		高齢者クラブ	地域住民	20	元気な高齢者づくり、環境美化、生きがいづくり、次世代に繋ぐ活動
	久佐	若獅子会	地域住民	20	地域の若者が中心となり、行事の運営など行い活性化を図る。
		郷土芸能保存グループ	地域住民	50	古くから続いている郷土芸能(地芝居、神楽、田囃子)を継承し未来へと繋げる。
		久佐地区まちづくり振興会	地域住民	40	地域の課題解決に向けて、計画・実行する。
	美又	美又湯気の里づくり委員会	地域住民	37	地域の魅力を活かし、発信する活動を行っている。公民館を含め他団体と連携し、住民一人ひとりが役割を持ち活躍できる活動を行っている。
		寿会(高齢者クラブ)	地域高齢者	15	元気な高齢者づくりと生きがいづくり、地域環境美化奉仕活動、ふるさとの歴史を次世代につなぐ活動
	木田	お元気会	地域住民	23	週1回、ストレッチと筋力トレーニングを主とした「いきいき百歳体操」を行う。
		お茶会	地区住民	12	月1回抹茶の作法の学習からおもてなしの心を学ぶ。毎回学習ではなく参加者で次の活動内容を決める。 12月には旭の各種団体による発表会でチャリティーとしてお茶のふるまいをした。今後も老人ホームなど訪問予定。

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
浜田市	都川	都川まちづくり推進委員会	地区の各団体代表者すべて	40	当地区のまちづくり全ての取りまとめ、推進。
		都川地区自主防災部会	防災にかかわる各団体	63	地区における自主防災の学習、講習、訓練等による防災意識の向上。
	市木	習字教室	10～70代男女	8	毎週金曜日実施
		銭太鼓同好会	30～70代の女性	10	各種イベントでの演奏活動、発表練習不定期
		グランドゴルフ ゲートボール同好会	70歳以上の男女	35	体力維持とコミュニティーを図りつつ、各種大会に参加。
	三隅	のろしりレー実行委員会	出城の責任者(地域住民)	20	三隅城のろしりレーの実行委員会
		三隅氏副読本製作委員会	三隅氏に関心のある人	10	三隅氏学習会のための資料づくり等
	岡見	岡見地区生涯学習地域推進委員会	30～70代の住民	20	生涯学習を通じて世代を超えたつながりを作るとともに、地域の防災についても考える。
		岡見ぐるっと見守り隊	50～70代の住民	15	子供の登下校の見守りや、学校行事の見守り活動を始め地域防災に協力する。
		読み語りグループ つくし野海	30～60代の女性	10	中学校、小学校、保育園で定期的に読み語りを行う。時に、高齢者施設や図書館などでも実施する。
	井野	井野端会議	30～60代	10	ワークショップ参加の次世代メンバーに公民館が声掛けをして集ったことをきっかけに、自主的に活動を開始。月1回話し合いながら、地域イベントを企画開催し地域活性化を模索中。
	黒沢	黒沢まちづくり委員会	23人	361	健康な地域づくり(これから、この地域で暮らし続けるために。)環境文化部会 生活環境・地域資源の活用。伝統文化保存・伝承安全安心部会 防犯、防災、福祉、健康に関する事項について産業振興部会 農地、山林の有効活用、農産物加工品の商品化等
		生涯学習推進委員会	20人	361	地域コミュニティの推進。各種行事を通じて、住民教育の向上。情操教育の推進。
		南小太鼓	15人	15	20年前閉校となった旧三隅南小学校で、「58水害」以降児童を元気づけるために考案された「南小太鼓」を当時現役だった方々を中心に結成され、各行事で演奏、地域活性化に貢献。
	白砂	白砂地区生涯学習地域推進委員会	地区一般	13	有害鳥獣イノシシの有効利活用(イノシシハンバーグづくりを地域イベントで試食会につなげ、イベントに参画・盛り上げている。)
		みずすみモリモリ	女性一般	6	西条柿を使って、親しみやすく手軽に作れる料理を研究。地元高等学校と協働で地域イベントに出店。高等学校との新たな学校支援に展開。廃棄される青柿から渋を取り、柿渋の作品づくりに取り組む。森林組合からも柿渋を購入されるなど新たなコミュニティが期待される。
		音訳ボランティア「清流の鐘」	一般女性	7	公民館が人材育成したボランティア団体。視覚障がい者へ『広報はまだ』を音声で訳し(音訳)情報提供する活動。毎月広報紙の一部を音訳。また、島根県視覚障害者情報センター主催の視覚障がい者との合同研修や交流会への参加。・地域イベントでボランティア活動紹介と盲導犬育成募金活動。平成24年度浜田市市民憲章推進大会で団体表彰。
大田市	中央	歴史探訪実行委員会	大人	4	世界遺産石見銀山遺跡と各地域で繰り広げられた歴史とのかかわりを調査・研究することによって、地域のつながりをつくり歴史・文化を後世に残す。
		大田中央絆プログラム	中学生・高校生	30	地域貢献活動などを通して地域の絆をつくり、地域を活性化させていく取り組みを自らが考えていく。
	東部	波根むかし語りの会	50～70代の住民	40	地元(波根町)の歴史、文化の研究及び保護と学習会を年間6回開催している。お互いが講師をつとめ、学習内容の深まりを求めた研修を継続して実施している団体である。
		里山サポーター	50～70代の住民	10	波根町内で里山の整備を行ったり、自然体験活動ができる場を作ったり、環境に関連した内容の学習を進めるための、現場での作業やスタッフとしての協力をする団体である。
	西部	西部公民館地域リーダー	住民	7	地域から選抜された、リーダーにより、地域課題をみつけ、活動をつうじて解決にむけて取り組んでいる。

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
大田市	高山	高山みらいの会	30～50代の男女同数の地域住民	11	月1回の定例会。地域の持つ課題解決について話し合いを行いその解決のために事業の提案、実施。
	温泉津	温泉津歴史・文化研究会	50～80代の住民	50	歴史教室参加者、地域の団体「不言城会」を中心に、地域に残る山城や文化的な歴史資産の学習と保全・整備、活用を目標として、活動をしている。石見吉川氏を中心にした学習、全国各地の吉川氏のゆかりの地域の方たちとの交流を進めている。
	仁摩	大国自主防災組織	大国まちづくりセンター職員を中心とした地元住民	10	防災の講習会を開催 危機管理対応の工具を購入
	久利	くりの里・産直市場	地域住民	60	地元産野菜の販売所を運営することにより、耕作放棄地の解消、高齢者の生きがいづくり
		久利まちづくり推進協議会	町民	1400	町民運動会、文化祭等地域で行う事業の企画・運営
	波根	十一会	20～40代の住民	34	公園、通学路の草刈り、駅舎の清掃、また盆踊り等伝統行事への協力など、地域活動を積極的に行っている。
	鳥井	小学校応援ボランティア	在校生の祖父母及び地域ボランティア	59	災害時の避難路の整備 草刈等小学校の維持管理 児童といっしょになって桜の苗木を植え桜の郷づくり
		やすらぎの会	福祉委員及び地域ボランティア	19	毎月1回小学校と交流及びゲーム・講和・軽運動等異なった内容で開催 送迎あり 引きこもり防止・認知症予防を目的とする
		にじいろの会	地域住民	11	食育を目的として保育園児と共に野菜作り 低農薬による野菜作り
	静間	友遊会(ダイヤゾーン)	50～90代	15	毎週1回ダイヤゾーンの練習をしている。 他にまちセン事業の講習会や大掃除にも積極的に参加している。
		静間の名所旧跡を守る会	70～90代	5	地元の名所旧跡を管理したり、保育園児、小学生との交流をはかり、いも掘りや昔の遊びを伝えている。
		防災委員会	20～50代	15	各自治会から一人ずつ防災委員を選出してもらい、組織にむかってスタートした。
	五十猛	介護の会	40～70代	8	在宅介護をする人の勉強会の開催
	志学	志学ホームタウンプロジェクト	20～40代	14	若い世代のつながりをつくり、若い世代が新たなイベントを立ち上げ・運営することにより地域の活性化につなげる。
	北三瓶	北三瓶よろず会	全町民	307	全町民が会員となり、地域課題の解決・夢の実現に向けて、次の3分科会で活動している。 ①農林畜産業分科会「北三瓶の農村景観を守る(倒木・伐採研修)」②生活・環境分科会「安心して暮らせる北三瓶(弁当宅配サービス)」③交流・定住分科会「皆の笑顔があふれる北三瓶(空き家活用)」
	水上	みなかみ助け合い会	地域の協力会員・まごころ会員	132	学童保育 サービス活動
	大代	大代高山会	全町民	400	都市と故郷を結ぶ会(地元出身者との交流。田舎ツーリズムの実施。特産品の開発、販売。自然環境の保護。)
		大江高山そば道場	40～70代	20	10割そばの製造、販売
		一万円札の会	60代以上	15	ミツマタの栽培、収穫、紙すき。紙すきの体験教室。和紙の販売。
	湯里	湯里地区の銀山街道を守る会	50～70代の住民	20	世界遺産石見銀山遺跡とその文化的景観の一部である銀山街道の保全・整備活動を、年間を通じて行っている。
		湯里カフェ	50～60代の女性住民	9	小学校廃校跡(26年度からはまちづくりセンターとなっている)を使って、年4回カフェを開催し、地域住民に手作りの食事と居場所を提供している。
		蕎麦同好会	50～70代の地域住民	10	地域のイベントの際に手打ちそばを作り提供している。 だんだんとそばの栽培を手掛けるようになり、今では地元でとれたそば粉を使ってのそば作りをしている。 そばの人氣は高く、交流人口の拡大に一役かっている。

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
大田市	井田	井田歴史文化研究会	50～60代	7	史跡の景観美化活動。 井田歴史冊子編集及びDVD作成 史跡の顕彰看板の設置
		井田文化祭神楽団	20～50代 住民	7	神楽をとおして、I・Uターン者との交流を図り、地域活性化を意識化した活動に進展しつつある。
	仁万	桜の会	60～70代の 女性	18	自分たちの活動を通して、若い子育て世代の支援を行ったり、地域活性のためにカフェを開催し、地域を盛り上げるお手伝いを行っている。
	宅野	てわるさの会	50～80代の 住民	20	地域の入学式や、敬老会などで、手作りのストラップ等を作りプレゼントしている。また、高齢者施設等へ出かけて、簡単な裁縫の指導を行って高齢者の生きがい作りを行っている。
		宅野神楽団	10～60代の 住民	30	地域の伝統芸能である子ども神楽を構成に残すため活動している。
		竹の子の会	60～80代の 住民	20	ふれあいサロンや配食弁当の開催
	大国	大国陶芸いきいきクラブ	30～70代	17	中高齢者の健康づくり、生きがいづくり、社会参加 世代間交流活動 地域での文化交流活動
	馬路	馬路創生協議会	地域から 選ばれた人	12	馬路地域の将来構想や地域課題を協議し、自治会長会へ報告等
		グループ琴	60代の地元の 婦人	10	地域交流の場を演出(コミュニティカフェ)毎月1回センターにて開催
江津市	嘉久志	嘉久志 まちづくり推進協議会	役員:16名、代議員: 26名、地区外 住民	3000	地区内の行事一般
	二宮	万葉ロマンの里・二宮	実行委員長、 実行委員	25	町内最大の歴史資産である柿本人麻呂、恵良媛伝説を活用して、町内外の人を集めて万葉の啓発活動を行っている。 万葉時代の歴史、地理の背景の講演、クイズ形式による万葉知識向上、住民参加の芝居上演などで楽しく盛り上げる、活動を行っている。
		ふるさと夏祭り実行委員会	実行委員長、 実行委員	25	町内住民と、お盆で帰省した町内出身者を対象に盆踊り、石見神楽、舞台などで夏祭りを盛り上げている。 神楽目当てで参加している人も多く、近年は盆踊りの参加者が少なくなってきたため、踊り、口説き、太鼓の後継者を育てるため実施の2週間前から後継者候補も参加して予行演習を行った。
	波子	波子 まちづくり活性化協議会	30～70代の 町民	16	地域課題への取り組みをし、10年後の波子町を活気ある町にしていこう活動
	有福温泉	まちづくり協議会	全住民が対象で 評議員	53	地域防災・青色防犯パトロール・自治支援業務・自主防災組織・担い手づくり事業・地区環境整備・地区の草刈り作業・福祉助勢・交流活動企画経営・有福ブランド・イベント・福祉・高齢者の支援・見守りマップ作成等
		こども教室	まちづくり協議会 に係る組織	15	イベント・軽スポーツ・3世代交流・スクールバスで帰ってくる子ども達の放課後支援(毎週月曜日15時30分～17時に設定)
	市山	まごころ市山	50～70代の 住民	15	野菜販売所の運営 特産品の開発・生産・加工・販売 遊休農地を活用した子供の農業体験サポート
		郷土研究会	50～80代の 住民	5	昭和初期の地元の街並みや歴史を本にして発行。当時の歴史を知ると共に、現在の状況と比べることで過疎を考える機会とする。
美郷町	沢谷	谷住郷まちづくり協議会	会長、副会長、 幹事、事務局、 部長、副部长、 書記、部員など	50	谷住郷地域のあらゆる課題を把握し、4つの部会で事業化し継続的に改善します。(地域振興部、環境整備部、教育文化部、健康福祉部) 平成28年1月24日設立し、事業は平成28年度より本格的に行われる。 (公民館から、地域コミュニティ交流センターへ移行。今後は交流センターを活動拠点とする「谷住郷まちづくり協議会」によるまちづくり活動が展開されます。公民館事業は4部会へ移行します)
					安全、安心な暮らしに向けて生活支援システムとネットワークづくり 地域ブランドとして継続できるスモールビジネスづくり 多彩な交流による新しい出会いづくりと交流人口拡大 災害時の情報伝達や地域のコミュニティ情報の発信システムづくり 風景や景観を活用した誇りと賑わいづくり 健康増進と食文化探求による社会参加促進

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
美郷町	君谷	万寿会	65歳以上の高齢者	30	高齢者の引きこもりをなくす事を目的に、主に月2回公民館を利用しての認知症対策・軽運動などを行っている。 また地域の課題である、地域住民と子ども達との多世代で交流できるような活動を積極的にしている。
	都賀行	都賀行廿日会	自治会内の60歳までの男性有志	25	地域の伝津行事主催・地域のイベントへの参加
		ほっと水玉	自治会内の60歳までの女性有志	12	都賀行廿日会のサポート・会員同士の情報交換
		明老会	自治会内の60歳以上の有志	43	自治会内の清掃等のボランティア事業・軽スポーツによる会員の親睦
邑南町	市木	ふるさと学芸員養成塾	30～90代の地域住民	19	地域の歴史や文化、伝統などについて学習し、後世に残す活動
益田市	益田	益田地区地域自治組織設立準備会	40～80代の住人	24	自治組織設立のために先進地視察や地区民へのアンケート調査を行う。
	吉田	吉田の未来を考える会	地区振興センター運営委員	9	地域の現状を把握するために 地図太郎マップを導入。 自治会の区割り・通学路の確認・住宅の分布などを調査して地域の現状把握に努める。
		雪舟の郷げんきづけ隊	益田市観光ボランティアメンバー	6	吉田地区の史跡である大喜庵の環境美化 来訪者の接待 小学校の校外学習での案内・説明
		NPO久栄会	久城地区住民	15	櫛賀姫神社の歴史を調査・発表 地域の遺産としての認識を高める。 講演会を行いその価値を地域の方に知っていただく。
	高津	詩吟サークル	高齢者	32	月2回、詩吟の基礎練習、大会への参加
		メール・ド・ラメール	高齢者（一般成人）	16	月3回、ママさんコーラス、音楽祭への参加
		わかば会	高齢者	35	月1回、平均年齢75歳のコーラス、敬老会やイベントに参加
	種	種むらづくり推進協議会	30～70代の住民	21	地域づくり 地域の祭りや行事に協力
	北仙道	地域自治組織設立準備会議	4地区自治会長、20代男女、30・40代男女、60代男女	16	地域魅力化事業を協議し、2～3年後の「地域自治組織」設立を目指し活動をする。
	豊田・西益田	西益田地域づくりの会	30～70代	24	自治組織の設立準備及び、まちづくりを考える会 まちづくりの活動支援
		益田商工会議所 西益田支部青年部	20～50代	21	地域活性化のためいろいろな形で地域を盛り上げている。 「飛行機に乗って恋活PROJECT高津川で会っちゃった」を企画し、人口増加を主とした若者定住化対策目的とした婚活事業
		西益田地区文化振興会	住民	60	地元で生まれた方に郷土の偉人の逸話をお話いただける会を開催した。
	二条	二条里づくりの会	地区民全員	572	地域自治組織の活性化事業
	小野	小野地区地域づくり協議会 準備委員会	30～70代の地区民	23	小野公民館は公民館と地区振興センター、保健福祉センターの施設を兼ねており、職員についても5名のうち3名は兼務辞令が出ている。従って、3つの事業を同時進行させており、その中で地域づくり事業を行っている。 地域づくりについては、今後の地域づくりを担う「地域自治組織」を立ち上げるための事業と地域を良くするための「地域魅力化事業」に取り組んでいる。
	二川	蓬の会	地域住民	12	地元の蓬を摘み取り加工し、イベント・産直市などで（よもぎたつぷりのおやき）を販売
	匹見上	つちのこ会	未就学児を育児中の家族	28	子どもへの体験活動の提供 子育ての悩みの共有
	匹見下	匹見下ふるさとを興す会	40～80代の住民	30	田舎体験の受け入れ

	施設名	団体名	構成員	人数	活動内容
益田市	道川	地域づくり協議会	地域全住民	145	自治会及び各種団体によって形成されている。 1、伝統と文化、豊かな自然を守り、育てる地域づくり 2、生きがいを持って、元気に活動できる地域づくり 3、助け合い、支えあい、安心して暮らせる地域づくり 上記を基本方針として地域資源を活かしながら、交流人口の拡大と地域産業の活性化を図る。地域住民のつながりを強固にし、支え合う仕組みづくりに取り組み、暮らしの安定による定住策を図る活動を行っている。
吉賀町	蔵木	蔵木の活性化を考える会	20～60代の住民	20	地域の課題等について定期的に協議を行い、地域の活性化に寄与する。
隠岐の島町	隠岐の島中央	島こいプロジェクト	20～40代の住民	12	しまの定住促進と少子化対策として「婚活事業」を実施し、若者たちの出会の場を創出し、若者たちが公民館に「集う」ことにつなげる。
	五箇	五箇一番隊	五箇地区在住の一般の方	30	子供見守り活動 青パト活動および通学時の横断歩道指導

平成27年度 島根県公民館等実態調査

このアンケートは、県内の公民館等の現状等について調査し、県内の公民館等をはじめとする社会教育関係団体・関係者相互の情報共有及び連携等のための基礎資料にすることを目的としています。

つきましては、ご多用のところとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力ください

－ 記入にあたってお読みください －

- 【1】 本調査の「公民館等」とは、社会教育法上の公民館だけでなく、市町村条例によって設置された実態として公民館の機能を担うコミュニティセンター、交流センター、まちづくりセンター等を意味します。
- 【2】 本調査では、公民館等施設・業務・予算等(1～7、問1)については平成27年4月1日現在の状況を、問2～21については平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)の状況をお答えください。
- 【3】 回答は、質問内容にしたがって、回答欄に記入していただくか、選択肢を選択してください。**黄色の枠は直接入力**をしてください。**青色の枠は、番号や○等を選択**してご記入ください。
- 【4】 問6については、**別紙1**にご記入ください。
- 【5】 問15については、**別紙2**にご記入ください。**別紙3【学習内容の具体例】**を用いて、学習内容の分野と番号をお答えください。
- 【6】 選択肢のある問で、「その他」を選ばれた場合は、[]内にできるだけ具体的な内容をご記入ください。
- 【7】 回答内容について、照会させていただく場合もありますので、調査票の「記入者」の欄に、市町村名・施設名・職名・名前・連絡先等のご記入をお願いします。
- 【8】 回答方法は、「しまね電子申請サービス」での回答、または「回答用紙」の提出をお願いします。調査用紙は、各市町所管課へ提出してください。**2月29日(月)までに回答・提出**ください。

【担当】

県立東部社会教育研修センター 青山征司
〒691-0074 島根県出雲市小境町1991-2
TEL(0853)67-9060 FAX(0853)69-1380

平成27年度 島根県公民館等実態調査

【記入者】

市町村名		施設名	
職名		名前	

※記入者の方に、後日、回答内容についてお伺いする場合がありますので、ご承知おください。

平成27年4月1日現在でお答えください。

公民館等の対象地区について(必要事項を記入)

1 貴施設の対象地区の人口を記入してください。 2 貴施設の対象地区の世帯数を記入してください。

対象人口		人	対象世帯		世帯
------	--	---	------	--	----

公民館等業務について(「いる・いない」のいずれかに○、①を選択した場合は具体的な内容を記入)

3 貴施設の業務として、行政支所業務(住民の手続き等)の行政サービスを行っていますか。
※ここでの行政支所業務とは、総合窓口(住民票、戸籍、印鑑証明、所得課税証明等の発行等)業務のことをいう。

① 行っている		→ 具体的に	
② 行っていない			

4 行政各部局の各種住民サービスの協力依頼や他部局からの委託業務を受けていますか。
※ここで言う各種住民サービスの協力依頼や他部局からの委託業務とは、地域まちづくり指針の策定、自治会連合会の支援、農林水産工業関係の申請・相談、福祉関係の申請・相談、保険、年金に関する業務のことをいう。

① 受けている		→ 具体的に	
② 受けていない			

5 貴施設の業務で、地域の各種機関・団体等の事務・会計等を行っていますか。

① 行っている		→	具体的な依頼・委託内容		
			機関・団体数	団体	
② 行っていない		→	関係する職員業務	複数回答可	
				1 事務業務全般 (事務文書作成、会議日程の調整など)	
			2 会計業務 (通帳管理など)		
			3 関係行政との連絡調整等 (各種団体を所管する市町村担当部課との連絡調整など)		
			4 公民館事業との連携、調整		
			5 その他	具体的に	

年間運営費(市町村費と地元費)について (必要事項を記入)

6 年間運営費(市町村費と地元費)について、お答えください。

① 市町村費または委託費等	年間		千円(職員人件費を除く)
② 地元負担金	年間		千円
	(一世帯あたり		円)
③ 年間運営費うち年間事業費			千円

公民館運営審議会(運営委員会)等の設置状況について(該当する番号に○→人数・回数を記入)

7 貴施設の業務で、地域の各種機関・団体等の事務・会計等を行っていますか。

① 公民館等単独で設置している		→	構成人数		人	年間会議回数		回
② 市町村全体で設置している		→	構成人数		人	年間会議回数		回
③ 設置していない								

平成27年4月1日現在のことをお答えください。

職員の勤務体制について

問1 在籍する職員の状況を下表にお答えください。

	職名	勤務形態 (一方を選択)	勤務状況 (例:週2日/16時間) (例:週5日/40時間)	経験年数	年齢 区分	社会教育主 事の資格の 有無
公民館長等						
公民館主事等						
その他の職員						

- ▽ 公民館長等とは、館長、センター長、地域自主組織の会長等をさす。
- ▽ 公民館主事等とは、主事、主任、主任主事、チーフマネジャー・マネジャー等をさす。
- ▽ その他の職員とは、主事補、保健福祉推進員、各種コーディネーター等を指す。
- ▽ 勤務形態は、常勤、非常勤のどちらかを回答。非常勤は、勤務時間/日数に制限がある勤務形態のこと。
- ▽ 経験年数は、公民館等での経験年数の累計の年数のこと。
- ▽ 年齢区分は、10代、20代、30代、40代、50代、60代、70代、80代以上で回答。
- ▽ 社会教育主事の資格は、有資格者の場合、有を記入。

利用状況について

貴施設の利用を許可した団体数及び利用者数の述べ人数を記入してください。

区分		団体数(団体)	利用者数(人)
団体利用	青少年団体		
	成人団体		
	高齢者団体		
	その他の団体		
個人利用			

- ▼ 青少年団体 :主として20歳未満の青少年で構成される青少年の活動を主目的とする団体。
(例:スポ少、子ども会、子ども習字教室等)
 - ▼ 成人団体 :主として成人(20歳以上65歳未満)で構成される団体
 - ▼ 高齢者団体 :おおむね65歳以上の高齢者のみで構成される団体
 - ▼ その他の団体:上記以外の年齢区分に限定されない団体。
例えば、青少年・成人・高齢者と複数の年齢区分の人が混在する団体など。
- ▽ 個人利用は、団体・グループの一員ではなく、個人として貴施設を利用した者のこと。

職員の研修状況について

貴施設では、貴施設に所属する職員の資質・能力を高めるための職員研修を実施しましたか。
(該当する番号を選んでください。)

[問4へお進みください]

「問5へお進みください」

問3

問3で、実施した職員研修についてお答えください。

10

(該当するものに○を付けてください。)

(その他を選択した場合は、内容を具体的に記入してください。)

研修内容	該当
① 生涯学習・社会教育に関する知識(概論)	
② 学習プログラムの立案	
③ 生涯学習・社会教育事業評価	
④ 広報・公聴及びPR	
⑤ ワークショップの運営	
⑥ 学習成果の活用	
⑦ 地域資源の発掘・整理・活用	
⑧ 学習ニーズや地域課題の把握・調査法	
⑨ 体育・スポーツ・レクリエーション	
⑩ 情報機器の活用	
⑪ 人権教育	

研修内容	該当
⑫ 地域づくり・まちづくり	
⑬ 青少年教育について(キャンプ、野外活動、自然体験活動等)	
⑭ 情報提供・学習相談	
⑮ 生涯学習・社会教育に関する実践事例	
⑯ 学校・家庭・地域の連携・支援	
⑰ 職業教育・キャリア教育の推進・支援	
⑱ 関係団体との連携・ネットワークづくり	
⑲ 家庭教育支援	
⑳ グループ・サークルの育成・支援	
㉑ 地域におけるボランティア活動活性化	
㉒ 地域の指導者・リーダー育成	

具体的に

平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)のことをお答えください。

問5 貴施設の職員が貴施設以外の外部の研修に参加しましたか。
(該当する番号を選んでください。)

- | | |
|-----------|--------------|
| ① 参加した | [問6へお進みください] |
| ② 参加しなかった | [問7へお進みください] |

問5

問6 問5で「参加した」を選択した方へ 参加した研修の「主催(県、市町村など)」「主催した担当課・機関の名称」「研修名」を別紙1に記入してください。

[別紙1]に記入してください

問7 問5で「参加しなかった」を選択した方へ 理由を選んでください。(複数回答可)
(該当するものに○を付けてください。)
(**その他を選択した場合は、理由を記入してください。**)

理由	該当
① 開催時期・日程のあうものがないから	
② 開催会場の近いものがないから	
③ 研修における学習内容に適当なものがないから	
④ 参加経費の負担が難しいから	
⑤ 職員が研修に参加した場合、貴施設の業務に支障をきたすから	
⑥ 研修の必要性を強く感じないから	
⑦ 市町村や管理職の研修に対する理解が少ないから	
⑧ その他	

具体的に

全体計画・事業計画について

問8 貴施設には、施設の方針などを定めた全体計画はありますか。
(該当する番号を選んでください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| ① 全体計画がある | [問9へお進みください] |
| ② 全体計画がない | [問10へお進みください] |

問8

問9 問8で「ある」を選択された方へ 全体計画を公民館運営審議会(運営委員会)等に説明する機会がありますか。
(該当する番号を選んでください。)

- | |
|-------------|
| ① 説明する機会がある |
| ② 説明する機会がない |

問9

平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)のことをお答えください。

地域課題について

問10 貴施設では、地域課題を把握していますか。

(該当する番号を選んでください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| ① 把握している | [問11へお進みください] |
| ② 把握していない | [問13へお進みください] |

問10

問11 問10で「把握している」を選択された方へ 地域課題の把握方法で該当するものを選んでください。(複数回答可)
(該当するものに○を付けてください。)
(その他を選択した場合は、方法を記入してください。)

理由	該当
① 住民アンケート(調査票等による)	
② 住民への聞き取り(面接、直接聞き取り等)	
③ 住民等を対象とした学習活動において明らかにしている(ワークショップ、話し合い等)	
④ 公民館等職員の協議や話し合いで決めている	
⑤ 教育委員会や自治体等が地域課題を示している	
⑥ その他	

具体的に

問12 問10で「把握している」を選択された方へ 主催する教室・講座や事業に地域課題をテーマとしてとり入れていますか。(問13で「実施していない」を選択される方は、記入する必要はありません。)
(該当する番号を選んでください。)

- | |
|------------|
| ① とり入れている |
| ② とり入っていない |

問12

実施する事業等の実施状況について

問13 貴施設が主催する教室・講座や事業を実施しましたか。

(該当する番号を選んでください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| ① 実施した | [問14へお進みください] |
| ② 実施していない | [問20へお進みください] |

問13

問14 問13で実施した教室・講座や事業についてお答えください。

(1) 主催する教室・講座や事業について、事業計画や企画書を作成していますか。
(該当する番号を選んでください。)

- | |
|-----------|
| ① 作成した |
| ② 作成していない |

問14(1)

平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)のことをお答えください。

- (2) 貴施設が主催する教室・講座や事業について、広報活動を行っていますか。
(該当する番号を選んでください。)

① 行っている	[問14(3)へお進みください]	問14(2)	
② 行っていない	[問15へお進みください]		

- (3) (2)で行った広報活動は、どのような方法で行っていますか。(複数回答可)
(該当するものに○を付けてください。)
(**その他を選択した場合は、方法を記入してください。**)

広報活動の方法	該当
① 貴施設が発行するたより	
② 所在する市町村が発行する広報誌	
③ ポスター・チラシ	
④ ホームページ・ブログ	
⑤ SNS(ツイッター、フェイスブック等)	
⑥ 自治会等での説明	
⑦ その他	

具体的に	
------	--

- 問15** 問13で「実施した」を選択された方へ 貴施設が主催された教室・講座や事業すべてについてお答えください。(「学習内容」「対象」「協力団体の有無」「回数」を別紙2に記入してください。)

※ 学習内容については、別紙3の【学習内容の具体例】を参考にし、分野・番号を選択肢よりお選びください。

(学習内容、実施形態を選択してお答えください。)

※ 1つの教室・講座につき1回だけ回答してください。

[別紙2]に記入してください

ふるさとに関して学ぶ事業について

- 問16** 問15で回答した教室・講座、事業のうち、子どもや大人を対象としたふるさとについて学んだり、体験したりする事業がありますか。
(該当する番号を選んでください。)

① 事業がある	[問17へお進みください]	問16	
② 事業がない	[問18へお進みください]		

- 問17** 問16で「事業がある」を選択された方へ (1)(2)をお答えください。

- (1) ふるさとに関して学ぶ教室・講座や事業の数をご記入ください。

ふるさとに関して学ぶ教室・講座や事業の数	
----------------------	--

平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)のことをお答えください。

- (2) 実施した事業のうち、ふるさとに関して学ぶものを3つまで選び、事業名、期間、対象、事業内容をご記入ください。

(例)

事業名	〇〇地区 ふるさとウォークラリー
期間	平成26年7月31日
対象	小学校3年生から6年生
事業内容 (簡単に)	地域の史跡をチェックポイントにして、地域の方に話を聞きながらクイズを解き、ふるさとの歴史を学ぶ。

事業名	
期間	
対象	
事業内容 (簡単に)	

事業名	
期間	
対象	
事業内容 (簡単に)	

事業名	
期間	
対象	
事業内容 (簡単に)	

平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)のことをお答えください。

事業評価について

問18 貴施設が主催する教室・講座や事業に対する事業評価を行いましたか。
(該当する番号を選んでください。)

- | | |
|-----------|---------------|
| ① 実施した | [問19へお進みください] |
| ② 実施しなかった | [問20へお進みください] |

問18

問19 問18で行った事業評価についてお答えください。

- (1) 事業評価はどのように行いましたか。(複数回答可)
(該当するものに○を付けてください。)
(**その他を選択した場合は、具体的に記入してください。**)

事業評価の実施方法	該当
① 公民館等職員による評価	
② 事業参加者による評価	
③ 評価委員会等を設置して評価	
④ その他	

具体的に

- (2) 評価結果を次年度の主催する教室・講座や事業に活かしていますか。
(該当する番号を選んでください。)

- | |
|-----------|
| ① 活かしている |
| ② 活かしていない |

問19(2)

問20 公民館等が働きかけたり支援したりしたことにより、地域課題の解決のために地域活動に取り組むようになった住民組織・団体・グループがありますか。
(該当する番号を選んでください。)

- | | |
|------|---------------|
| ① ある | [問21へお進みください] |
| ② ない | [質問は終わりです] |

問20

- ▽ 現在も継続して活動している住民組織・団体・グループであり、現在は活動をしていない住民組織・団体・グループは含まない。
- ▽ 下の例を参考にしてお答えください。
- ▼ 例1 主催講座等で地域の現状を把握したり、地域課題に気付いたり掘り下げたりする機会を設定することにより、講座の参加者の意欲が高まり、地域課題解決に取り組もうとするグループに発展。
- ▼ 例2 既存のグループや組織(例:趣味の会、おやじの会、母親サークル、PTA、〇〇振興会等)が地域や地域課題に関心をもつように働きかけたことにより、そのグループや組織が、既存の活動に加えて地域活動を実施。
- ▼ 例3 公民館を利用している団体やサークルが、地域に関する学習活動やグループ活動を継続するうちに、地域活動を企画・実践する組織に成長。

問21 問20の住民組織・団体・グループについてお答えください。

- (1) 地域課題の解決のために活動する住民組織・団体・グループ数を記入してください。

住民組織・団体・グループ数

団体

平成26年度(平成26年4月1日～平成27年3月31日)のことをお答えください。

- (2) 公民館が働きかけたり支援したりしたことによって、地域課題の解決のために地域活動を行うようになった住民組織・団体・グループの名称、構成員、人数、活動内容について、3つまでご記入ください。

(例)

名称	チーム〇〇
構成員	20～40代の住民
人数	36人
活動内容 (簡単に)	若い世代のつながりをつくり、若い世代が地域の祭りや行事に協力したり、参画したりすることで、地域の活性化につなげる。

名称	
構成員	
人数	人
活動内容 (簡単に)	

名称	
構成員	
人数	人
活動内容 (簡単に)	

名称	
構成員	
人数	人
活動内容 (簡単に)	

以上で終わりです。
お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。

送付される際は、「別紙1(問6)」と「別紙2(問15)」もあわせて送付くださりますようお願いいたします。

（別紙1） 公民館等実態調査

問6

参加した研修の主催を選び、主催した担当課・機関の名称、研修名を記入してください。

【記入にあたって】

■施設名と記入者も記入してください。（水色の枠内に記入してください。）

■「主催（選択）」欄には、1 市町村 2 島根県 3 民間団体等 4 その他（県外など1～3に当てはまらないもの）から選んでください

■「担当課・機関・団体名」欄には、受講した研修を主催する課・機関・団体の名称を記入してください。

例：〇〇市（町村）教育委員会〇〇課、〇〇市（町村）地域振興課、島根県公民館連絡協議会 等

施設の名称

記入者

番号	主催	担当課・機関・団体名	研修名
例	2島根県	東部社会教育研修センター	公民館等職員研修
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
9			
10			
11			
12			
13			
14			
15			
16			
17			
18			
19			
20			

ありがとうございました。

(別紙2) 公民館等実態調査

問15

貴施設が主催する教室・講座や事業すべてについて、お答えください。
学習内容、対象、協力団体の有無、実施回数をそれぞれ記入してください。

【記入にあたって】

■施設名と記入者も記入してください。

■学習内容については、「分野」「内容番号」欄に（別紙3）の＜学習内容の具体例＞を参考にし、選択肢より選んでください。

■「地域課題」欄には、教室・講座や事業で地域課題の解決をテーマにしている場合、「○」を選んでください。「協力団体」欄には、教室・講座、事業の協力団体の有無を選んでください。

■「対象」「実施回数」欄には、直接記入してください。

■教室・講座、事業1つにつき、「分野」「内容番号」を1つだけお答えください。複数の内容がある場合、別々に記入するか、主なねらい1つにしぼって記入してください。

■記入欄が足りない場合は、用紙をコピーしてお答えください。

施設の名称

記入者

番号	学習内容			対象	協力団体	実施回数
	分野	内容番号	地域課題			
例	I 家庭教育・家庭生活	3読書・読み聞かせ	○	親子	有	12
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						
33						
34						
35						
36						
37						
38						
39						
40						

ありがとうございました。

＜学習内容の具体例＞

分野	番号	学習内容	該当する学級・講座の例
Ⅰ 家庭教育・家庭生活	1	育児・保育・しつけ	家庭教育学級、子育て講座、子育て教室、育児教室
	2	くらしの知恵・技術	実用講座、家庭法律、家計簿、手紙、セシアップ、テーブルマナー
	3	読書・読み聞かせ	紙芝居、朗読、親子読書会
	4	生活体験・異年齢交流	通学合宿、合宿通学、子どもフェスティバル、 3世代交流スポーツ大会
	5	自然観察・天体観測	バードウォッチング、野鳥観察会、博物館見学の集い、森林浴、 磯辺の観察会、冬の星座観察会、昆虫教室、地層観察会
	6	野外教育	野外体験教室、ウォークラリー、山村留学、農業体験、米作り、 子どもキャンプ、親子キャンプ、わんぱく村、カヌー教室
	7	健康・成人病予防・薬品	健康講座、健康料理教室、指圧教室、女性学級で健康学、 健康祭り
	8	料理・食品・食生活	子ども料理教室、子育て教室で料理、ハーブ料理、祭り寿司、 子どもクッキング、お正月料理、郷土料理、ティーパーティ
	9	年中行事・冠婚葬祭	お正月ミニ門松づくりとしめ縄づくり、クリスマス会
	10	介護・看護	介護講座
	11	生活設計・ライフプラン	高齢者学級で生活設計、生きがい教室
	12	住まい・住環境	住まいの手入れ講座、カラーコーディネート
	13	安全・災害対策	防災対策、防災マップづくり
	14	洋裁・和裁・着付け	着付け教室、浴衣づくり
	15	ガーデニング・園芸	園芸教室、冬のガーデニング、植物園見学、野菜作り教室、 ハーブ教室、箱庭づくり、家庭菜園
	16	その他	
Ⅱ 現代的課題	17	自然保護・環境問題	環境講座、水の施設を訪ねて
	18	資源・エネルギー	エネルギー講座、水資源、食糧問題
	19	国際理解・国際情勢	国際シンポジウム、英語スピーチコンテスト
	20	政治・経済問題	模擬市議会
	21	科学技術・情報化	講演「高度情報化社会」
	22	男女共同参画・女性問題	講演「男女共同参画」
	23	高齢化・少子化	講演「高齢化社会」
	24	福祉社会	手話教室、福祉講座、福祉まつり、展示教室、福祉体験
	25	同和問題・人権教育	人権教育
	26	非行防止・教育問題	青少年問題講演会、教育講演会、青少年教育座談会
	27	商品知識・消費者保護	消費者教育
	28	その他	
Ⅲ 市民意識	29	郷土の歴史・人物	郷土史、歴史講座、地域学
	30	郷土の産業	地域講演会、地域産業まつり
	31	郷土の自然	自然誌講座
	32	郷土芸能	お囃子教室、田植え踊り、神楽
	33	まちづくり	まちづくりシンポジウム
	34	ボランティア・NPO	ボランティア体験教室、NPO研修会
	35	金融・年金・保険・税金	講演「税金について」
	36	自治体の行政施策	講演「地域の行政施策」
	37	地域防災対策・安全	防災訓練、交通安全教室
	38	その他	

IV 体育・スポーツ	39	テニス・卓球等球技	リトボール大会、テニス大会、バレーボール大会、卓球大会、野球教室
	40	ランニング	ジョギング教室、マラソン大会
	41	スイミング	水泳大会、水中ウォーキング
	42	柔道・剣道等武道	柔道・剣道・空手・合気道・少林寺・太極拳
	43	体操・トレーニング	体操、エアロビクス、竹踏み、ストレッチ教室、ダンベル教室
	44	ニュースポーツ	ゲートボール大会、ティボール、ディスクゴルフ、スノーシューパド、 ビーチボール、ターゲットバードゴルフ、スノーシューパド
	45	ゴルフ・スキー・スケート	初心者スケート教室、ゴルフ教室
	46	ハイキング・登山	健康まつりハイキング、ウォーキング体験、トレッキング大会、 春のハイキング、ワンデーウォーク、ワンゲル
	47	その他	
V 指導者	48	施設ボランティア養成	施設ボランティア養成講座
	49	各種指導リーダー養成	子ども育成者研修会、子どもクラブ、ジュニアリーダー研修会
	50	団体育成・運営	PTA広報誌づくり教室、子ども会研修
	51	その他	
VI 趣味・けいこ	52	音楽(演奏・演劇)	音楽講座、クリスマス音楽の集い、器楽教室、ギター、ウクレレ ピアノ、吹奏楽、大正琴、三味線、コーラス、カラオケ
	53	芸術鑑賞(音楽・演劇)	ふるさと絵画展示、コンサート、狂言鑑賞、観劇
	54	映画鑑賞	夏休み親子映画大会、子ども映画まつり、お楽しみ映画会
	55	美術(絵画・版画等)	版画教室、趣味講座の水墨画、絵手紙教室 (油絵、彫刻)
	56	華道・茶道・書道	茶道教室、習字
	57	俳句・短歌・川柳	俳句教室
	58	工芸・陶芸	子ども陶芸教室、親子陶芸教室、染色、アートフラワー、パンフラワー、 革細工、ステンドグラス、パッチワーク、刺繍、七宝焼
	59	将棋・囲碁・カルタ	囲碁大会、カルタ取り大会、将棋大会、ゲーム大会
	60	ダンス・舞踏	子どもまつりのダンス、活力増進講座のダンス、社交ダンス、 フラメンコ、日本舞踊、ジャズダンス、ヒップホップ
	61	工作	押し花教室、夏休み工作教室、ティッシュボックスづくり、紙飛行機、 竹とんぼ、カービング、竹細工、貝細工
	62	写真・ビデオカメラ	デジタルカメラ、デジタル画像処理、グラフィック、写真撮影 ビデオ編集
	63	芸能	マジック、漫才、落語
	64	その他	
VII 一般教養	65	パソコン教室・IT講習	IT講習、パソコン基礎講座、インターネット講座
	66	外国語	楽しい英会話体験教室、フランス語講座、ハンガリー語講座
	67	文学	文学講座
	68	歴史	西洋史講座
	69	自然科学	自然科学史講座
	70	哲学・思想	西洋の哲学者たち
	71	心理学・カウンセリング	ロールプレイング、カウンセリング
	72	その他	

Ⅷ 職業 知識・ 技術	73	農林水産技術	農業、酪農、栽培漁業、遺伝子技術
	74	工業技術	電気、土木、建築技術、自動車整備
	75	コンピューター技術	ワープロ、表計算、ホームページ作成、ネットワーク管理、 コンピュータグラフィック、データベース、デジタル音楽
	76	著作権	著作権講座
	77	リテラシー	新聞の読み方教室
	78	経営・管理・事務	企業経営、事務管理、起業
	79	編集制作	レタリング、イラストデザイン、編集
	80	資格取得	英語検定、ワープロ検定、簿記検定、放送大学
	81	その他	
Ⅸ その他	82	発表会・作品展示会	公民館まつり、サークル作品展示会、地区体育祭
	83	放課後支援	放課後子ども教室、子ども広場
	84	その他	利用者懇談会

出典「平成22年度 公民館の事業及び運営の実態に関する調査報告書」一部改訂